



MOMO

特別養護老人ホーム モモ

ショートステイ モモ

ケアハウス モモ

デイサービスセンター モモ

居宅サービスセンター モモ



PINO

コミュニティホーム ピノ

ショートステイ ピノ

コミュニティセンター ピノ



NaNa

フレイグラントオリーブ ナナ

ケアステーション ナナ

社会福祉法人蒼生会 高齢者福祉施設
2024 年度 事業報告

★ Sosaykai

目 次

重点計画評価	1
これからの課題	11
施設ケアマネジメント（モモ）	17
特別養護老人ホームモモ	21
ショートステイモモ	31
施設ケアマネジメント（ピノ）	37
コミュニティホームピノ	39
ショートステイピノ	47
ケアハウスモモ	53
フレイグラントオリーブナナ	57
デイサービスセンターモモ	61
コミュニティセンターピノ	67
栄養と調理	71
居宅サービスセンターモモ	81
ケアステーションナナ	93
委員会活動	105
パブリックリレーション	115
付録	
・年間稼働状況（前年度比較）	116

P E valuation lanning

重点計画評価

2024年度事業計画に掲げた拠点・部署毎の重点計画につき、右記5段階での評価と同時に、原因把握・改善策立案などにつき情報共有を行なった。

評価は各部署の管理職（リーダー以上の職位）に加え、副施設長・施設長にて各自が関連する項目に対して実施した。

また、これら取り組みは次年度事業計画立案にもつなげていく。

●評価基準

- S：積極的に取り組み達成されており次年度重点計画から除外できる
- A：積極的に取り組み一部達成されたが継続的な取り組みが必要
- B：取り組みはなされているが未だ成果には繋がっていない
- C：取り組みはなされているがその方法や頻度などに改善を要する
- D：全く取り組み（達成）ができていない

2024年度重点課題（2024 年度高齢者福祉施設事業計画より抜粋・再編）

●各事業所の主な目標と課題

特養課（特別養護老人ホームモモ）

課題	評価	原因・理由
年間稼働率98%に向けた入居者管理	B	新規入所者が30名入所しているが、退所者が28名となっており、稼働率を上げる事が出来ていない。入所者の状態を把握し、退所する可能性が出た際には、すぐに待機者が入所できる状況まで事前準備に努めていく必要がある。
看取り介護体制の強化	A	大きな問題もなく看取りは行えているが、看取り体制加算の取得までは出来ていない。
業務改善・効率化	B	業務の改善は出来てきているが、入居者の状況により変更・見直しが都度必要となっており、その対応に追い付いていない事がある。
事故防止・再発防止に向けての取り組み	A	事故予防に取り組み再発防止が出来ているケースは増えてきているが、今後状態変化や認知面の悪化などから、突然の変化に対応・危険察知できるような対応が必要となっている。
本人主体のプラン作成	A	状態に合わせたプラン・状態低下した際の新たなプラン作成は出来ている。 各関係機関への情報収集も行なえている。
職員教育の充実	C	外部研修参加や勉強会の実施が出来ておらず、十分な教育が出来ていない。
柔軟な医療ニーズへの対応	A	状態変化に迅速に各関係機関と相談等を行なえている。 施設で受け入れできる医療ニーズであれば、対応も行なえている。

短期入所生活介護（ショートステイモモ）

課題	評価	原因・理由
顧客の定着（リピーターの確保）	A	リピーターが長期利用につながるケースや、新規利用がリピーターとして定着するケースも多くあったが、在園中の他利用者とのトラブル等で利用継続困難なケースも多くあった。 多床室主体の回廊式施設であり、居室の扉を自由に開け閉めして出入りできる利点もあるが、認知症のある利用者にとってはトラブルの発生要因となり、利用継続困難になってしまう事があった。
新規利用者の獲得	B	新規利用者の問い合わせはあるも、今年度は特に男性や胃ろう造設されている方の問い合わせが非常に多く、契約（利用）には至らなかった。
空床ベッドの有効活用	D	空床ベッドの有効活用ができるほどの稼働率が確保できなかった。
感染症対策の徹底	A	家族の積極的な協力を得られた事もあり、利用者からの感染症持ち込みは無かった。

2024年度重点課題（2024 年度高齢者福祉施設事業計画より抜粋・再編）

●各事業所の主な目標と課題

ケアハウス課（ケアハウスモモ）

課題	評価	原因・理由
相談援助体制の整備	B	様々な生活課題に対する対応が増えていく中、介護認定待ちによりスムーズなサービスの導入が進められないこともあり、職員がサポートすることが多く必要となった。
感染症/食中毒/事故防止/防災/防犯対策	B	感染症により居室隔離等の対応を行ない、感染拡大を防ぐことができた。 しかし、感染対策のマスク着用などへの協力がだんだんと弱まってきている。
多職種連携し満床を維持する	A	退所後には待機者への声掛けと面接を即時行ない、空室がないように進めることができた。

通所課（デイサービスセンターモモ）

課題	評価	原因・理由
利用者本意の追求と迅速な対応	B	サービスの質の向上には繋がっておらず、マンネリ化している現状がある。
月平均参加人数17名以上を維持	B	営業にて見学対応を迅速に対応するが、利用に繋がっていない。 利用者の打ち切りも多く未達成。
コミュニティセンターピノとの連携確保	C	情報共有はしているが、具体的な連携実績なし。
利用者の特性に合った環境の提供	C	職員同士情報共有しているが未達成。
祝日営業の継続（中期計画的な位置づけ）	D	平日の運営の安定化が優先。

居宅課（居宅サービスセンターモモ・ケアステーションナナ）

課題	評価	原因・理由
利用者主体 （権利擁護/自己決定尊重/満足度向上）	A	本人・家族のニーズを把握して介護サービスを調整を行ない、社会資源を生かしたサービスも提供しながら、本人が希望する生活に近づけていけるように支援することが出来た。
質の高い公正中立なケアマネジメント	B	本人・家族の意向を十分に把握して、サービス調整は分かり易く、選択出来るようにすることが出来た。
実績の確保/安定	A	担当人数の確保は出来たが、法人内の実績向上に十分な貢献が難しい。
地域包括支援センターとの連携強化	C	新規の地域包括支援センターの開拓は難しかったが、主要包括（5 事業所）との連携は十分に出来た。
介護保険改正への対応/情報収集	B	件数増加は対処でき、担当人数の確保を図ることが出来た。
特定事業所加算（Ⅲ）の継続 ※モモ	A	各要件をクリアし、取得継続が図れている。

ユニット課（コミュニティホームピノ）

課題	評価	原因・理由
派遣介護職員の調整	B	派遣社員の定着率が悪く、スキルの問題も見られ、調整が難しい状況。
職員教育の徹底 （ユニットケア/接遇/介護技術）	D	派遣社員が7～8割の状況なので、現場での教育・指導のみになっており、徹底はできていない。
多職種協働と情報共有の徹底	A	申し送り表の活用が習慣化されており、以前に比べると共有できている。
家族/関係機関との協力体制の強化	A	面会の再開と共に面会に来られる家族との協力は出来ているが、来られない家族とはやや希薄。

短期入所生活介護（ショートステイピノ）

課題	評価	原因・理由
顧客の定着（リピーターの確保）	B	リピーターは数人いるが、長期利用希望者が多くなり、リピーターの獲得が難しくなっている。
新規利用者の獲得	B	新規契約は毎月数人あるも、契約のみで利用は未定の方も多く、契約から利用までに繋がらないケースがある。
空床ベッドの活用	D	稼働率は60～70%台のため空床利用までには繋がっていない。
事業所間及び職員間の情報共有	A	申し送り表や記録を確認する習慣が以前よりは定着してきている。

通所課（コミュニティセンタールピノ）

課題	評価	原因・理由
地域密着型通所介護の安定した運営	B	新規登録利用者は増加したが、週複数回利用者の打ち切りもあり不安定。
運営に関する業務の再編成、最適化	B	通常業務については最適化が完了。 しかし、サービスの質の向上については停滞している。
新規登録利用者の確保	B	積極的な営業をしているため、見学対応は増加しているが、新規利用に繋がっていない。
月平均参加人数12.6名以上の確保	B	新規登録利用者は増加したが、週複数回利用者の打ち切りもあり未達成。
デイサービスセンタールピノとの連携確保	C	情報共有はしているが、具体的な連携実績なし。
土曜日営業の開始（中期計画的な位置づけ）	D	平日の運営の安定化が優先。

2024年度重点課題（2024 年度高齢者福祉施設事業計画より抜粋・再編）

●各事業所の主な目標と課題

サ高住課（フレイグラントオリーブナナ）

課題	評価	原因・理由
空室ゼロに向けた営業活動強化	C	入居 30 部屋まで来ていたが、その後低下。3 月に見学会を開催。
オプションサービスの設定	D	ニーズ把握・内容検討などにつぎ着手不十分
良好な居住環境づくり	A	来訪者に検温、入館記録表の記入、アルコール消毒を促す。 エレベーターボタン、館内手摺りの清掃除菌を行なう。 全館の換気を定期的に行なう。 必要時に植栽の手入れを実施。 提携不動産会社と協力して、入居者向けイベントを実施した。 年頭に計画を立ててスケジュール化し、感染症蔓延などの場合は中止とした。
入居者のADL把握	A	入居者の健康増進と健康チェックを行なうために、百歳体操を定期的の実施し、必要であれば入居者の状態に応じて家族や保証人などに報告した。 入居者のレクリエーションと健康増進のために、毎週、カラオケ喫茶を開催した。
施設PR素材の作成	B	スマホなどで作成したビデオ映像に PR 音声を加えて、簡易な施設紹介ビデオを作成。 SNS を作成し、PR ビデオを HP へ埋め込む。

栄養室

課題	評価	原因・理由
栄養/療養食マネジメントの継続/調整	A	多職種連携により個々の食事内容の調整は日々行なわれている。
口腔ケアによる誤嚥性肺炎の防止	A	歯科医師の定期往診・日々の口腔ケアにより誤嚥性肺炎による入院者は出ていない。
フロアでのおやつレク/行事の充実	C	おやつレクは対象者・ニーズともに無い為一旦中止。 季節の菓子やおやつバイキング等方法を検討。
家族食事会の在り方の検討	D	入居者の嚥食・嚥下状態から家族食事会は対象者がほとんどおらず、また感染症対策の観点からも再開は難しいと判断。 一旦中止し他の方法での家族交流を検討する。

全事業所共通

課題	評価	原因・理由
業務効率化のための環境整備 ※拠点間ネットワークの構築/ICT 化促進	A	補助金を活用しコミュニティホームピノへの見守りカメラ導入は問題なく終了した。 収支が安定し費用が捻出できれば、クラウドサーバーや記録ソフトの入れ替えを検討する。
経費削減のための運営管理 ※節水/節電/備品有効利用/業務統廃合	B	電力会社の変更を行なうも、光熱水費の増加から適切な効果測定ができていない状況。
適正人員配置の見直し ※業務マニュアルおよびシフトの改善	B	ピノ拠点でのリーダー職員配置等、未だ改善できていない部分が多い。
新型コロナウイルス感染症対策の継続 ※含：職員教育/設備整備/情報管理	S	発症者確認時には、現場レベルでの対応ができています。

・

2024年度重点課題（2024 年度高齢者福祉施設事業計画より抜粋・再編）

●要修繕・備品新調案件

（モモ）

建物

課題	評価	原因・理由
廊下床材の修繕	D	費用捻出に苦勞しており、出来ていない。
給/排水管の点検・必要箇所の修繕	D	費用捻出に苦勞しており、出来ていない。

設備/機器関係

課題	評価	原因・理由
各種制御装置の改修 （ガス・電気・水道関係）	D	費用捻出に苦勞しており、出来ていない。
浴室用リフトの新調	D	費用捻出に苦勞しており、出来ていない。
個室トイレ/洗面台新調 （簡易便器から洋式便器への置換）	D	費用捻出に苦勞しており、出来ていない。
扉まわり動作不良個所の修繕	D	費用捻出に苦勞しており、出来ていない。
照明器具の新調（故障個所を含む LED 化）	D	費用捻出に苦勞しており、出来ていない。
換気機能の回復（劣化/故障個所の新調）	D	費用捻出に苦勞しており、出来ていない。
ナースコールの新調	S	補助金を使用し交換済み。
支援記録システムの新調	S	補助金を使用し新調済み。
ネットワーク環境の見直し（Wi-Fi）	S	補助金を使用し設置済み。

その他

課題	評価	原因・理由
粗大ゴミ処分 （故障した車椅子・テレビ・その他備品）	A	2024年2月に一部処分完了し、物置と化していた館内区域の解放に至る。 しかし、外部（敷地内）に残されたゴミの処分には至らず。 費用捻出をはじめ、今後も計画的な実施が必要である。
保存経過期間終了書類の適切な破棄 （専門業者へ依頼し廃棄証明書を発行）	D	費用捻出に苦勞しており、出来ていない。

(ピノ)

建物

課題	評価	原因・理由
特になし ※今後モモ同様の経年劣化は予測される	—	—

設備/機器関係

課題	評価	原因・理由
水道回りの点検/必要箇所の修繕 (蛇口漏水・自動給水用センサー)	D	費用捻出に苦勞しており、壊れてしまった箇所の修繕のみ行っている。
給/排水管の点検・必要箇所の修繕	D	費用捻出に苦勞しており、出来ていない。

その他

課題	評価	原因・理由
粗大ゴミ処分 (故障した車椅子・テレビ・その他備品)	D	費用捻出に苦勞しており、出来ていない。
保存経過期間終了書類の適切な破棄 (専門業者へ依頼し廃棄証明書を発行)	D	費用捻出に苦勞しており、出来ていない。

●定員・稼働率など

① 特別養護老人ホーム モモ・ショートステイ モモ

事業所	定員	目標	実績
従来型特養	62	98.0%	86.2%
ショートステイ	8	80.0%	57.6%
平均介護度	従来型特養	3.75	3.80
	ショートステイ	2.55	2.74

※ショートステイ空床利用は特養稼働率に加算

② デイサービスセンター モモ

事業所	定員	目標	実績
通常規模デイ	20	85.0%	65.3%
登録者数		50 名	35 名
平均介護度		2.00	2.21
入浴者率		60.0%	69.0%

③ ケアハウス モモ

事業所	定員	目標	実績
ケアハウス	16	100.0%	100.0%

④ 居宅サービスセンター モモ

事業所	定員	目標	実績
在宅 CM	117	98.5%	100.0%
登録者数		118 名	150 名
平均介護度		1.95	1.40
認定調査		116 件	72 件

※介護支援専門員数 = 3 名

※稼働率 : 要支援1・要支援2・事業対象者 = 0.5 人で換算

※平均介護度 : 要支援1 = 0.25 要支援2・事業対象者 = 0.5 で換算

⑤ コミュニティホーム ピノ・ショートステイ ピノ

事業所	定員	目標	実績
ユニット型特養	29	98.9%	92.6%
ショートステイ	10	80.0%	63.2%
平均介護度	ユニット型特養	3.85	3.87
	ショートステイ	2.75	2.44

※ショートステイ空床利用は特養稼働率に加算

⑥ コミュニティセンター ピノ

事業所	定員	目標	実績
地密型デイ	18	70.0%	45.6%
登録者数		40 名	22 名
平均介護度		2.50	2.20
入浴者率		50.0%	87.2%

⑦ フレイグラントオリーブ ナナ

事業所	定員	目標	実績
サ高住	32	100.0%	90.6%

⑧ ケアステーション ナナ

事業所	定員	目標	実績
在宅 CM	39	97.5%	97.4%
登録者数		39.5 名	38 名
平均介護度		1.55	1.33
認定調査		25 件	10 件

※介護支援専門員数 = 1 名

※稼働率 : 要支援1・要支援2・事業対象者 = 0.5 人で換算

※平均介護度 : 要支援1 = 0.25 要支援2・事業対象者 = 0.5 で換算

F_{uture} Subject

これからの課題

●モモ拠点

1998年10月の開設以来、2024年度末で26年6ヶ月が経過した建物は、細部に老朽化や故障する機器も目立ち、今後も大規模な修繕や突発的な改修の必要性がこれまで以上に増加していくと思われる為、資金のプールが重要となってくる。

2024年度は年度通して拠点全体で稼働率の低下に陥り、収益が低下し新たな人材の確保や設備の修繕も行なうことができなくなる等、身動きが取れない状況が続いた。

突発的な修繕や支出に備えられるよう、収支の安定化を図る為、稼働率向上はもちろんのこと、各種加算の見直しやスムーズな入所の受け入れ態勢の構築が必要となってくる。

2025年度は予測される事柄には計画的に対処できるよう、また、突発的な事柄にも即時対応できるようにし、高齢者福祉施設のみならず、法人の本体施設としての機能を失う事が無いよう、収支の安定はもとより、児童福祉施設とも協力し、本部業務上の役割分担・情報管理の強化・設備の有効活用などにも努めていく。

1. 特別養護老人ホームモモ

2024年度は満床に至る事が出来ず、稼働率も86.7%と低い状態での経過となってしまった。

年度内新規入所者は30名となっているが、退所者が28名でいる事で稼働率向上へと繋げる事が出来なかった。

入所待機者管理・受け入れ計画の強化に努め、ショートステイ相談員や居宅課等と協力をしていきながら、稼働率の向上を目指していく。

看取りについては、家族や各関係機関との連携も十分に取れており、今年度も21名の看取り対応を円滑に実施することが出来た。

加齢に伴う心身状態の変化から、看取り期へ移行する入居者が増えていく可能性は非常に高いが、看取り体制加算の所得までには至っていない状況であり、今後は加算を取得できるように、看取り体制（カンファレンス実施・終末期計画の作成など）を強化していく必要がある。

職員の育成が急務となってから数年が経過している。

福祉業界の慢性的な人手不足から、新たな職員の入職も難しい現状となっており、既存の職員の成長（育成）が必要となっている。

人手不足を理由とせず、人材育成・職員教育に努め、既存職員や新入職者の中から次世代に続く職員の育成・発掘をしていき、今後の事業所運営の安定化へと繋がられるようにしていく。

施設内設備の老朽化に伴い各所には故障などが出てきているが、入居者が生活しやすく職員が就業しやすい環境整備（維持）は必須である。

迅速に修繕できる場所はすぐに対応を行なっていく為にも、稼働率の向上が必要である。

2. ショートステイモモ

2024年度は2023年から続き2年連続で稼働率が低下(2023年度比:-4.3%)してしまった。

新規利用の問い合わせはあるが、男性利用者の希望が多く部屋の空きが無い事や、医療管理が必要で対応できない事、また受け入れ可能なADLでも当日緊急での受け入れ要請で対応困難である事が多かった。

事前に契約・面接をすることを前提としており、さらに給食業者変更によって前日に食事の注文が必要で問い合わせ当日の受け入れが時間によって出来ないことも多く、新規契約に繋がらないケースが多くみられている。

またリピーターからの急な利用希望があっても、食事の注文が間に合わず受け入れが出来ないことも多く、その結果、他施設を新たに契約・利用する状況になってしまう事も多かった。

新規獲得の為に受け入れ態勢の改善が求められるところだが、いずれも資格の問題や、外部業者との契約の問題で代替も出来ず、施設側の条件を変えることは出来ない為、リピーターの数も多く確保し、空室が無い状況を作り出すことが求められると考えられる。

その代わりに当施設の予約が取りにくくなる分、他施設も同時に利用する新規利用者の増加が予測される為、他施設との顧客獲得競争を勝ち抜けるような介護技術は当然として、接遇技術や職員の知識向上にオンライン研修などを活用し、全介護職へ必ず受講できる教育の機会を設け、意識と技術向上を図る必要がある。

余計な人員が必要になってしまう事(業務効率の低下)に繋がる原因の一つとなっている、滞っている施設備品の修繕はもちろんのこと、業務に支障が出る前に機器の入れ替え計画が円滑に遂行できる状況が求められる。

また、指導する人員が足りないことから外国人人材へも十分な教育ができていない状況が続いている為、新規人員確保と既存職員の教育も急務である。

その為にも稼働率の向上が必要だと言える。

3. ケアハウスモモ

入居者には末永く健康的な生活維持が重要である為、施設からも感染症予防・食中毒予防・事故防止・防災/防犯対策などの協力要請や、関連情報の発信を行なっていく。

様々な生活課題に備えて多職種で連携し、生活支援の強化ができるよう情報収集に努めていく。

在宅介護サービスでカバーできる範囲を超えると、他施設への入所を検討していかなければならず、本人・家族が望む条件に合う施設への移行ができるように相談支援体制の幅を広げ強化していくことが課題である。

また、居室内の設備に経年劣化による故障が相次いでいる為、整備(修理)を行なう必要があるが、その資金調達も課題である。

4. デイサービスセンターモモ

2024年度は、新型コロナウイルス感染症に関してそれまでの規制が徐々に緩和されてきた1年間であり、関連性は不明だが一部利用者には年間を通して風邪症状にて利用を控える方は減少していた印象である。

一方で新規利用者獲得にあまり繋がらず、平均参加人数が大幅に減少している為、その幅を少なくし、かつ一定に保つ事が今後の目標である。

新規利用者の獲得や既存利用者の増回による稼働率の維持と同時に、サービスの質の維持・向上に努めてく為にも、コミュニティセンターピノ・居宅サービスセンターモモ・ケアステーションナナとの法人内連携を図り、在宅部としても課題解決に取り組む必要がある。

5. 居宅サービスセンターモモ

昨年の介護保険改正で、居宅介護支援費の取扱件数を現行の「40未満」から「45未満」に変更され、介護予防支援の利用者数は2分の1を乗じて件数に加えていたものが3分の1を乗じて件数に加えることになった事で担当可能人数（事業所定員）が大幅に増加された。

2025年度は団塊の世代が後期高齢者（75歳超）になるいわゆる「2025年問題」を迎えることとなる。

更なる介護・支援状態の利用者が急増していくことに伴い、新規の受け入れが増えると同時に終了者の人数も増える中、世間では実績の安定を図る事を目的とした「何でも屋」「シャドーワーク」化がケアマネジャーの業務を遂行する上で深刻な問題になっている。

これら課題を事業所として解決しながら、出来る範囲で多くの利用者に対応出来るように努めていかなければならない。

世帯構成や利用者の状況も大きく変化していくと予測され、8050問題等にあるように、既存のサービスだけでは支援困難となるケースが増えていく中では、行政・地域包括支援センター・施設サービス・居宅サービスで連携を図り、地域資源の発掘や活用などを共に検討していくことも重要視し、事業所運営の安定に繋げていく必要がある。

また、単独事業所ではない為、併設事業所の稼働状況を常に把握し、入居相談・紹介等を適宜行ない、併設事業所の稼働率向上・安定が図られることで法人全体の利益向上につなげていけるよう、外部連携以上に法人内部での協力体制を築いていく必要もある。

●ピノ拠点

介護報酬単価が高めの地域密着型事業が集約されている一方、小規模であるが故に稼働率の低下が収入に与える影響はモモ拠点の比ではない。

また、報酬単価が高いという事は、従来型特養・通常デイとは異なる価値を見出す事が出来なければ、入居・利用希望者は集まらない。

2024年度は特養本入所稼働率が回復したが、今後も利用率向上の為、退去から入居に至る期間の短縮への取り組みが今後の課題となってくる。

特養入居申込者数は13名の登録があるが、施設の状況を顧みると（医療依存度等の兼ね合いにより）全ての待機者に入居案内が出来る訳ではない為、今後も待機者の獲得が課題となっている。

短期入所・通所介護事業所では、介護支援事業所（モモ・ナナ拠点）と連携をとりながら、利用率の維持・向上を目指す。

6. コミュニティホームピノ

地域密着型特養として地域に根差し、地域に開かれた施設作りが今後も重要となる。

2013年4月の開設から12年目が経過し、13年目となる2025年度では、開設初年度から入居されている方は1名となっている。

2024年度の新規入居者は危険行動が見られる方がおり、何度か転倒事故も発生してしまっている一方で、認知症自立度が高く、転倒リスクを認識され自身で注意をされている方も混在している。

職員配置はユニット1人対応が主とならざるを得ない状況である為、リスク回避に限度が見られている。

サービス提供に関して一層の質の向上を図る必要があるが、雇用情勢も厳しく派遣職員が介護職員の多数（83.3%）を占めている状況の中、サービスの質の向上・運営面の見直しが必要となっている。

2024年度は7名の退居者が出たが11名の新規入居者があり、2024年3月末時点での空床は1床に留める事が出来た。

待機者の減少は継続的かつ重大な課題であり、申込者における「将来的に入所希望」の方も含め待機者は一桁となっている状況ではある。

しかし、それは時に「申込後即入所が可能」な場合もあるので、これを利点として訴求していきたい。

7. ショートステイピノ

新型コロナウイルスやインフルエンザ感染の流行が未だ残っており、近隣の他施設でも施設内での感染拡大によりショートステイを一時的に閉鎖する事態になっている。

ピノでも2024年12月～2025年1月にかけて新型コロナウイルスとインフルエンザが感染拡大し、長期利用者以外のショートステイ利用を一時的に中止した事で稼働率が一気に下降した。

感染ルートを特定し辛くなってきており、職員の感染症対策に対する意識の継続も課題となっている。

新規契約の件数は2023年度とほぼ変わらないが、契約のみで利用に繋がらないケースも多くあった為、契約後の利用の促しなども実施していくことでリピーターを確保し、稼働率の維持・向上に繋げていく必要がある。

8. コミュニティセンターピノ

2023年4月に「地域密着型通所介護」として事業所を再開してから2年が経過した。

徐々に登録者数が増加し、2024年7月には31名の登録者数を確保できていたが、夏頃をピークに打ち切り者が続出し、最終的に2025年3月には2024年4月の登録者数と同数の22名となった。

結果、月平均参加人数12.6名以上の目標達成はできず、継続的に営業を行ない、新規登録者の確保・既存登録者の利用増回を緊急の課題と考え、対応していく必要がある。

その為にも、デイサービスセンターモモ・居宅サービスセンターモモ・ケアステーションナナとの法人内連携を図り、在宅部としても課題解決に取り組む必要がある。

●ナナ拠点

ケアハウスモモを有する当法人にとっては、同じ自立型施設ではあっても、サービス付き高齢者向け住宅は費用負担面でケアハウスよりも高額となる。

フレイグラントオリーブナナの入居率を高める為には、先述の「ピノ拠点がモモ拠点とは異なる価値を見出す」以上の努力が必要になる。

また、サービス付き高齢者向け住宅というと、外部サービスを入れて「身体介護サービスを必要な時に必要な分だけ受ける事ができる」印象が強く、特定施設として24時間365日支援スタッフが常駐している（またはそれに準ずる体制が構築されている）施設も少なくない。

2024年度は新規入居者を前年以上に受入れることができたが、32部屋の満室には至らず、今後も新規入居者獲得に向けた外部へのアプローチを積極的に実施する必要がある。

また、2025年度も入居者獲得の為には「ケアハウスモモ以上」且つ「近隣のサ高住以上」の優位性を確立していく必要があり、地域密着型拠点の「ピノ以上」に、地域に根差し、地域に開かれた施設作りが求められる。

9. フレイグラントオリーブナナ

2024年度は一時的に30名在室の月もあったが、満室（32室）には至らなかった。

引き続き見学会開催などで満室に向けた認知度を上げる努力が必要であると同時に、既存入居者に末永く住み続けて頂く為に、安心や生活の満足度を高める対策に、これまで以上に取り組まなければならない。

10. ケアステーションナナ

2025年4月より福祉用具貸与に各用具個別のTAISコードを入力する必要がある為、年度開始直後は国保連への介護保険事務請求作業での混乱が予想される。

2024年4月の介護報酬改定により、同一建物内（フレイグラントオリーブナナ）の高齢者を担当した場合の報酬は5%減収となり、また、要支援認定の人数換算がそれまでの2分の1から3分の1となっている（担当可能人数が増える）為、稼働率並びに介護報酬の低下傾向が続いている。

2018年9月に居宅介護支援事業所としての事業変更以降7年目となるが、2025年2月に事業所の現管理者が主任介護支援専門員を取得した為、事業の継続（配置基準）に支障はなくなった。

2025年度も引き続き積極的に新規獲得を目指し、稼働率100%を目指していく。

自法人在宅サービスであるデイサービス・ショートステイを既に利用中の担当高齢者はいるが、モモ・ピノとともに特定事業所集中減算の適用を考慮してもケアマネ事業所として利用できる枠は未だ残されている為、公平中立を念頭に置いた質の高いケアマネジメント・利用者のニーズに合ったサービスの提供を行なっていく。

同時に、自法人施設サービスの特別養護老人ホームモモ・コミュニティホームピノ・ケアハウスモモ・フレイグラントオリーブナナの空き状況も把握し、入居相談・紹介等を通して各施設の稼働率安定に協力出来るようにする。

施設ケアマネジメント（モモ）

1. 会議開催日数

平均して4.3回/月、延べ52日/年の開催日数となっている。

新規入所による初回ケース会議は2024年度と比べ5回の増加となっているが、年間通しての開催日数自体は前年とほぼ同回で推移している。

2025年度も利用者及びその家族主体でのスケジュールリング（介護保険更新時期との連動及び状態変化による）を継続していく。

2. ケース会議の役割

ケース会議を日常生活の様子を家族に伝える場、家族から入居前の生活歴等を伺う場として活用し、今後のケアに繋げていく。

また、これまで同様に家族と施設職員との情報交換の場としての役割も担い、家族と職員間のコミュニケーションを図る重要な会議と位置づけ定期開催していく。

ケース会議は本人・家族の意向を確認し、今後のケアの方向性を定め、具体的に提供するサービスを提案し、同意を得る契約の場でもある。

感染症等による面会制限時や家族都合により紙面開催となった場合に於いては、日常生活の様子や課題抽出に至った経緯についてできるだけ詳細に伝え、理解・同意を得られるよう対応していく。

会議開催日数

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ
2024年度	4	9	5	5	2	1	4	5	3	3	7	4	52
2023年度	6	5	3	5	6	5	3	5	4	5	5	2	54
2022年度	3	7	6	6	2	3	3	5	4	3	4	3	49

※紙面開催含む

計画作成回数

単位：人

	初回	2回目	3回目	4回目	5回以上	延べ
2024年度	27	17	9	5	25	83
2023年度	22	20	7	8	27	84
2022年度	17	11	11	14	28	81

対象者数

単位：人

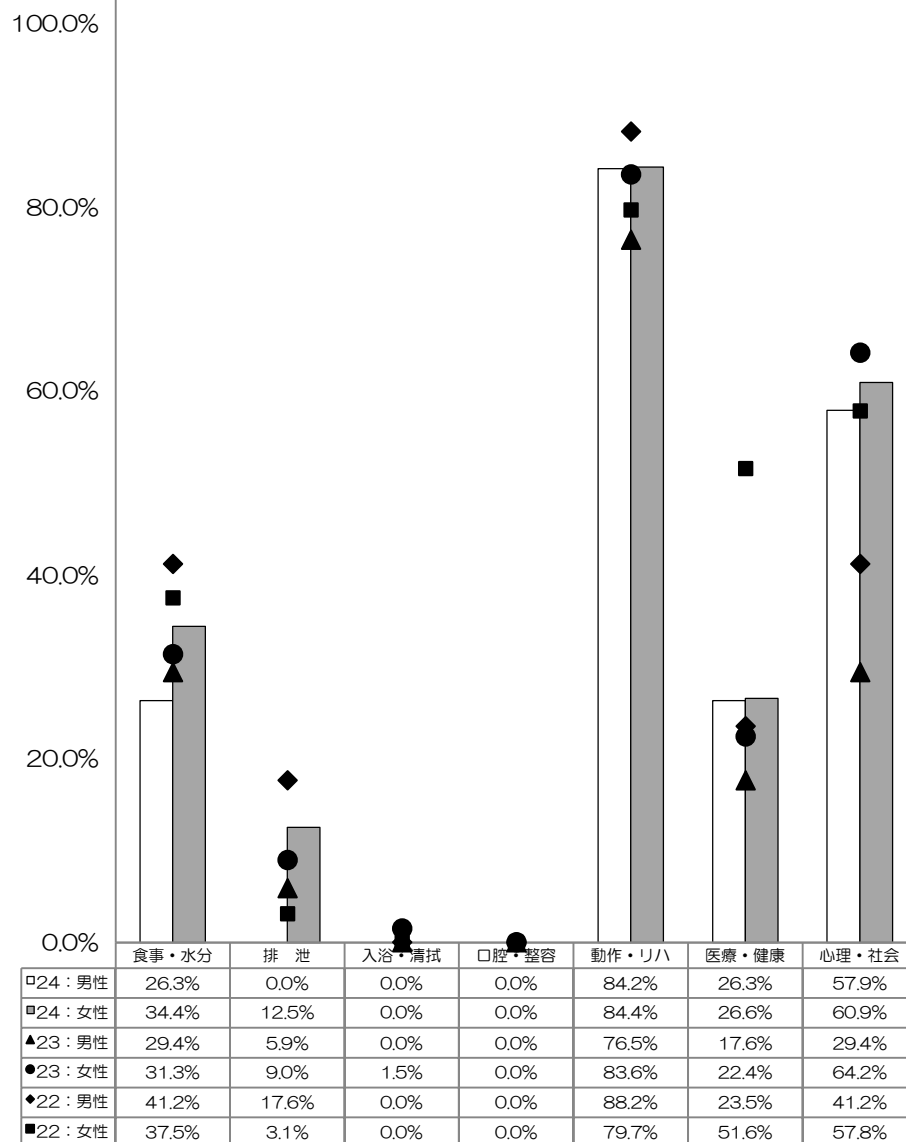
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ	平均
2024年度	6	13	10	8	5	3	5	9	7	5	4	8	83	6.9
2023年度	7	8	5	8	10	10	4	7	8	6	9	2	84	7.0
2022年度	5	11	12	8	4	5	4	6	7	7	9	4	82	6.8

家族（含：後見人等）出席率

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2024年度	100	100	90	100	80	100	100	78	86	60	100	100	91
2023年度	100	88	60	88	70	90	100	100	63	67	100	50	83
2022年度	80	91	50	100	0	0	75	83	71	29	78	75	61

項目別ケアプラン立案傾向（男女別 / 割合）



3. ケアプラン立案傾向からみた入居者像

三団体方式における「ケアチェック表」を基に、当施設における課題分析・計画立案状況から入居者像を見出してみる。

※実数値はひとりあたり複数回答が存在するために省略。

※項目別の立案件数を、各年度の延べ対象者数で割ったものを%表示。

「動作・リハビリ」項目でのニーズ（課題立案）は毎年最も多くあがっている。

入居者の高齢化に伴う身体機能の低下や認知症を患った入居者の危険行動による事故リスクが大きな要因と考えられるが、脳梗塞等疾病による後遺症のある入居者の増加が占める割合も大きい。

「心理・社会」項目も高い割合を示している。

認知症の進行により精神面でのフォローが必要となった入居者が多数を占める一方で、自立度の高い入居者の増加によりこれまでとは違ったかわり方が必要となっている。

「食事・水分」項目からは、高齢化により嚥下機能や食事量の低下した入居者が増加している事、それに伴い看取り介護を受ける入居者もまた増加している事が見て取れる。

「医療・健康」項目では、看取り介護の実施件数増加に伴い、吸引や褥瘡処置など医療的処置の必要な入居者が増加している事が分かる。

バルーンカテーテルを留置している入居者もここ数年で最も多かった。

物理的にも心理的にも介助量が多い入所者の増加は継続しており、重度化も進んでいる。

加えて、看取り介護の実施により、重度者の割合は今後もさらに増えていくと予測される。

4. 認定調査

コロナ渦前までは、自施設入居者への認定調査実施に対する保険者（市区町村）の意向は実施「してもよい」という主旨であった。

また、高齢者福祉施設では中立・公平性確保の観点から、自施設入所者の認定調査は併設居宅介護支援事業所で認定調査委に携わっている職員であっても実施しないようにしてきた。

それが2022年1月の「オミクロン株の爆発的流行」により調査員の確保が困難となり、保険者の意向も実施「してもらいたい」という主旨に代わり、外部からの調査員入館による「相互の感染症発症リスクを抑える」観点からも内部職員による認定調査実施の合理性・必要性が高まる。

当初は併設居宅介護支援事業所の調査員で対応（2022年1月～12月：延べ31件の認定調査を実施）していたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況増悪に伴う認定調査依頼件数増加への対応として、特別養護老人ホームモモとして2022年11月1日付にて受諾契約を締結。

施設介護支援専門員が認定調査員研修を経て自施設入所者の認定調査を保険者に代わって行なうこととなった。

本対応は「今後、自施設入居者への認定調査を積極的に実施していく」という方針転換ではなく、あくまでも「コロナウイルス感染症収束までの経過的措置」として取り扱う事とし、収束後は当初方針である「自施設入所者の認定調査は併設居宅介護支援事業所の職員であっても実施しない」に戻す。

但し、2024年8月にはモモで新型コロナウイルス感染症が発生していることもあり、2025年度も受諾契約更新の手続きを行なっている。

a. 実施数

単位：人

	男性	女性	合計	前年比
2024年度	3	11	14	116.7%
2023年度	4	8	12	171.4%
2022年度	1	6	7	—

b. 依頼保険者

単位：人

	県外	市外	市内	合計
2024年度	0	0	14	14
2023年度	0	0	12	12
2022年度	0	0	7	7

c. 月毎の実施状況

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
女性	0	1	0	1	0	2	1	2	1	2	0	1
合計	0	1	0	1	0	2	1	2	2	2	1	2
保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相模原市	0	1	0	1	0	2	1	2	2	2	1	2
市外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	0	1	0	2	1	2	2	2	1	2

d. 実施者プロフィール

単位：人

介護度	性別	年 齢（ ●●歳代 ）							割合 (%)
		50	60	70	80	90	100	合計	
介護1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	
介護2	男性	0	0	0	0	0	0	0	7.1
	女性	0	0	0	1	0	0	1	
	合計	0	0	0	1	0	0	1	
介護3	男性	0	0	0	0	1	0	1	28.6
	女性	0	0	0	2	1	0	3	
	合計	0	0	0	2	2	0	4	
介護4	男性	0	0	0	0	0	0	0	35.7
	女性	0	0	2	2	1	0	5	
	合計	0	0	2	2	1	0	5	
介護5	男性	0	0	1	0	1	0	2	28.6
	女性	0	0	1	1	0	0	2	
	合計	0	0	2	1	1	0	4	
合計	男性	0	0	1	0	2	0	3	
	女性	0	0	3	6	2	0	11	
	合計	0	0	4	6	4	0	14	
割 合 (%)		0.0	0.0	28.6	42.9	28.6	0.0		.

施設の介護支援専門員が個人宅または他の入居系施設で認定調査を実施する事はなく、上記は全て特別養護老人ホームモモ入居者である。

また、2024年度に併設居宅介護支援事業所の調査員が行なったモモ入居者の認定調査は、保険者が他県である入居者1件となっている。

N Home ursing

特別養護老人ホームモモ

2024年度の稼働率は86.2%と、前年度より7.5%低下となる低稼働率となってしまった。

新規入所者数30名に対し退所者数28名であり、新規入所しても稼働率の向上に繋がらない（空床が埋まらない）状況が続いてしまった事が要因の一つと考えられる。

退所者数を少なくする必要もあるが、状態の低下・病気の発覚など入居者の状態はいつ変化があるか分からず、日々の待機者管理・新規受け入れ計画を念頭に、退所者が出た場合に迅速な対応が出来るような体制を整えていく必要がある。

その為にも、相談員以外の職員も協力（分担）して取り組んでいく。

2024年8月に新型コロナウイルス陽性者が発生しているが、迅速な感染対策を行なった事により、1名の陽性者で終了する事ができた。

世間では新型コロナウイルスに対する認識が低くなってきているが、福祉施設としてはまだまだ危険な感染症の一つとして考えていくと共に、陽性者が発生した場合には迅速な感染対策を行なっていく必要がある。

施設の老朽化から設備などに故障が見られてきているが、修繕費用の捻出が困難なケース（箇所）も多く、対応が一部停滞している。

入居者の生活基盤維持・職員の効率的業務遂行の為に、稼働率の向上・目標稼働率の維持に努め、環境整備費用の捻出を図る。

1. 入所待機状況

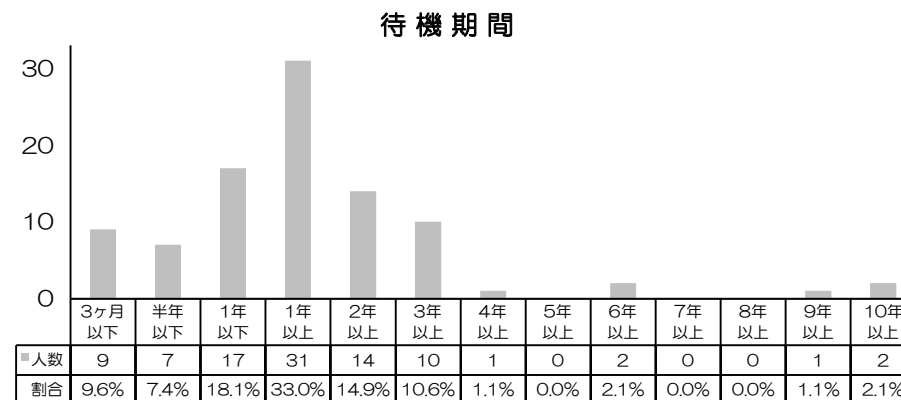
a. 地域別・待機期間別待機者

待機者数：94名（男性：43名・女性：51名）

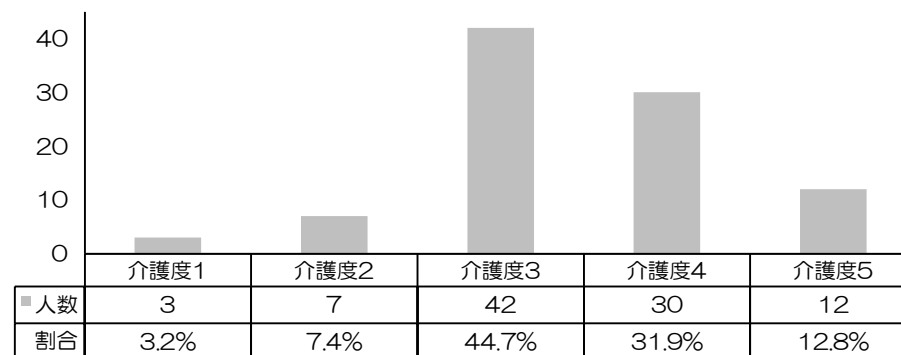
※2024年度待機者郵送調査未実施

※2024年度申込者67名（入所済・取り下げ者含む）

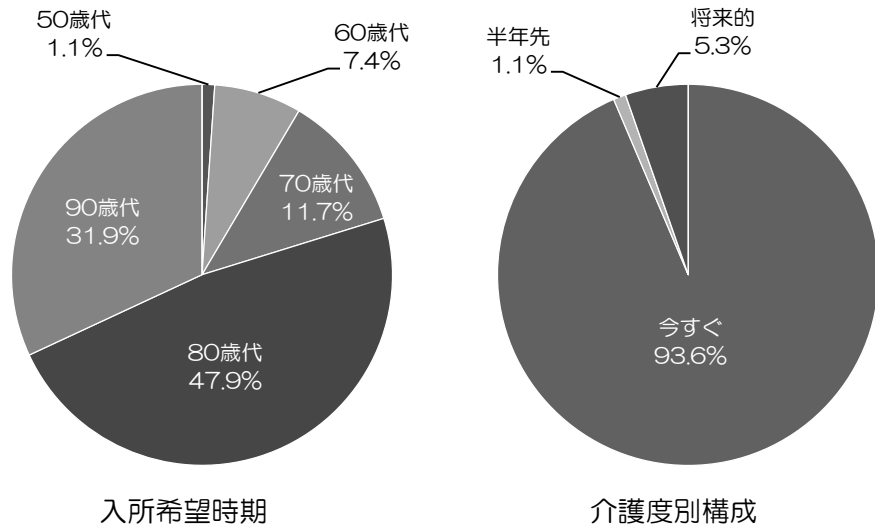
地域別数：区内/61人・市内/18人・市外/15人



b. 待機者介護度（除：要支援移行・期限切）



c. 待機者年齢・入所希望時期



※2024年度新規入所者（30名）における待機期間

平均：109.6日間（最長：679日間・最短：6日間）

※2025年3月31日現在の最長待機日数：4949日間

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
今すぐ入所したい	2	4	41	29	12	88
半年先ぐらいには入所したい	0	0	0	1	0	1
1年先ぐらいには入所したい	0	0	0	0	0	0
将来的に必要な時に入所したい	1	3	3	0	0	5
不明・無回答	0	0	0	0	0	0
合 計	2	7	44	30	12	94

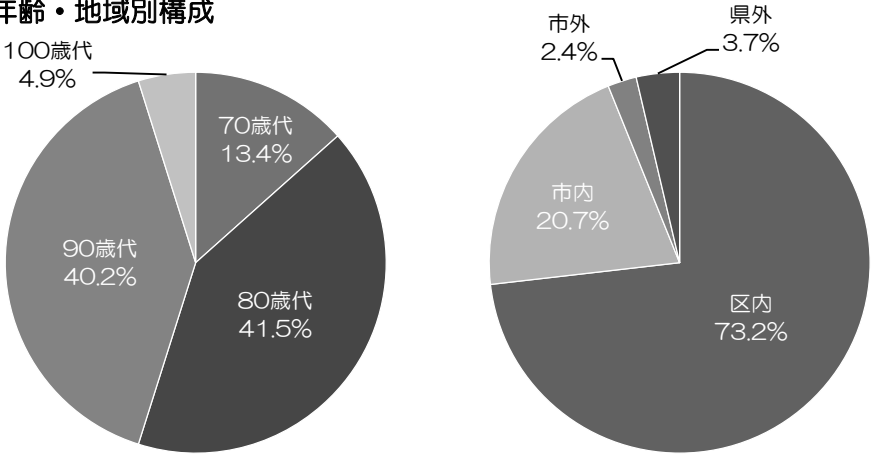
2. 入所者の現況

（2024年度実績者延べ：82名）

2024年度入所者の年齢構成としては、90歳以上が全体の約45%を占めており超高齢化傾向である。70歳代が13.4%と前年比174%となり若年層の受け入れにより平均年齢も多少減少している。

特養の入所基準が介護度3以上という事や、高齢者の健康寿命が延びている現況を考えると今後も平均年齢は高齢化で推移していくと思われる。

a. 年齢・地域別構成



●年齢構成 単位：人（延べ） / （ ）内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (0)	6 (5)	5 (5)	6 (7)	0 (0)	17 (17)
女性	0 (0)	0 (1)	5 (1)	29 (31)	27 (24)	4 (4)	65 (61)
全体	0 (0)	0 (1)	11 (6)	34 (36)	33 (31)	4 (4)	82 (78)

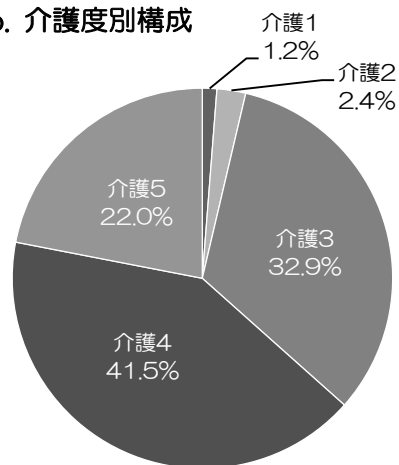
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原	15 (15)	62 (58)	77 (73)
その他	2 (1)	3 (3)	5 (4)
合計	17 (16)	65 (61)	82 (77)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	94歳（96歳）	75歳（72歳）	83歳 11ヶ月（85歳 6ヶ月）
女性	103歳（103歳）	77歳（68歳）	89歳 4ヶ月（89歳 11ヶ月）
全体	103歳（103歳）	75歳（68歳）	88歳 2ヶ月（88歳 11ヶ月）

※（ ）内は前年度数値

b. 介護度別構成



看取り対象者を主に3Fで、認知症周辺症状が顕著である方を主に2Fで受け入れている事により、平均介護度のフロア差が生じている。

2025年1月より再取得となった日常生活継続支援加算を取得維持していく為にも、平均介護度は今後も上昇していくものと思われる。

全体

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男 性	0	0	5	9	3	3.88(4.05)
女 性	1	2	22	25	15	3.78(3.77)
合 計	1	2	27	34	18	3.80(3.83)

※（ ）内は前年度数値

2F（特養入所・短期入所混在）

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男 性	0	0	2	3	0	3.60	5
女 性	1	1	11	6	2	3.33	21
合 計	1	1	13	9	2	3.38	26

3F（特養入所のみ）

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男 性	0	0	3	6	3	4.00	12
女 性	0	1	11	19	13	4.00	44
合 計	0	1	14	25	16	4.00	56

c. 身体障害手帳

単位：人（延べ）

	重度		中度		軽度		合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
男 性	4	0	0	0	0	0	4
女 性	1	2	1	0	0	0	4
合 計	5	2	1	0	0	0	8

内訳	肢体不自由	心臓機能障害	言語障害	視覚障害	聴覚障害	精神障害	合計
	5	3	0	0	0	0	

d. 健康保険

単位：人（延べ）

後期高齢者医療	国保	健保	生活保護	合計
80	1	被扶養者	医療扶助	
		0	1	82

e. 介護保険負担限度額認定

単位：人（延べ）

第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
1	11	7	14	49	82

3. 入所者の生活状況

前年度の過去最多新規入所者数であった22名を超える30名の方が入所となった。しかし、退所者数も過去最多の28名となっており、年々退所者数が増加している。

a. 入退所状況 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	5	4	4	2	2	0	1	3	3	2	2	2	30
退所	3	1	4	0	4	5	1	3	2	3	1	1	28

※退所理由：看 取 り / 21名
療養型医療施設転院 / 3名
他施設入所 / 2名
入院先医療機関死亡 / 1名
在宅復帰 / 1名

看取りによる退所者数には前年度比でも変化はあまりないが、対応困難な医療行為が必要となってしまった方の退所が顕著であり、退所者の減少には対応可能医療体制の強化が必要であると考えられる。

b. 看取り 単位：人

件数	年齢	性別	介護	在園日数	呼吸停止発見 (時刻)	死亡診断 (時刻)	ご遺体搬送 (時刻)	曜日 昼夜
1	88	女	3	169日	2024.04.07 (22:00)	2024.04.07 (23:04)	2024.04.08 (01:15)	月 夜間
2	96	女	4	4138日	2024.04.15 (10:40)	2024.04.15 (11:25)	2024.04.15 (16:20)	月 日中
3	93	女	4	1528日	2024.04.30 (03:45)	2024.04.30 (04:39)	2024.04.30 (07:10)	火 夜間
4	90	男	3	161日	2024.06.03 (15:40)	2024.06.03 (17:30)	2024.06.03 (18:50)	月 日中
5	84	女	3	59日	2024.06.09 (09:30)	2024.06.09 (11:57)	2024.06.09 (13:55)	日 日中
6	98	女	3	2056日	2024.06.09 (17:53)	2024.06.09 (18:35)	2024.06.09 (19:40)	日 夜間
7	86	女	4	1883日	2024.06.12 (15:15)	2024.06.12 (16:40)	2024.06.12 (17:15)	水 日中
8	93	女	4	876日	2024.08.18 (20:55)	2024.08.18 (22:58)	2024.08.19 (01:05)	日 夜間
9	79	男	5	1273日	2024.08.24 (21:10)	2024.08.24 (23:10)	2024.08.25 (02:15)	土 夜間
10	80	女	5	408日	2024.08.25 (19:28)	2024.08.25 (21:08)	2024.08.25 (22:05)	日 夜間
11	90	女	4	1697日	2024.09.13 (13:20)	2024.09.13 (14:44)	2024.09.13 (16:45)	金 日中
12	92	男	4	128日	2024.09.14 (07:02)	2024.09.14 (08:02)	2024.09.14 (08:43)	土 夜間
13	92	女	5	123日	2024.09.15 (18:32)	2024.09.15 (19:51)	2024.09.15 (21:35)	日 夜間
14	89	女	3	1678日	2024.09.17 (01:30)	2024.09.17 (02:42)	2024.09.17 (03:50)	火 夜間

b. 看取り

単位：人

件数	年齢	性別	介護	在園日数	呼吸停止発見 (時刻)	死亡診断 (時刻)	ご遺体搬送 (時刻)	曜日 昼夜
15	96	女	4	449日	2024.09.28 (07:37)	2024.09.28 (09:20)	2024.09.28 (10:00)	土 日中
16	84	女	5	2461日	2024.10.15 (15:07)	2024.10.15 (15:45)	2024.10.15 (16:50)	火 日中
17	88	女	3	1095日	2024.11.03 (21:58)	2024.11.03 (22:43)	2024.11.04 (00:13)	水 夜間
18	76	男	4	378日	2024.11.18 (16:00)	2024.11.18 (16:35)	2024.11.18 (20:30)	月 日中
19	102	女	3	1118日	2024.11.19 (18:40)	2024.11.19 (20:23)	2024.11.19 (21:10)	火 夜間
20	84	男	4	190日	2025.01.09 (19:15)	2025.01.09 (21:11)	2024.01.09 (22:10)	木 夜間
21	101	女	5	50日	2025.03.12 (23:25)	2025.03.13 (00:18)	2025.03.13 (3:30)	木 夜間

2024年度看取り対応者は21名（前年度比100%）で、そのうち13名（総数比：61.9%）の呼吸停止発見が夜間帯となっている。

しかし、関係各所の協力にて、昼夜問わず呼吸停止発見から搬送まで滞りなく完了する事が出来ている。

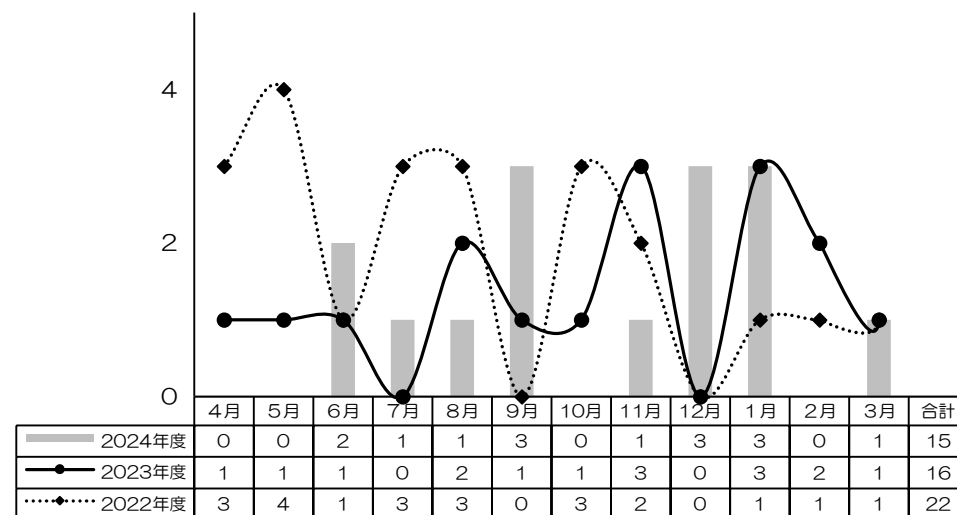
呼吸停止確認からの対応時間経過

	死亡診断所要時間	遺体搬送所要時間	対応総時間
平均	1時間25分	1時間50分	3時間15分
最長	3時間42分	4時間55分	6時間47分
最短	0時間35分	0時間35分	1時間41分

嘱託医は24時間往診（死亡診断）可能であるが、日中は施設以外での通常診療も行っており、夜間帯の方が呼吸停止確認連絡から施設来訪までの所要時間が短い傾向にある。

c. 入院状況

単位：人



※2024年度延べ入院日数：383日

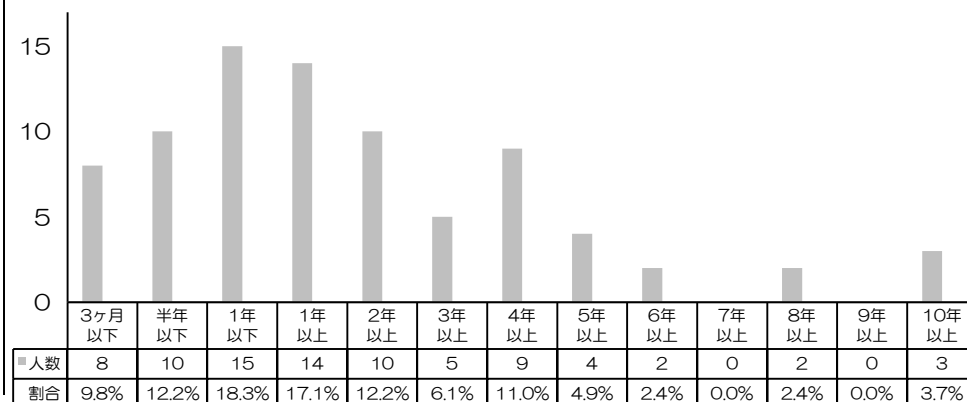
最長入院日数：75日(摂食嚥下機能障害)

最短入院日数：3日(癌検査) ※転院（退所）前提入院者を除く

平均入院日数：25日

d. 入所（在園）期間

単位：人

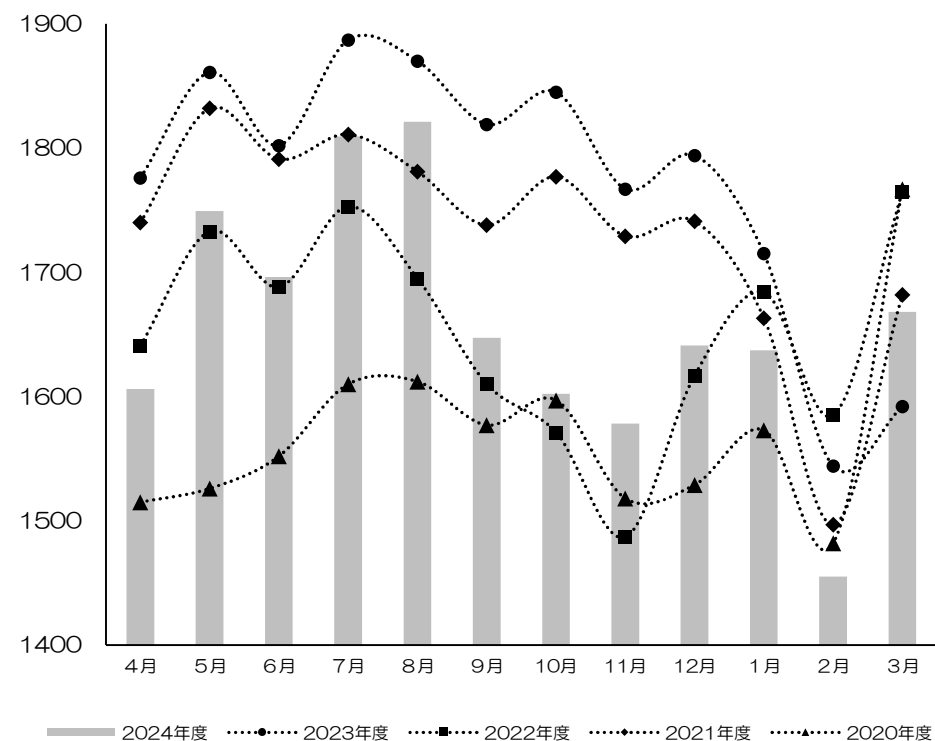


e. 在籍状況（入院・外泊を含む）

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2024年度	1606	1749	1696	1809	1821	1647	1602
2023年度	1778	1869	1839	1899	1907	1838	1876
2022年度	1685	1819	1783	1829	1800	1673	1636
年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
2024年度	1578	1641	1637	1455	1668	19909	93.6%
2023年度	1836	1848	1774	1586	1653	21703	105.9%
2022年度	1558	1653	1694	1589	1769	20488	98.6%

単位：人（延べ）



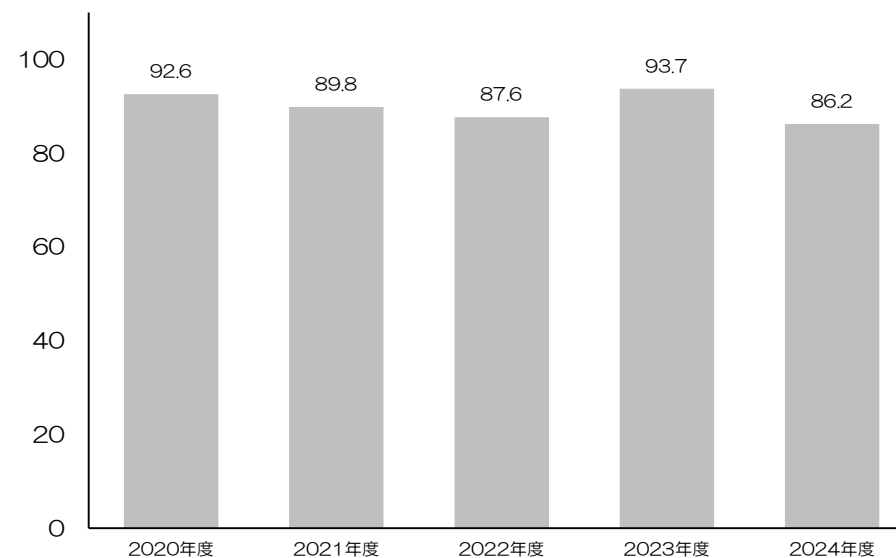
※2021年2月1日

短期入所の転換により定員が 本入所 56 ⇒ 62 名・短期入所 16 ⇒ 8 名となる。

f. 稼働率比較（入院・外泊を除く）

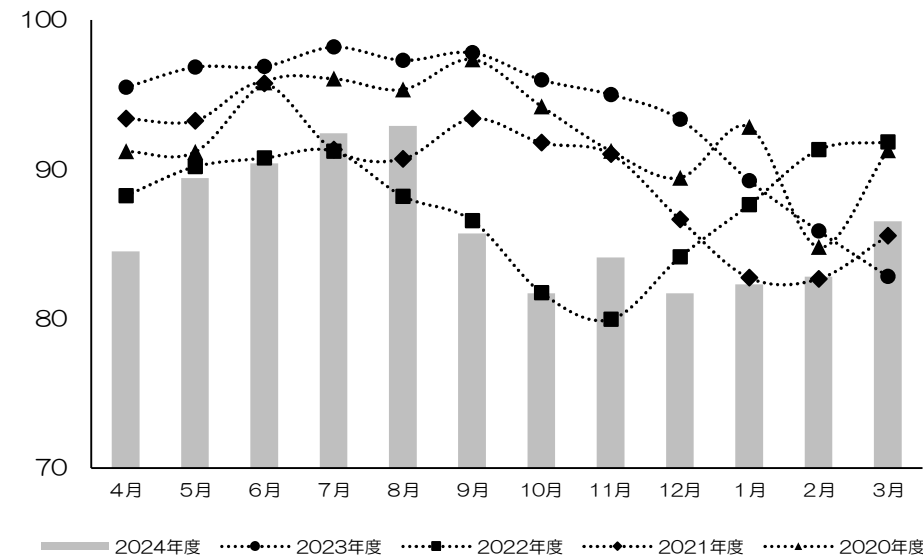
（年間平均稼働率）

単位：%



（月間稼働率）

単位：%



g. 認知症の状況

単位：人

HDS-R 得 点	正常範囲		準認知症		認知症			合計
	30～ 26 点	25～ 21 点	20～ 16 点	15～ 11 点	10～ 6 点	5～ 0 点	不能・ 未検査	
6 月	2025年度：未実施							
8 月								
12 月								

h. 日常生活動作状況

単位：人

項目	状態及び人数					
視力	普通/不明	81	弱視	1	全盲	0
聴力	普通	70	やや難聴	10	難聴	2
言語	普通	79	やや不自由	2	不自由	1
意思疎通	普通	46	多少困難	15	困難	21
食事	自立	25	一部介助	19	全介助	38
入浴	自立	2	一部介助	32	全介助	48
着脱衣	自立	4	一部介助	32	全介助	46
排泄	自立	5	一部介助	23	全介助	54
オムツ等	なし	2	紙パンツ	29	オムツ	65
	自立	1	杖・歩行器	1	車椅子	80

※紙パンツ・オムツ併用者(夜間オムツ対応)あり。

看取り対象者の増加に比例し介助量も増加。

特に食事摂取介助者・オムツ対応者・車椅子対応者の増加が顕著である。

i. 外出・外泊の状況

単位：人

来訪 回数	0～ 10回	11～ 20回	21～ 30回	31～ 40回	41～ 50回	51～ 60回	61回 以上
	45	26	11	0	0	0	0
外泊	年末年始	0	その他	0	合計	0	0
外出	年末年始	0	その他	20	合計	20	20

※外出は家族・関係者によるもの。施設行事による外出は含まず。

2024年度は面会制限を緩和せずに継続。

(看取り期の方の面会に対しては制限を撤廃し家族希望に沿って面会実施)

外出に関しては近隣への散歩や行政手続き等の必要最低限とした。

外泊に関しては引き続き原則禁止で家族等の理解を得られた。

j. 月例行事催行状況

種別	実施頻度	行事内容
誕生会	月1回(第4水曜日)	当月の誕生者(短期入所含む)を祝福。
家族食事会	中止	誕生者家族を招いて昼食を個別に楽しむ
レクリエーション	毎日	風船バレー・体操・談話・カラオケ・合唱 囲碁・将棋・オセロ・ボール遊び など
理髪室	月1回(第2月曜)	利用希望者(散髪・髭剃り(女性のみ))
喫茶室	中止	普段とは変わった飲み物や甘味類を楽しむ
合唱会	中止	昔懐かしい曲等伴奏に合わせての合同合唱

※中止行事の理由は新型コロナウイルス感染症予防対策

k. クラブ活動(月例)

種別	実施頻度	実施場所
生け花	月1回(第4水曜日)	3階リハビリコーナー
書道	新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い、ボランティア・講師の来訪 を中止した結果、活動自体も未実施となる。	
音楽クラブ		

1. 会 議（定例/含：職員向け）

種 別	開 催 頻 度	検 討 内 容
特養課会議	月 2 回 （第 2・4 金曜日）	介護・看護・栄養・短期入所 各部署間の連絡調整及び認識統一
リーダー会議	月 1 回 （第 2 金曜日）	各フロアの状況報告・部署内連絡事項・予定/改善事項を検討
給食会議	月 1 回（第 4 水曜日）	食ごとにまつわる事項の検討
事故対策委員会	月 1 回（第 2 金曜日）	発生した事故の分析や事故防止の検討
拘束検討委員会	月 1 回（第 2 金曜日）	拘束状況代替策や改善の検討
ケース会議	年 1 回/一人 基本 状況変化時は随時	入所者の現況分析・ケア目標や計画検討
感染症対策委員会	1 回/3ヶ月 （第 2 金曜日）	流行性感染症/一般感染症についての対策・予防等の検討
褥瘡対策委員会	月 1 回（第 2 金曜日）	褥瘡への対策・予防の検討
食中毒対策委員会	1 回/3ヶ月 （第 2 金曜日）	食中毒への対策・予防の検討
施設部会	月 1 回（毎週火曜）	特養/ケアハウスの施設における状況や結果及び今後の対応策の検討

n. 苦 情

2024年度は0件。

m. 年間行事/その他予定（入所者の生活に直接関わるもの）

開催日	行 事	内 容
5/16	春季健康診断	入所者の健康診断
6 月予定	風船バレー大会	新型コロナウイルス感染防止に伴い中止
9/ 8	神輿見学	1F デイ活動室内にて見学
9 月予定	カシオペア祭	新型コロナウイルス感染防止に伴い中止
10 月予定	施設対抗運動会	新型コロナウイルス感染防止に伴い中止
12/ 5	インフルエンザ予防接種	入所者の予防接種
12/18	コロナウイルスワクチン接種(令和 6 年度摂取)	入所者の予防接種
1/1～3	初詣	新型コロナウイルス感染防止に伴い中止
3 月予定	花見外出	近隣へ花見見物

※季節/祝日等に伴う「祝膳」は特養課行事としての記載を省略：栄養課報告にて代替え

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため行事等は中止が多く見られている。

4. 医務室

a. 疾患状況

単位：人（延べ）

	人 数		人 数
心疾患	19（19）	歯科疾患	60（50）
消化器疾患	16（12）	ガン疾患	8（4）
脳神経疾患	3（4）	糖尿病	5（4）
精神科疾患	7（9）	高血圧症	38（30）
整形外科疾患	18（23）	慢性間接リュウマチ	1（1）
腎機能疾患	5（4）	ホルモン疾患	0（1）
肝機能疾患	0（1）	老人性認知症	71（50）
脳血管障害	16（12）	泌尿器科疾患	15（6）
呼吸器疾患	1（0）	皮膚科疾患	6（1）

※（ ）内は前年度数値

b. 看護処置

単位：人（延べ）

処 置 内 容	人 数
創処置	5（7）
軟膏塗布	58（50）
点眼	21（10）
坐薬挿入	8（2）
湿布	12（3）
フランドルテープ	0（0）
吸入	1（0）
フットバス	0（0）

※（ ）内は前年度数値

c. 服薬管理

単位：人（延べ）

時 間 帯	人 数
朝食時	70（50）
昼食時	36（30）
夜食時	66（45）
就寝前	15（9）
便秘時	60（40）

※（ ）内は前年度数値

d. 認知症行動障害

単位：人（延べ）

状 態	人 数	状 態	人 数
自傷行為	1（0）	人物誤認	8（5）
夜間せん妄	3（4）	作話	10（5）
興奮・奇声	3（3）	摂食異常	14（8）
徘徊	3（3）	盗癖・収集癖	0（1）
攻撃の行為	5（2）	被害妄想	8（12）
不潔行為	7（5）	躁鬱状態	2（3）

※（ ）内は前年度数値

e. インフルエンザ 予防接種

単位：人

入所者数	接種数
53	46

※入院・家族希望により7名未接種。

f. 医療管理者

単位：人（退居者含）

処 置 内 容	人 数
胃瘻（造設者含む）	1（0）
留置カテーテル	15（6）
膀胱瘻	0（0）
喀痰吸引	16（5）
褥 瘡	4（3）

※（ ）内は前年度数値

g. 定期診察

提 携 医	精神科医	歯科往診
水曜日/月2回	月2回	毎週水士

S_{hort-term} Stay

ショーステイモモ

2024年度年間稼働率は57.6%。

前年度（61.9%）比で-4.3%と減少している。

原因としては、年度内問い合わせの殆どが男性利用者（受け入れ可能居室満床）や胃瘻造設（対応困難）の方、他施設利用中にその施設内でのコロナウィルスクラスター発生により退所を迫られての利用希望となっており、濃厚接触しているにもかかわらず待機期間が終了していない状態での問い合わせが多く、新規の受入に繋がらないケースが多くなった。

また、ショーステイから併設特養本入所への移行が8名、他施設への本入所者が4名入所の為に、12名が契約終了となっている。

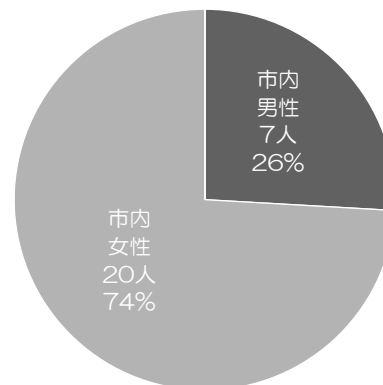
2023年度同様に、受け入れ可能居室満床時に男性利用者の問い合わせがあった場合には、法人内の別事業所であるショーステイピノへ紹介を行った。

2023年度末より、長期利用者の本入所への移行が徐々に進んだことで、稼働率は低下してしまった他、夏季・年末年始にかけ利用希望の問い合わせを頂くも、職員数の問題もあり受け入れ困難ケースが多く、新規利用者の獲得が出来なかった事で利用者の減少に至っている。

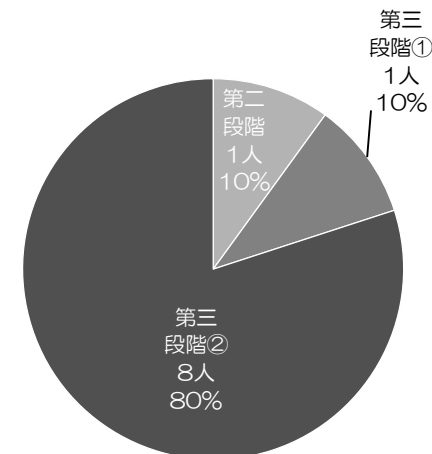
2025年度は本入所希望者の受け入れはもちろんの事、長期や定期利用希望の新規顧客の受け入れも行ない、稼働率が増えるよう対応する。

1. 利用者プロフィール（年度内実績者27名の内訳）※2025.03.31 現在

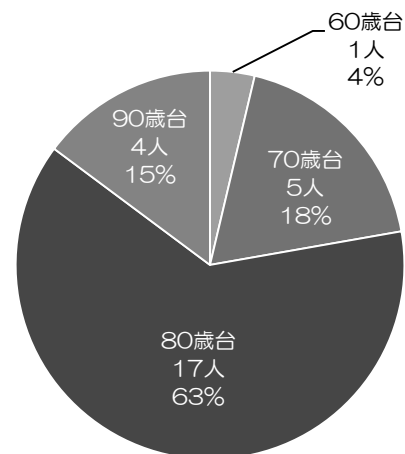
地域別割合



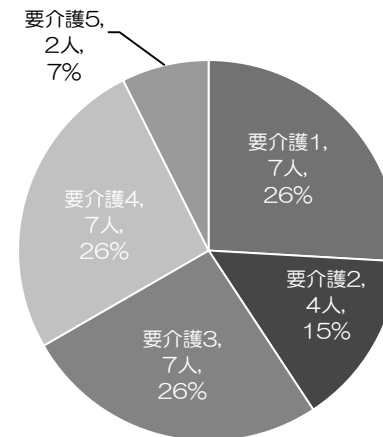
介護保険負担限度額認定



年齢別構成



要介護度別構成



平均年齢：83.4歳【最高齢：97歳（女性） / 最年少：72歳（男性）】

施設部関連 / ケア入居者（2人）・特養本入所移行（8人）

在宅部関連 / デイ併用（6人）・居宅モモ/ナナ担当（延：4人）

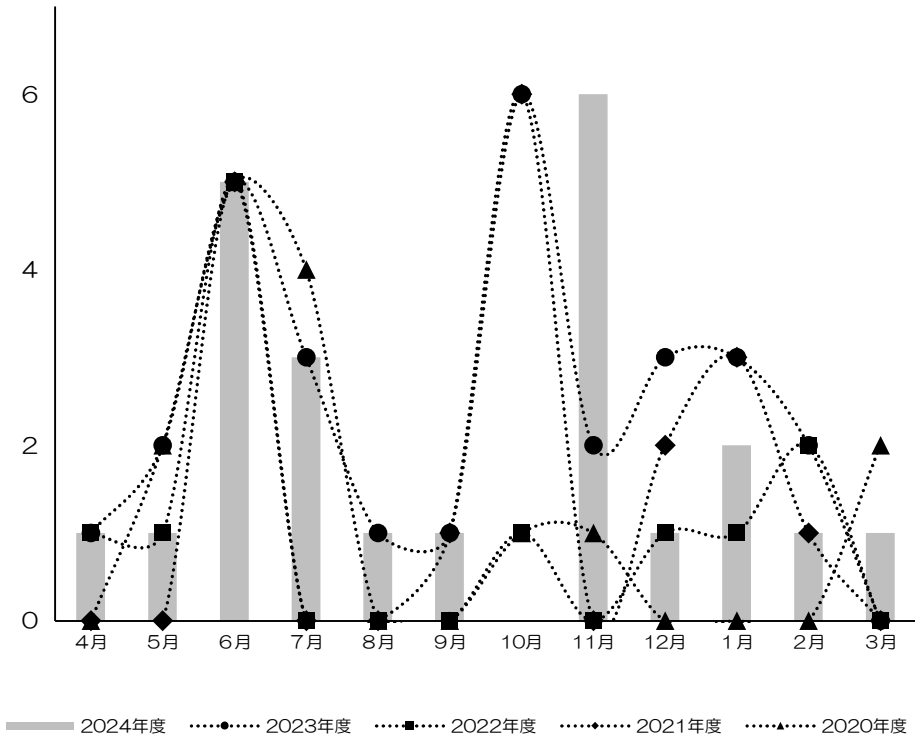
2. 年間の利用状況

a. 契約数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4
女	1	1	3	3	1	0	0	0	1	2	0	1	13
合計	1	1	5	3	1	1	0	6	1	2	1	1	23
前年	1	2	5	3	1	1	6	2	3	3	2	0	29

単位：件



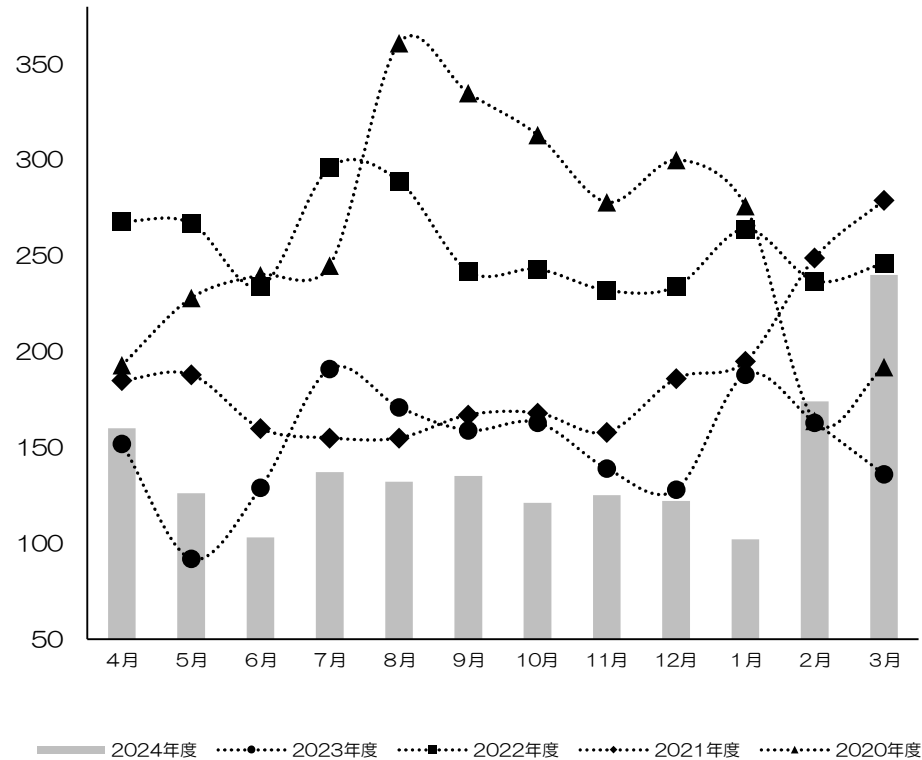
b. 稼動状況

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2024年度	160	126	103	137	132	135	121
2023年度	152	92	129	191	171	159	163
2022年度	268	267	234	296	289	242	243

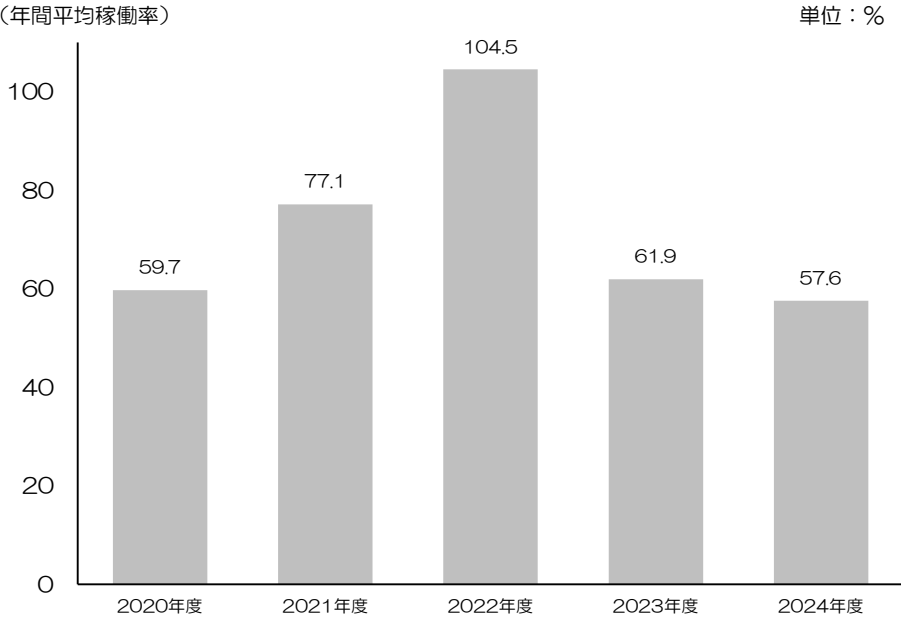
年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
2024年度	125	122	102	174	240	1677	92.6%
2023年度	139	128	188	163	136	1811	59.0%
2022年度	232	234	264	237	246	3052	135.9%

単位：人

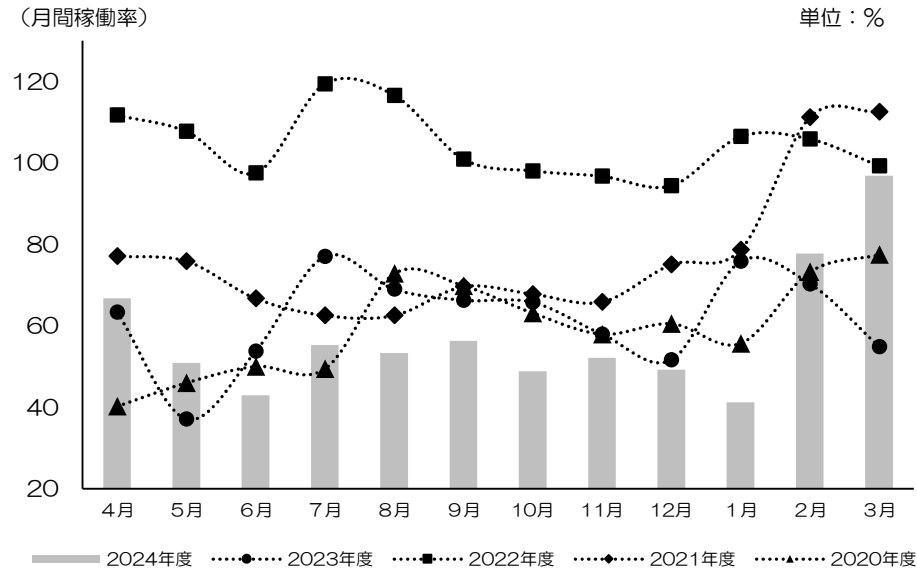


c. 稼働率比較

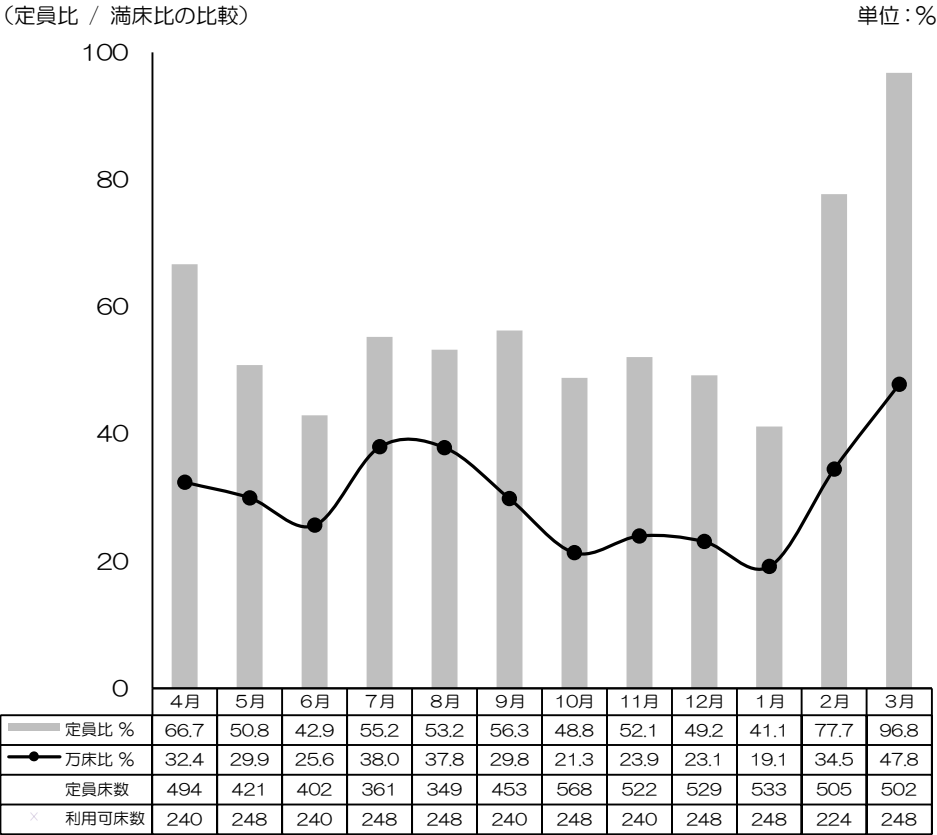
(年間平均稼働率)



(月間稼働率)



(定員比 / 満床比の比較)



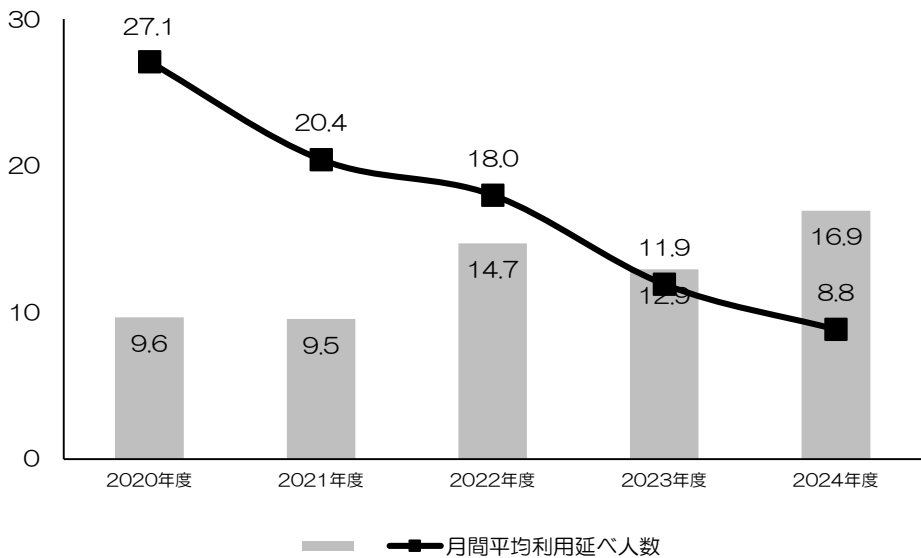
※2021年2月1日

短期入所の転換により定員が 短期入所 16 ⇒ 8 名・本入所 56 ⇒ 62 名 となる。

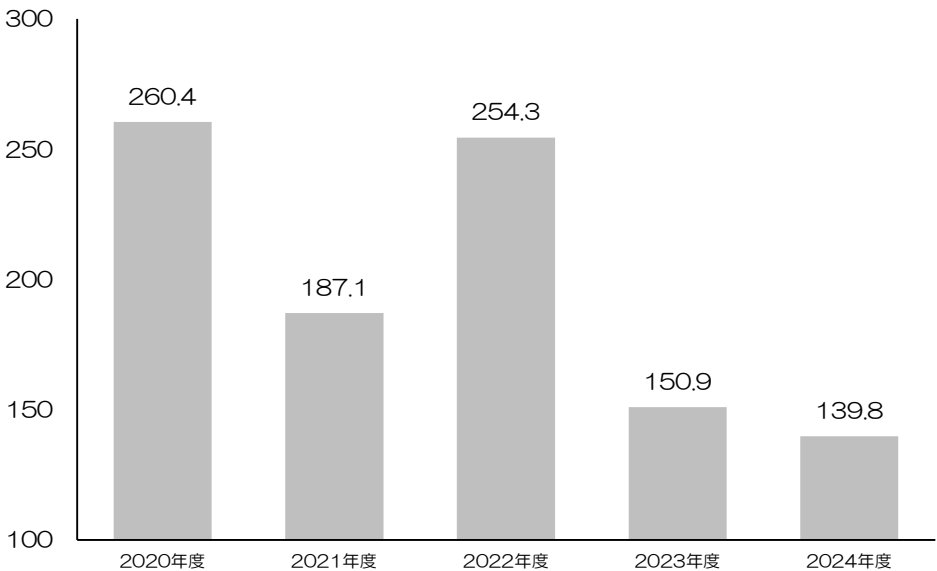
※満床比 = 特養入所者用の空床ベッドも含めた「利用可能床数」に対する比率

3. 利用者の傾向

a. 一人当たりの平均利用日数&月間平均延べ利用人数



b. 月間平均延利用日数

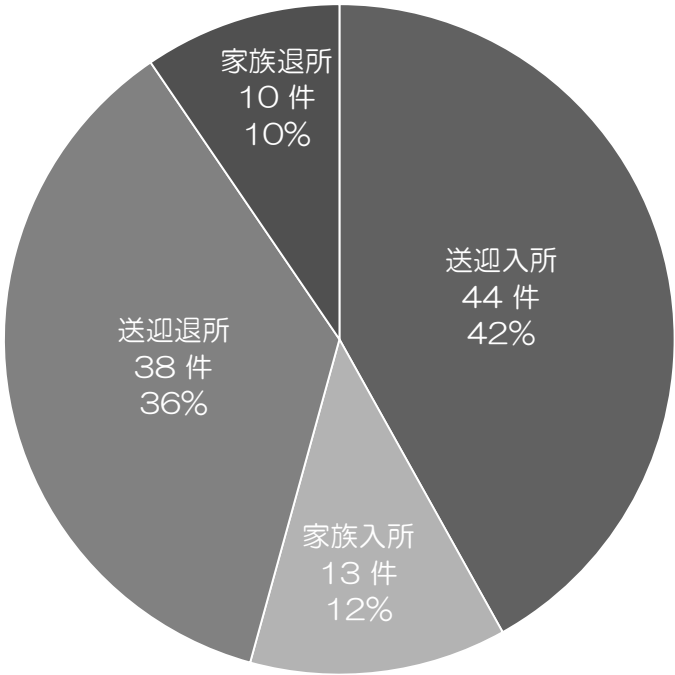


c. 月毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入所	6	7	8	7	4	6	3
退所	5	6	7	6	5	3	3
合計	11	13	15	13	9	9	6
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内：家族
入所	2	2	1	5	6	57	13
退所	3	3	0	2	5	48	10
合計	5	5	1	7	11	105	23

(入・退所件数の内訳)



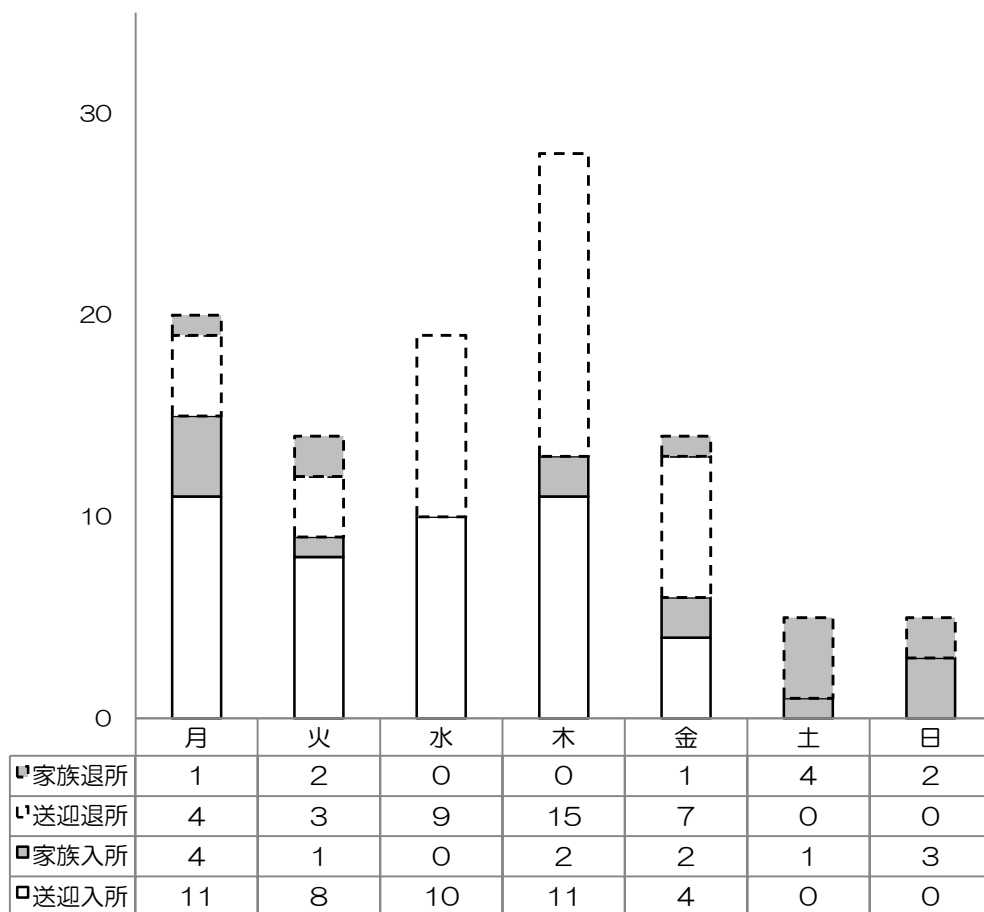
d. 曜日毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	月	火	水	木	金	土	日
入所	15	9	10	13	6	1	3
退所	5	5	9	15	8	4	2
合計	20	14	19	28	14	5	5

(入・退所件数の内訳)

単位：件



e. 曜日毎の利用状況

単位：人

月/曜	月	火	水	木	金	土	日
4月	25	26	24	25	22	19	19
5月	17	17	23	21	18	15	15
6月	13	14	16	16	15	15	14
7月	22	21	23	19	18	17	17
8月	18	18	18	23	20	19	16
9月	23	18	18	19	18	18	21
10月	15	20	20	21	15	15	15
11月	17	17	17	17	20	20	17
12月	20	20	16	15	16	16	19
1月	13	13	16	17	17	13	13
2月	24	25	25	27	27	23	23
3月	38	32	31	31	33	38	37
合計(人)	245	241	247	251	239	228	226
%	14.6	14.4	14.7	15.0	14.3	13.6	13.5
平均(人)	20.4	20.1	20.6	20.9	19.9	19.0	18.8

※ 割合(%) = 年度延べ利用人数「1677人」に対する比率

本入所を待って長期利用されている方が多い影響もあり、曜日別のばらつきは少なくなっている。

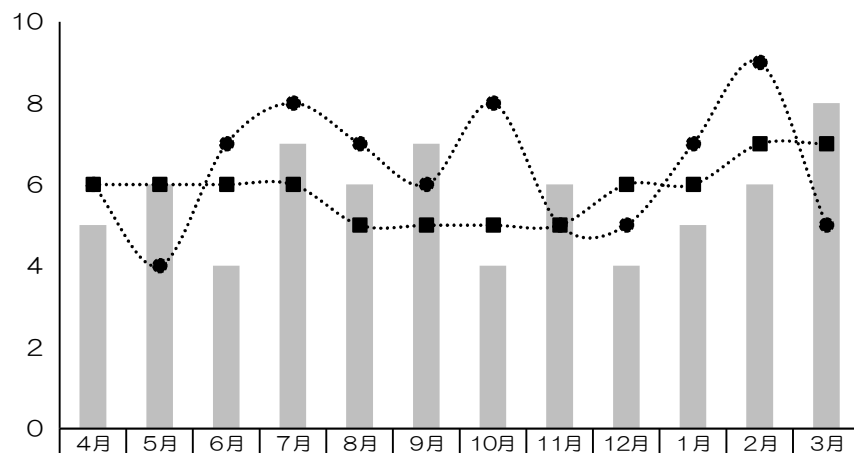
また曜日指定で利用を希望される方もいたが、家族の仕事や体調等の問題等で、2～3度利用した後に長期利用に変更となるケースも多くみられた為、インフルエンザ等の発生があっても、最低限の利用人数は確保出来た。

但し、退所者(本入所や入院等)が生じた時に、その居室の利用予定がすべてキャンセルとなってしまう、全体稼働率の低下につながる為、定期利用のリピーターと長期利用者の受け入れバランスを調整していく事が望ましいが、当面は稼働率の回復が最優先すべき目標である。

4. 他事業所との関わり

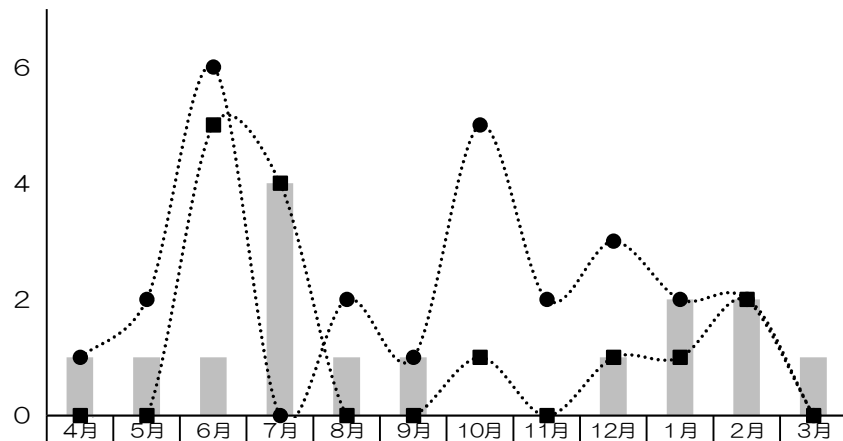
a. 利用事業所件数（居宅モモ・ナナ除く）

単位：件



b. サービス担当者会議出席件数（居宅モモ・ナナ含む）

単位：件



5. 苦 情

2024年度・・・0件

6. 事 故

年度を通して事故は11件。

昨年と比較し1件減少。

受診や賠償を要するレベルの重大事故はなく、利用総数の減少や長期利用者の増加に伴い非常に安定した受入れ状況であった。

7. 情報整理

過去1年以上利用がない方々の契約書及びその他資料を区分け保管。

※再利用時には介護保険制度改定等により「再契約」「再面接」とした。



施設ケアマネジメント（ピノ）

1. 会議開催日数

新型コロナウイルス感染予防の観点から、2020年度よりピノ館内でのケース会議は開催せず郵送でのプラン内容確認をしているが、2024年度も感染予防及び人員体制の問題により郵送での確認となっている。

新規入居者は入居日より開始の暫定プランを作成し、契約時に家族等に説明・同意を得ている（この時を会議開催日として数えている）。

入居2ヶ月目をめどに作成した本プランを家族等に郵送し、内容確認と同意を依頼している。以降、要介護認定の更新時期に合わせて基本1年間の長期目標・半年間の短期目標を設定、目標終了月（年2回）に再度作成したケアプランを家族等に郵送し、目標達成度の評価・更新/追加内容の確認・施設に対する要望の聞き取りを実施している。

また、退院後・心身状態の急激な低下時・区分変更に伴う要介護度変更時・その他必要時には随時変更プランを作成し、郵送にて確認をとる。

2. ケース会議の役割

入居者の日常生活の様子を報告し現プランの評価を行ない、現状の問題・課題は何か、それを解決する為のサービス（目標）はどういったものかを検討しサービス計画表を作成し、郵送にて家族等に報告をしているが、家族等の要望や疑問点を把握する事が難しい。今後再開するであろう対面でのケース会議でしっかりと確認をするようにしていきたい。

会議開催日数（ピノでの開催）

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ
2024年度	1	0	1	3	1	1	0	0	1	0	0	0	8
2023年度	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	5
2022年度	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3

計画作成回数

単位：人

	暫定	初回	2回目	3回目	4回以上	延べ
2024年度	8	8	7	6	30	59
2023年度	5	6	8	8	32	59
2022年度	3	8	7	4	39	61

対象者数

単位：人

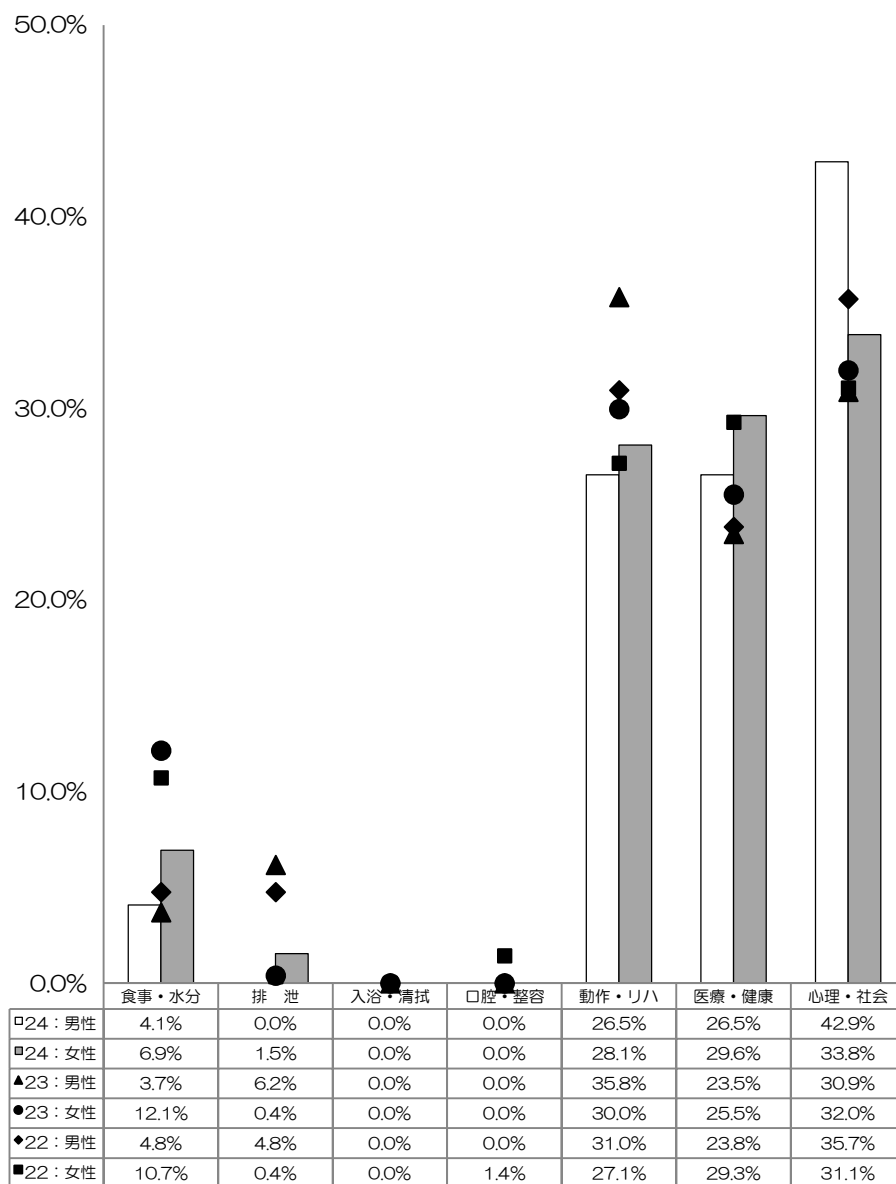
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ	平均
2024年度	3	4	5	7	8	7	1	5	5	5	6	4	60	5.0
2023年度	6	5	3	4	7	7	7	5	2	4	5	4	59	4.9
2022年度	4	6	4	5	5	3	4	7	5	3	6	5	57	4.8

家族（含：後見人等）出席率

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2024年度	33	0	20	43	13	14	0	0	20	0	0	0	13
2023年度	0	0	33	25	14	14	0	20	0	0	0	0	8
2022年度	0	17	0	0	0	0	0	14	20	0	0	0	5

項目別ケアプラン立案傾向（男女別 / 割合）



3. ケアプラン立案傾向からみた入居者像

24時間シート・個別アセスメントシートを介護士が作成し、ユニットにて最終チェックを行ない、ケアマネジャーがケアプランを作成している。当施設における課題分析・計画立案状況から入居者像を見出してみる。

※実数値はひとりあたり複数回答が存在するために省略。

※項目別の立案件数を、各年度の延べ対象者数で割ったものを%表示。

「動作・リハ」「医療・健康」「心理・社会」の項目に課題が集中している。

新規入居者も身体機能の低下が見られる方が多く、健康状態の確認が必要となっている。また、既存入居者の認知症の進行もあり、精神面の安定が求められること、新規入居者も同様の課題を抱えている事が多い為、この3点に集中したと考えられる。

入居者一人ひとりに向かい合うことで、その方の心の苦しみやこれまでと同じ様に身体を動かせない辛さ、そこに付随するリスク管理を含めると、上位3点の項目が課題解決に向かう入居者のニーズとなり、家族等の希望にも繋がっている結果だと思われる。

ただし、その他の優先順位の高いニーズを見逃してしまっていないかに注意をする必要がある為、各入居者の生活状況を出来るだけ把握し、他項目の「排泄」「口腔・整容」「食事・水分」「入浴・清拭」の部分での課題を見逃さないアセスメント力をつけていけるようにしていきたい。

また、個人のこだわりや生活習慣に添ったケアプランの作成も出来るよう取り組んでいきたい。

今後もより深く入居者の課題を見つける為に、モニタリング・ケアチェックを実施し、ケアプランに反映していくようにする。

C Home ommunity

コミュニティホームピノ

既存入居者の心身状況の低下は、以前と比べると緩やかながら続いている。

退居者は2023年度11名であったが2024年度は7名であった。

新規入居者11名は比較的ADLの高い方が多かったが、2名は年度内にご逝去されてしまった。

新規入居者11名のうち4名はショートステイピノから、1名はケアハウスモモからの移行であり、外部からの入所は在宅：4名・入院先：1名・有料老人ホーム：1名であった。

7名の退居者のうちピノでの看取りは1名、入院の長期化が1名、入院から療養型病院への転院が3名、入院中にご逝去された方が2名であった。

待機者は年度初め：11名・年度末：12名で、年度内の入所者は11名。

年度内の新規申し込みは20名で、そのうち9名は入居されており、待機期間は短くなっている。

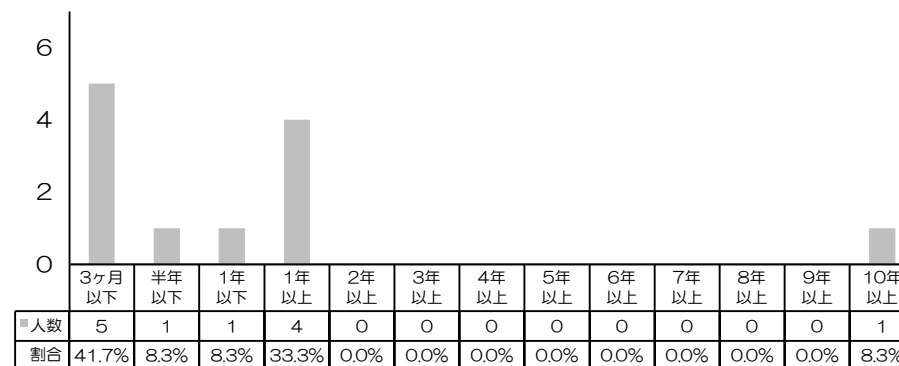
現在の待機者のうち将来的入所希望の方が3名、ピノの体制や医療処置が必要などで入居を進める事が難しい方が5名、介護1の方が2名であった。その他2名については受入れ可能なので、入居に向けた連絡を行なっている。

人員体制と新型コロナウイルス感染症の影響で行事がほぼ実施出来ておらず、入居者の生活がマンネリ化してしまっているが、勤務シフトを組む事で精一杯な状況が見られており、職員研修や勉強会の実施も困難であった。

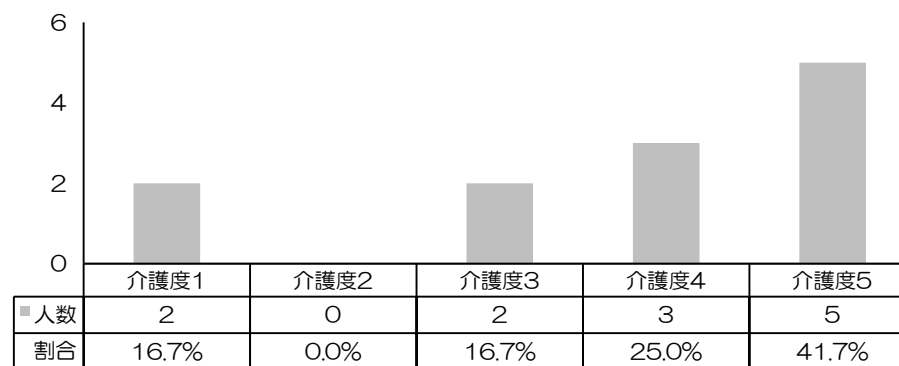
しかし、個別ケアの質向上の為に今後も介護職員の教育は課題である。

1. 入居待機状況

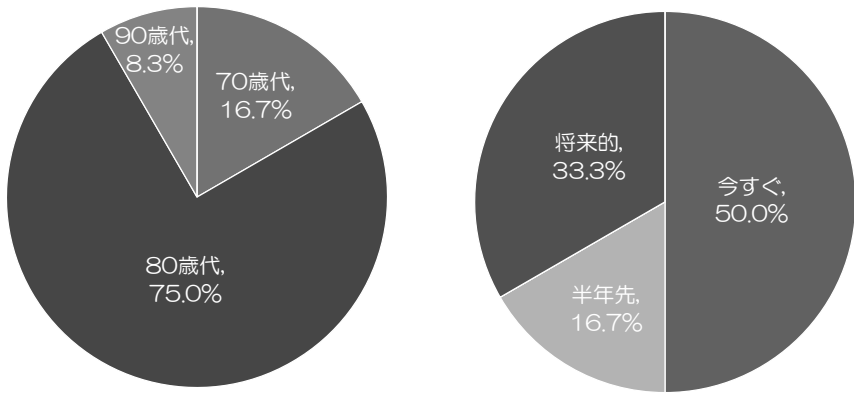
a. 待機期間別待機者



b. 待機者介護度（除：要支援移行・期限切）



c. 待機者年齢・入居希望時期



入居希望時期 介護度別構成

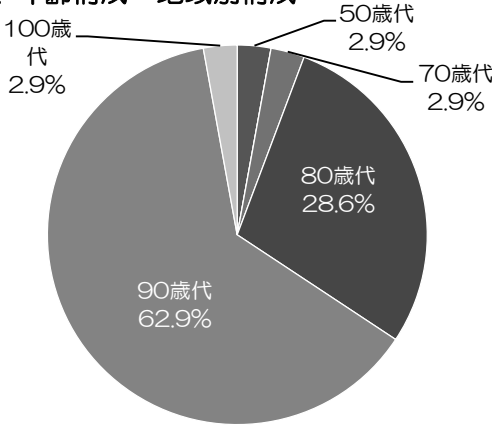
単位：人

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
今すぐ入居したい	0	0	1	2	3	6
半年先ぐらいには入居したい	0	0	1	0	2	2
1 年先ぐらいには入居したい	0	0	0	0	0	0
将来的に必要なになった時に入居したい	1	0	1	1	1	4
不明・無回答	0	0	0	0	0	0
合 計	1	0	3	3	6	12

2. 入居者の現況

(2024年度実績者延べ：35 名)

a. 年齢構成・地域別構成



●年齢構成

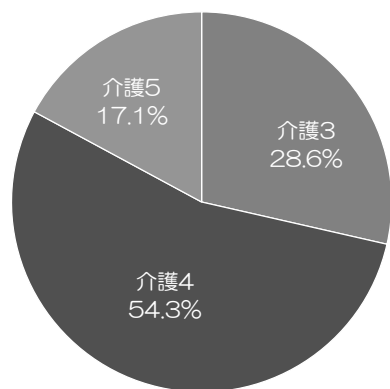
単位：人（延べ）

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (0)	1 (2)	3 (3)	2 (4)	1 (0)	7 (9)
女性	1 (1)	0 (0)	0 (1)	7 (6)	20 (17)	0 (1)	28 (26)
全体	1 (1)	0 (0)	1 (3)	10 (9)	22 (21)	1 (1)	35 (35)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	106 歳 (97 歳)	77 歳 (79 歳)	88 歳 (88 歳)
女性	99 歳 (100 歳)	56 歳 (55 歳)	89 歳 (89 歳)
全体	106 歳 (100 歳)	56 歳 (55 歳)	89 歳 (89 歳)

※（ ）内は前年度数値

b. 介護度別構成



全体

単位：人（延べ）※（ ）内は前年度数値

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男 性	0	0	2	5	0	3.71 (3.55)
女 性	0	0	8	14	6	3.92 (4.03)
合 計	0	0	10	19	6	3.88 (3.91)

E2ユニット

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男 性	0	0	0	1	0	4.00	1
女 性	0	0	2	5	2	4.00	9
合 計	0	0	2	6	2	4.00	10

E3ユニット

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男 性	0	0	3	2	0	3.40	5
女 性	0	0	1	4	1	4.00	6
合 計	0	0	4	6	1	3.72	11

W3ユニット

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男 性	0	0	0	1	0	4.00	1
女 性	0	0	5	5	3	3.84	13
合 計	0	0	5	6	3	3.85	14

c. 身体障害手帳

単位：人（延べ）

	重度		中度		軽度		合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
男性	0	1	0	0	0	0	1
女性	1	0	2	0	0	0	3
合計	1	1	1	0	0	0	4

内訳	肢体不自由	心臓機能障害	言語障害	視覚障害	聴覚障害	合計
	2	1	0	1	0	4

d. 健康保険

単位：人（延べ）

後期高齢者医療	国保	健保	生活保護	合計
34	1	被扶養者	医療扶助	
		0	0	35

e. 介護保険負担限度額認定

単位：人（延べ）

第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階	合計
0	1	1	7	26	35

3. 入居者の生活状況

a. 入退居状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居	1	0	1	3	1	0	1	0	0	2	1	1	11
退居	1	1	0	0	0	2	0	1	0	1	1	0	7

※退居理由：看取り / 1名
 入院長期化 / 1名
 入院から療養型医療施設転院 / 3名
 入院中逝去 / 2名

2024年度は新規入居者数11名・退居者7名であった。
 新規入居者数が退居者数を上回る事が出来たが、年度内に満床にはならず、年度末で28床（満床29床）にとどまってしまった。
 新規入居から3日後にピノにてご逝去されてしまった方と、3ヶ月後に入院・ご逝去されてしまった方がおり、重度の方の受け入れについて案じていた結果が出てしまった部分もあった。
 年末年始にかけて新型コロナウイルス感染症とインフルエンザが同時に発生しまい、直接の退居要因にはならなかったが、注意が必要と思われる。
 待機者は継続して著しく少ない状況ではあるが、申し込みから入居までの日数が少ないという点を強みとして活かせるのではないかと考える。
 今後も新たな待機者確保の為、関係各部門との連携を行なっていくようにする。

b. 看取り

単位：人

件数	年齢	性別	介護	在園日数	呼吸停止発見（時刻）	死亡診断（時刻）	ご遺体搬送（時刻）	曜日 昼夜
1	90	女	5	4日	2024.05.02 (05:35)	2024.05.02 (06:50)	2024.05.02 (07:55)	木 夜間

今年度の看取りは1名のみ（前年度比25.0%）で、入居から3日後のご逝去であった。
 看護型小規模多機能施設からの入居で、家族にはいつ急変するか分からない状況である事はお伝えしていたものの、あまりにも早いご逝去に対して、入居をさせなければ（環境を変えなければ）良かったとの後悔も聞かれた。
 家族への説明と協力依頼を丁寧に行ない、納得のいく尊厳ある看取りが出来るようにしていきたい。

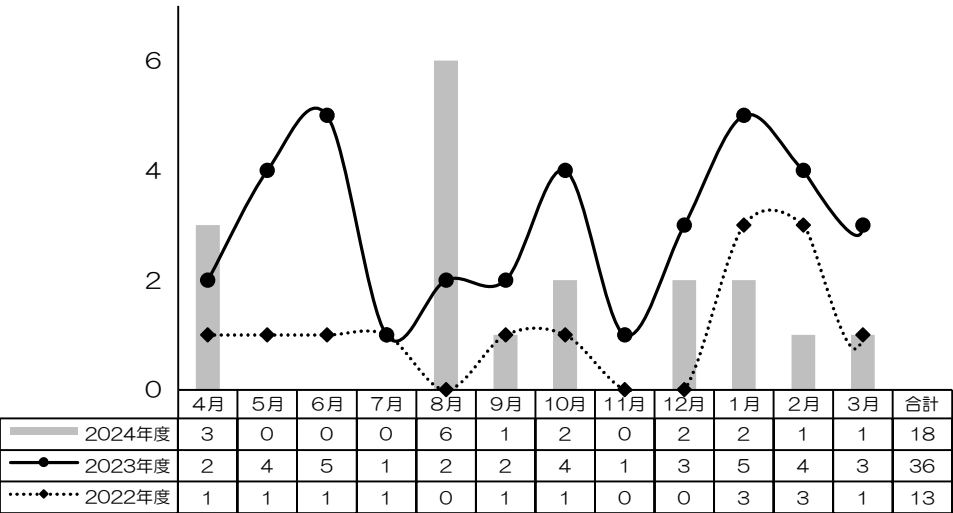
呼吸停止確認からの対応時間経過

	死亡診断所要時間	遺体搬送所要時間	対応総時間
平均	1時間15分	1時間05分	2時間20分
最長	—	—	—
最短	—	—	—

嘱託医は24時間往診（死亡診断）可能であるが、日中は施設以外での通常診療も行っており、夜間帯の方が呼吸停止確認連絡から施設来訪までの所要時間が短い傾向にある。

c. 入院状況

単位：人

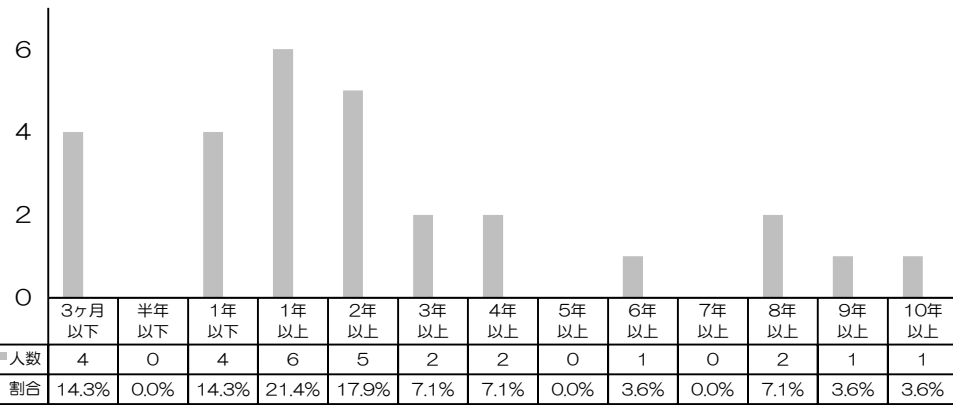


※2024年度延べ入院者日数：524日

入院延べ人数は18名で2023年度の半数であった。
5名は複数回の入院となり、最多の方は3回/136日の入院となった。
最終的に療養型病院へ転院をされたが、ピノでの生活を望まれての入退院の繰り返しであった。

d. 入居期間

単位：人

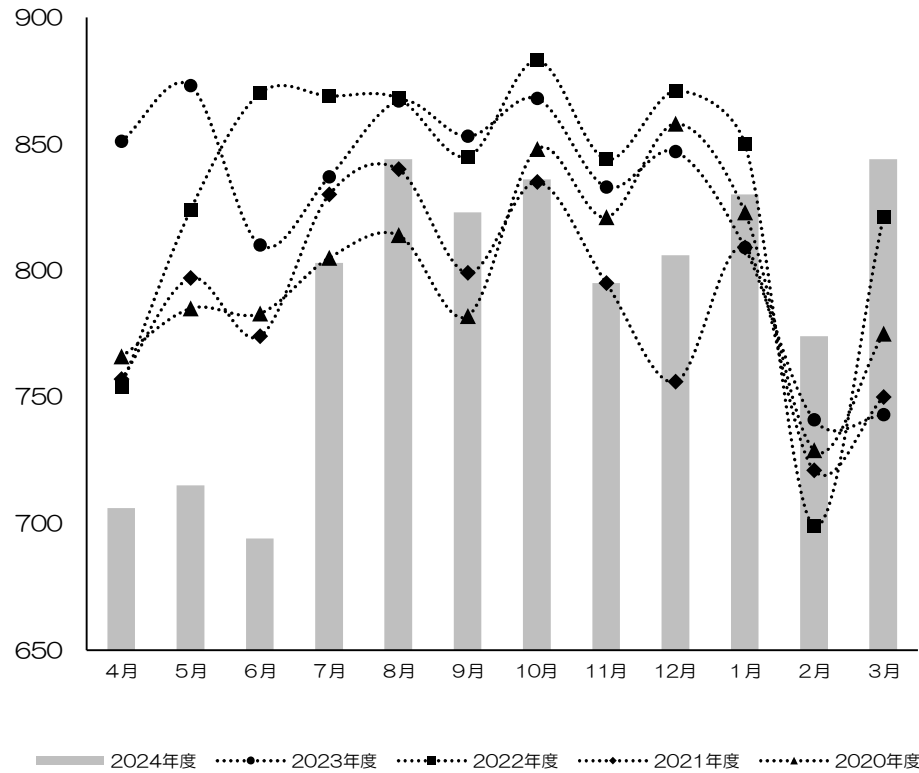


e. 在籍状況（入院・外泊を含む）

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2024年度	706	715	694	803	844	823	836
2023年度	851	873	810	837	867	85	868
2022年度	774	808	843	875	868	850	883
年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比%
2024年度	795	806	830	774	844	9,470	95.3
2023年度	833	847	809	741	743	9,932	98.9
2022年度	844	871	873	720	828	10037	99.9

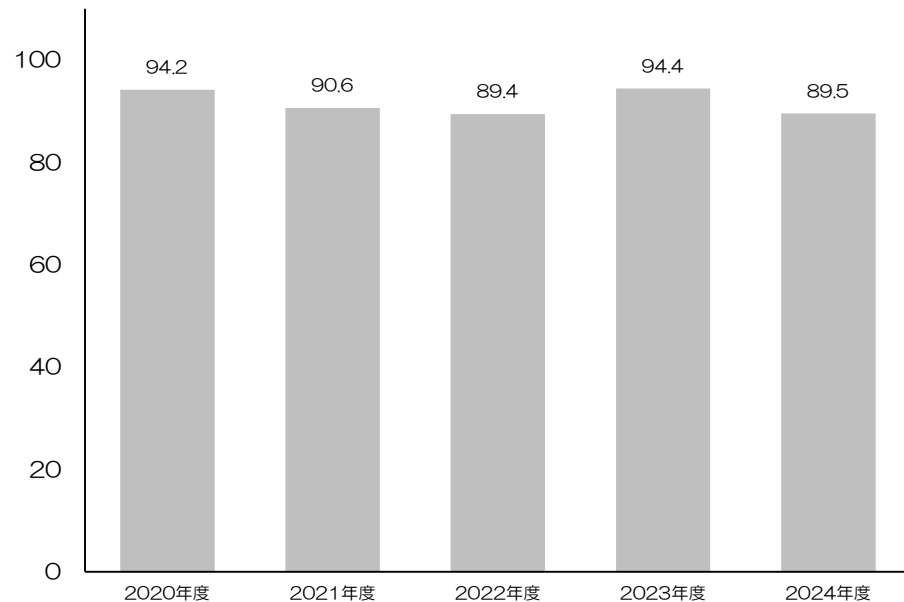
単位：人



f. 稼働率比較（入院・外泊を除く）

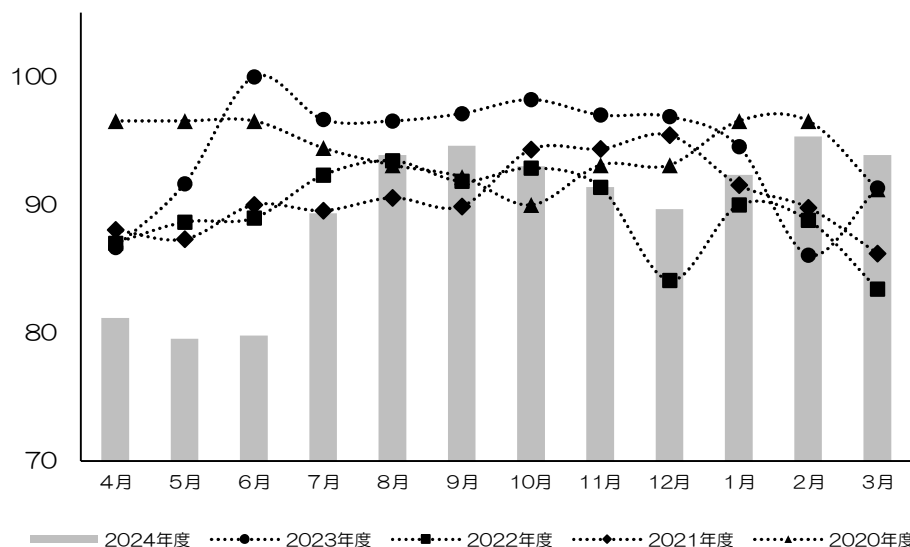
（年間平均稼働率）

単位：％



（月間稼働率）

単位：％



g. 認知症の状況

単位：人

HDS-R 得点	正常範囲		準認知症		認知症			合計
	30～ 26点	25～ 21点	20～ 16点	15～ 11点	10～ 6点	5～ 0点	不能・ 未検査	
6月	0	2	2	1	7	12	0	24
12月	0	1	3	4	6	11	0	25

h. 日常生活動作状況

単位：人

項目	状態及び人数					
視力	普通/不明	30	弱視	4	全盲	1
聴力	普通	26	やや難聴	2	難聴	7
言語	普通	28	やや不自由	0	不自由	7
意思疎通	普通	19	多少困難	10	困難	6
食事	自立	24	一部介助	5	全介助	6
入浴	自立	0	一部介助	21	全介助	14
着脱衣	自立	1	一部介助	18	全介助	16
排泄	自立	7	一部介助	16	全介助	12
オムツ等	なし	2	パット等	20	オムツ	13
移動	自立	7	一部介助	2	車椅子	26

※パット・オムツ併用者あり

i. 外出・外泊の状況

単位：人

来訪 回数	0～ 10回	11～ 20回	21～ 30回	31～ 40回	41～ 50回	51～ 60回	61回 以上
	20	9	0	2	2	1	1

外泊	年末年始	0	その他	0	合計	0
外出	年末年始	0	その他	30	合計	30

j. 月例行事催行状況

種 別	実 施 頻 度	行 事 内 容
誕生会	誕生月（ユニット毎）	当月の誕生者（SS 含む）を祝福
レクリエーション	適宜	体操・散歩 など
理髪室	月 1 回（第 2 月曜）	利用希望者（散髪）
外出	家族対応のみ	ご家族付添で外出

k. クラブ活動（月例）

種 別	実 施 頻 度	実 施 場 所
なし		

l. 会 議（定例/含：職員向け）

種 別	開 催 頻 度	検 討 内 容
ユニット課会議	月 1 回（第 2 木曜日）	ユニット課全体の業務方針、改善の検討
ユニットリーダー会議	月 1 回（第 2 木曜日）	介護・看護・栄養・SS 各部署間の連絡
各ユニット会議	各ユニット月 1 回	各ユニット入居者の状態把握・業務改善
給食会議	月 1 回（第 2 木曜日）	食ごとにまつわる事項の検討
事故対策委員会	月 1 回（第 2 木曜日）	発生した事故の分析や事故防止の検討
拘束検討委員会	月 1 回（第 2 木曜日）	拘束状況代替策や改善の検討
ケース会議	年 2 回/一人 基本 状況変化時は随時 ※郵送にて確認	利用者の現況分析・ケア目標や計画検討
感染症対策委員会	1 回/3ヶ月 （第 2 金曜日）	流行性感染症/一般感染症についての対策・予防等の検討
褥瘡対策委員会	1 回/6ヶ月 （第 2 金曜日）	褥瘡への対策・予防の検討
食中毒対策委員会	1 回/3ヶ月 （第 2 金曜日）	食中毒への対策・予防の検討

m. 苦 情

2024年度----- 0 件

n. 運営推進会議

地域密着型サービスとして、利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、地域の包括支援センター等に対して、提供しているサービス内容等を明らかにすることを目的として、地域に開かれたサービスにしていすることでサービスの質の確保を図るため設置。

2024 年度：6 回開催（5 月・7 月・9 月・11 月・1 月・3 回）

※新型コロナウイルス感染症予防の為、外部委員を招いての会議は見送り、内部委員で作成した運営状況報告（議事録）を紙面にて郵送報告するのみに留めた。

o. 年間行事/その他予定（入居者の生活に直接関わるもの）

開催日	行 事	内 容
5/16	健康診断	利用者の定期健康診断

4. 医務室

a. 疾患状況

単位：人（延べ）

疾患名	人数	疾患名	人数
心疾患	13（13）	歯科疾患	30（33）
消化器疾患	14（12）	ガン疾患	2（4）
脳神経疾患	6（5）	糖尿病	4（7）
精神科疾患	7（10）	高血圧症	21（21）
整形外科疾患	28（28）	慢性間接リュウマチ	1（1）
腎機能疾患	4（3）	ホルモン疾患	1（1）
肝機能疾患	8（4）	老人性認知症	24（20）
脳血管障害	11（10）	泌尿器科疾患	14（10）
呼吸器疾患	5（5）	皮膚科疾患	15（13）

※（ ）内は前年度数値

b. 看護処置

単位：人（延べ）

処置内容	人数
創処置	18（26）
軟膏塗布	20（16）
点眼	10（7）
坐薬挿入	19（22）
湿布	12（8）
フランドルテープ	0（0）
吸入	0（0）
フットバス	0（0）

※（ ）内は前年度数値

c. 服薬管理

単位：人（延べ）

時間帯	人数
朝食時	33（32）
昼食時	22（18）
夜食時	29（24）
就寝前	14（11）
便秘時	35（22）

※（ ）内は前年度数値

d. 認知症行動障害

単位：人（延べ）

状態	人数	状態	人数
自傷行為	0（0）	人物誤認	0（0）
夜間せん妄	0（3）	作話	0（0）
興奮・奇声	1（1）	摂食異常	0（0）
徘徊	1（0）	盗癖・収集癖	0（0）
攻撃的行為	1（1）	被害妄想	1（1）
不潔行為	0（0）	躁鬱状態	0（1）

※（ ）内は前年度数値

e. インフルエンザ予防接種

単位：人

入居者数	接種数
35	25

f. 医療管理者

単位：人（退居者含）

処置内容	人数
胃瘻（造設者含む）	0（1）
経鼻栄養	0（0）
留置カテーテル	4（3）
膀胱瘻	0（0）
喀痰吸引	1（2）
褥瘡	4（3）

※（ ）内は前年度数値

g. 定期診察

提携医	精神科医	歯科往診
第1・3木曜日	第1・3日曜日	毎週木曜日

S Stay hort-term

ショーステイピン

2024年度の新規依頼件数は前年度と変わらない件数ではあるが、女性の新規依頼が多く、男性の新規依頼は女性の新規依頼に比べると半分以下となっている。

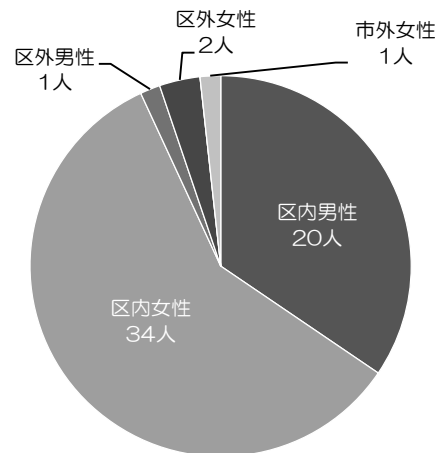
4月～7月頃までは稼働率が50～60%台であったが、8月過ぎからは60～70%台へと上昇している。

但し、前年度と同様に12月中旬～1月上旬にかけて新型コロナウイルス感染拡大のため、長期利用者のみ利用となり稼働率が低下している。

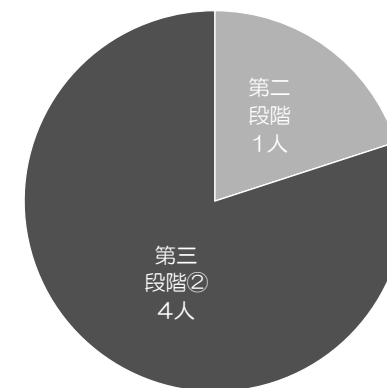
1月末より長期利用希望者が増え2月・3月と80%台に上昇している。

1. 利用者プロフィール（年度内実績者の内訳）※2025.03.31 現在

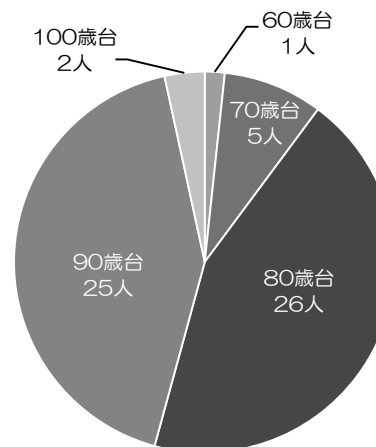
地域別割合



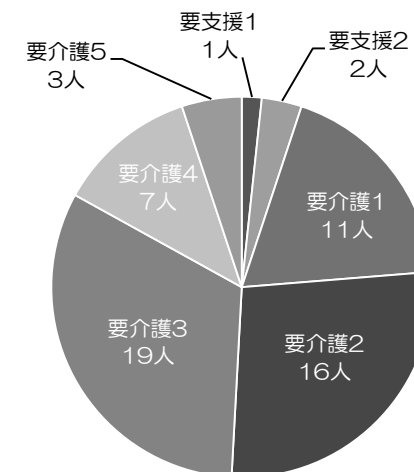
介護保険負担限度額認定



年齢別構成



要介護度別構成



年齢構成：【最高齢：106歳（男性） / 最年少：67歳（女性）】

施設部関連 / 特養本入居移行（4人）

在宅部関連 / ピノディ併用（2人）・居宅モモ担当（延：7人）・居宅ナナ担当（延：6人）

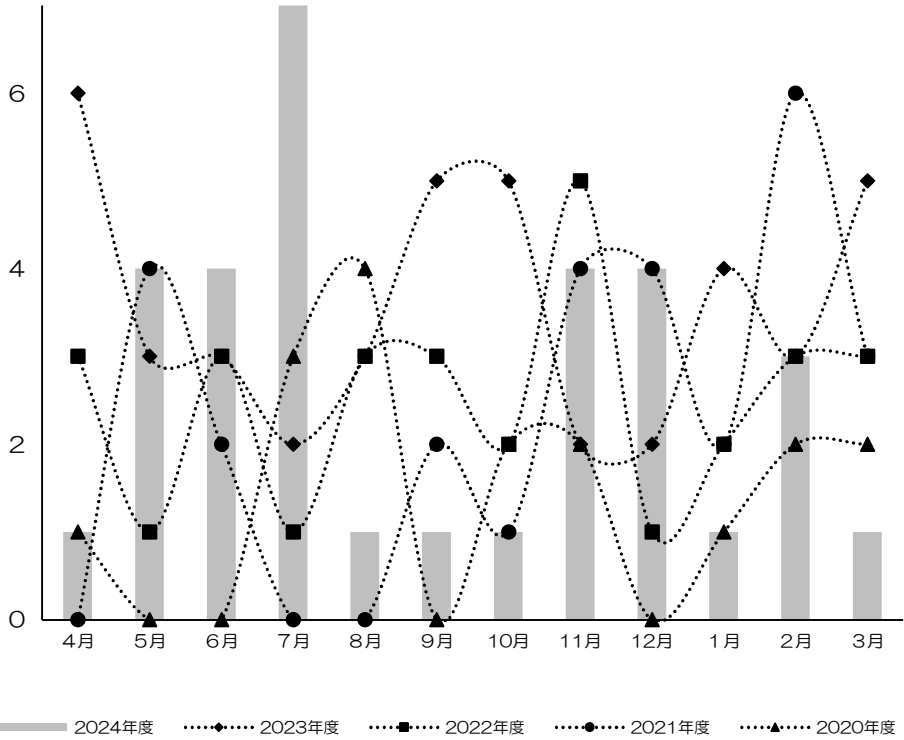
2. 年間の利用状況

a. 契約数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	1	2	2	2	0	1	0	3	1	0	2	0	14
女	0	2	2	5	1	0	1	1	3	1	1	1	18
合計	1	4	4	7	1	1	1	4	4	1	3	1	32
前年	6	3	3	2	3	5	5	2	2	4	3	5	43

単位：件



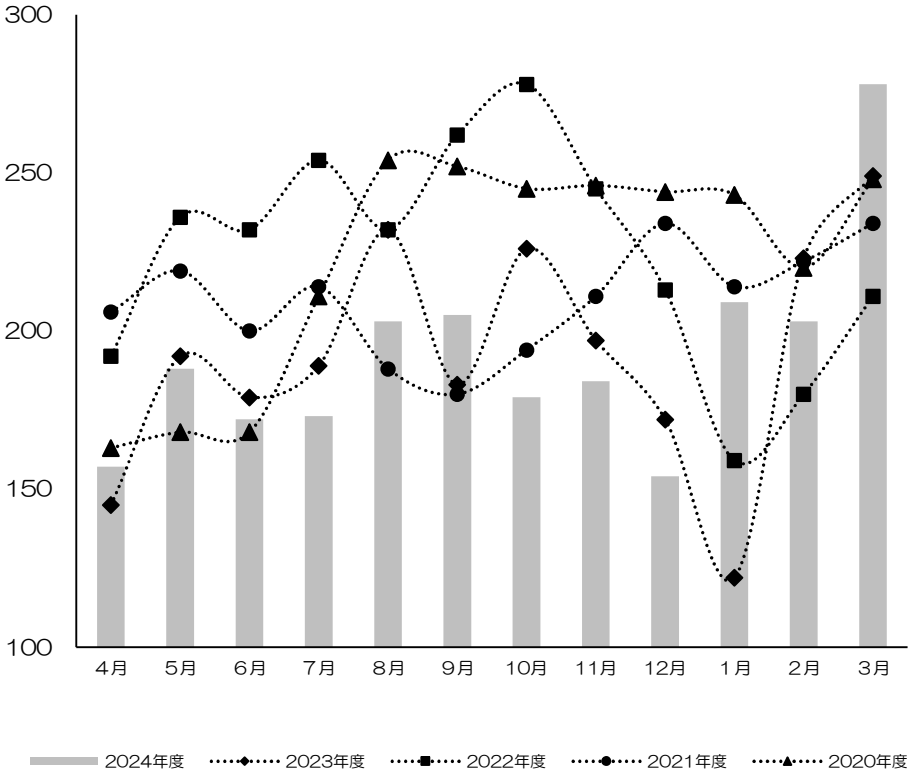
b. 稼動状況

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2024年度	157	188	172	173	203	205	179
2023年度	145	192	179	189	232	183	226
2022年度	192	236	232	254	232	262	278

年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
2024年度	184	154	209	203	278	2305	99.8%
2023年度	197	172	122	223	249	2309	85.7%
2022年度	245	213	159	180	211	2694	107.1%

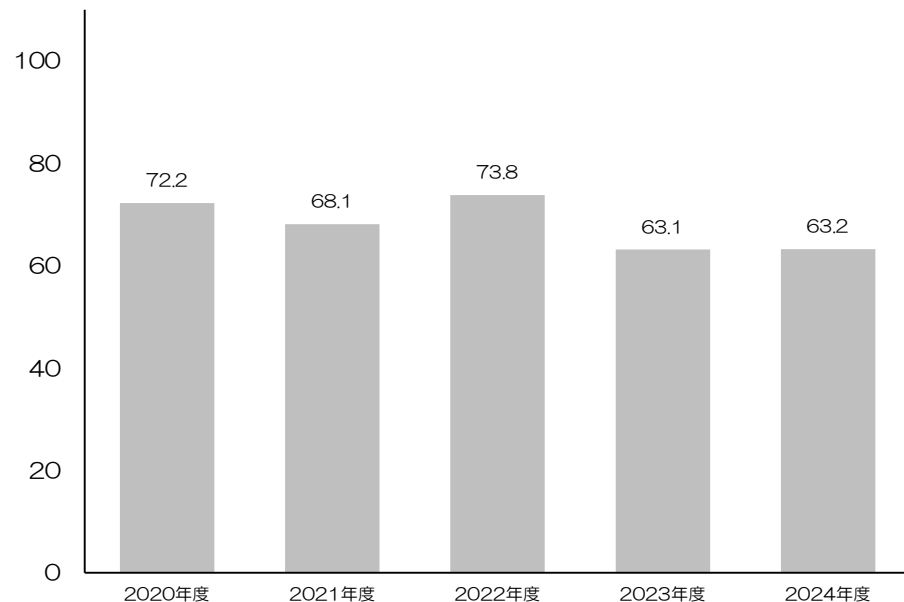
単位：人



c. 稼働率比較

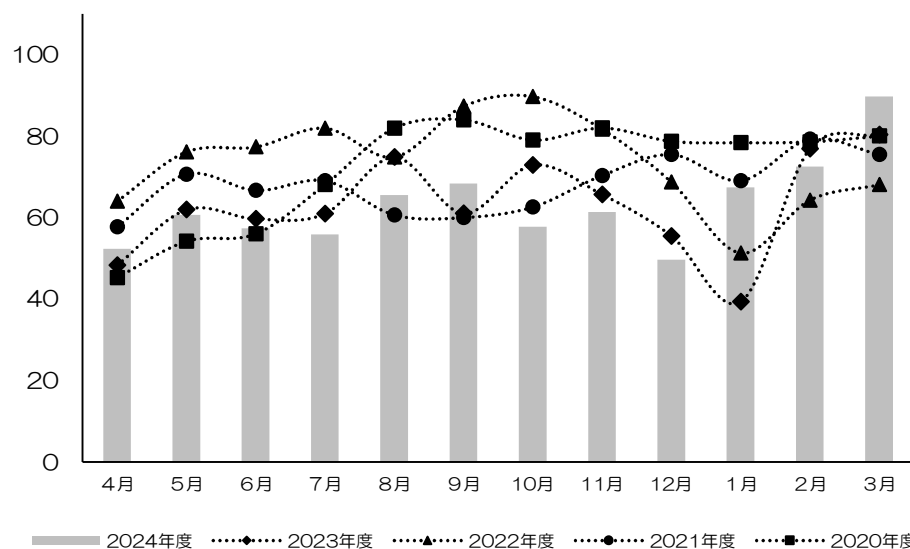
(年間平均稼働率)

単位：％



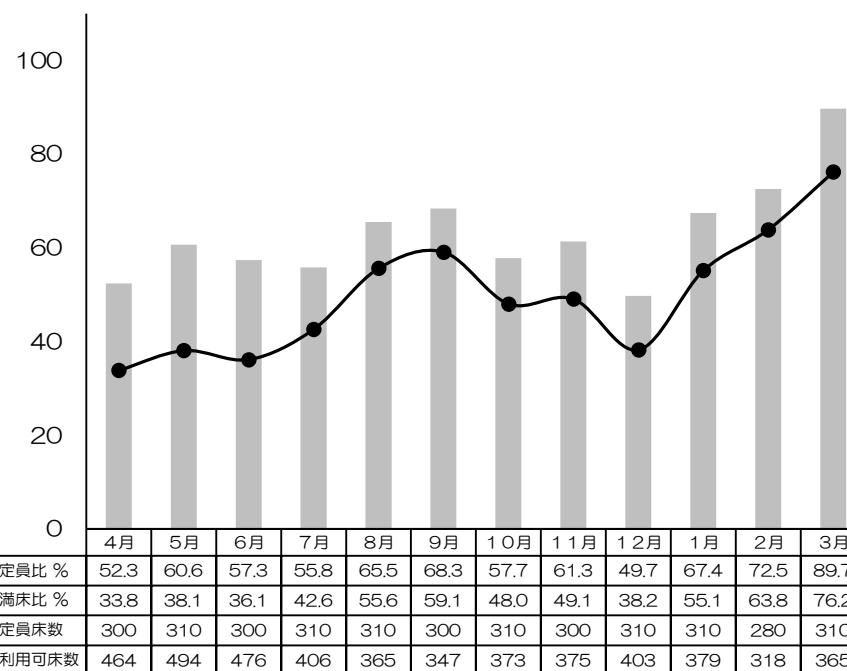
(月間稼働率)

単位：％



(定員比 / 満床比の比較)

単位：％

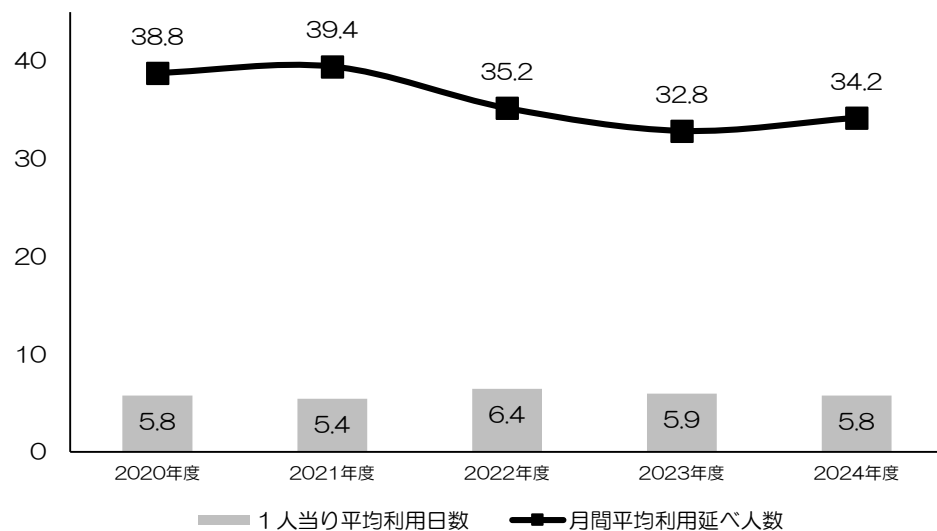


※満床比 = 特養入居者用の空床ベッドも含めた「利用可能床数」に対する比率

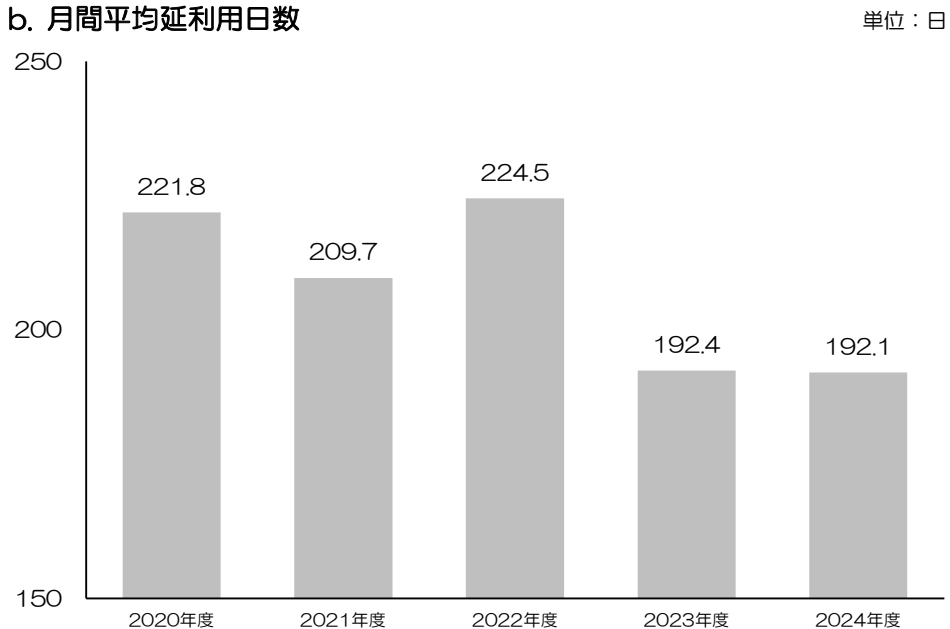
※特養入居者用の空床ベッド及び入院ベッドの活用を要する程の稼働率に至らなかった。

3. 利用者の傾向

a. 一人当たりの平均利用日数&月間平均延べ利用人数



b. 月間平均延利用日数

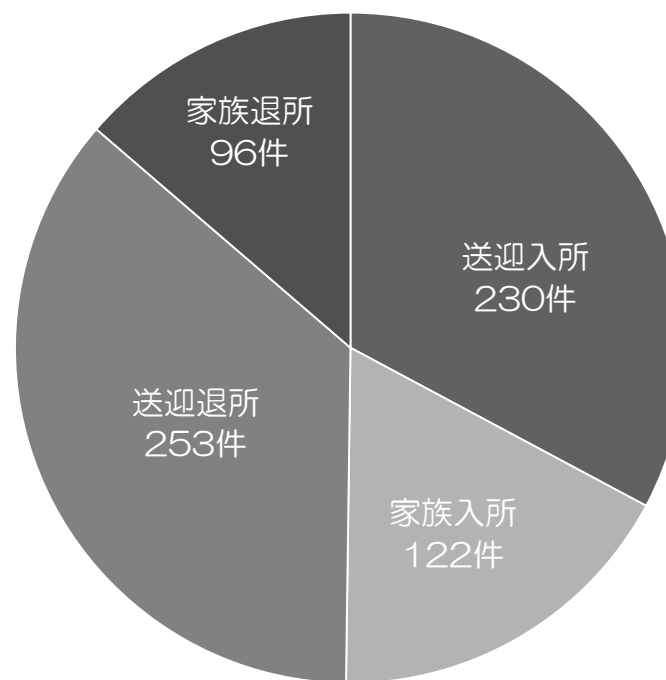


c. 月毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入所	30	36	28	31	32	36	34
退所	30	34	30	27	33	36	37
合計	60	70	58	58	65	72	71
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内：家族
入所	30	20	26	23	26	352	122
退所	30	21	22	24	25	349	96
合計	60	41	48	47	51	701	218

(入・退居件数の内訳)



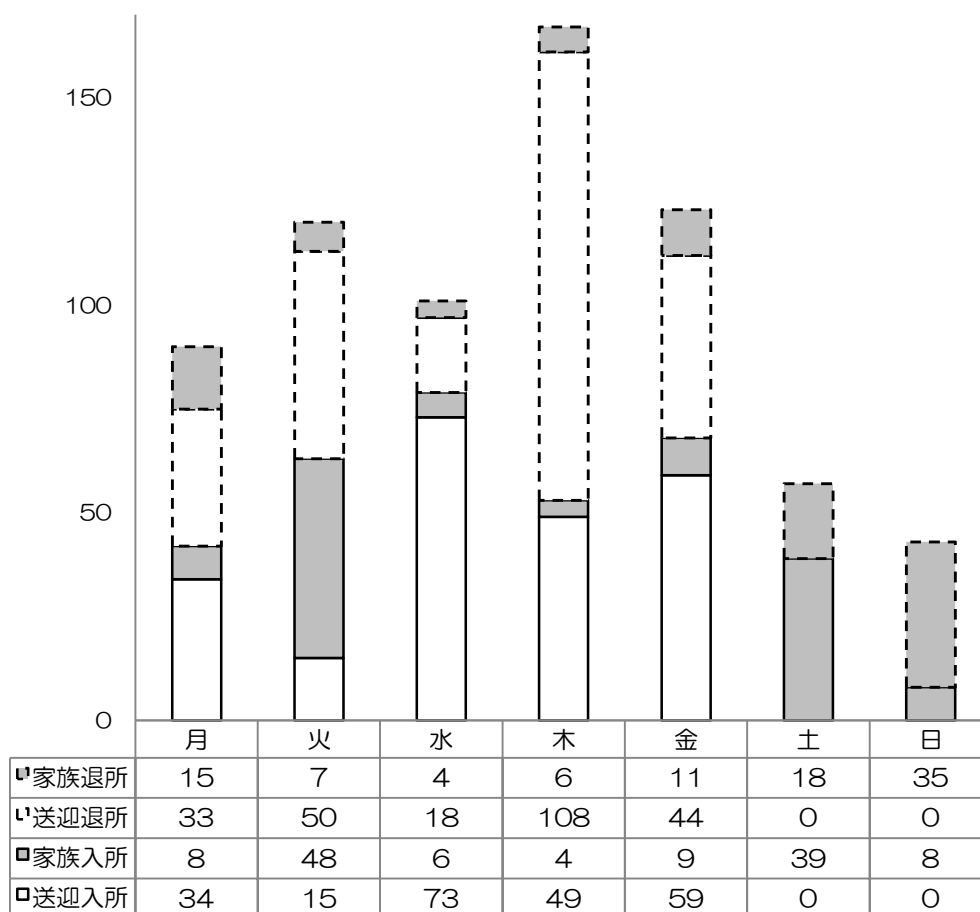
d. 曜日毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	月	火	水	木	金	土	日
入居	42	63	79	53	68	39	8
退居	48	57	22	114	55	18	35
合計	90	120	101	167	123	57	43

(入・退所件数の内訳)

単位：件



e. 曜日毎の利用状況

単位：人

	月	火	水	木	金	土	日
4月	25	25	21	26	23	18	19
5月	22	24	30	35	29	24	24
6月	21	24	25	29	22	27	24
7月	27	25	29	24	21	24	23
8月	24	27	27	35	34	31	25
9月	31	25	29	33	28	27	32
10月	19	29	30	35	27	21	18
11月	22	26	29	32	28	26	21
12月	23	24	22	23	19	20	23
1月	28	28	33	33	33	27	27
2月	29	29	31	31	28	27	28
3月	45	37	39	39	37	41	40
合計(人)	316	323	345	375	329	313	304
%	13.7	14.0	15.0	16.3	14.3	13.6	13.2
平均(人)	26.3	26.9	28.8	31.3	27.4	26.1	25.3

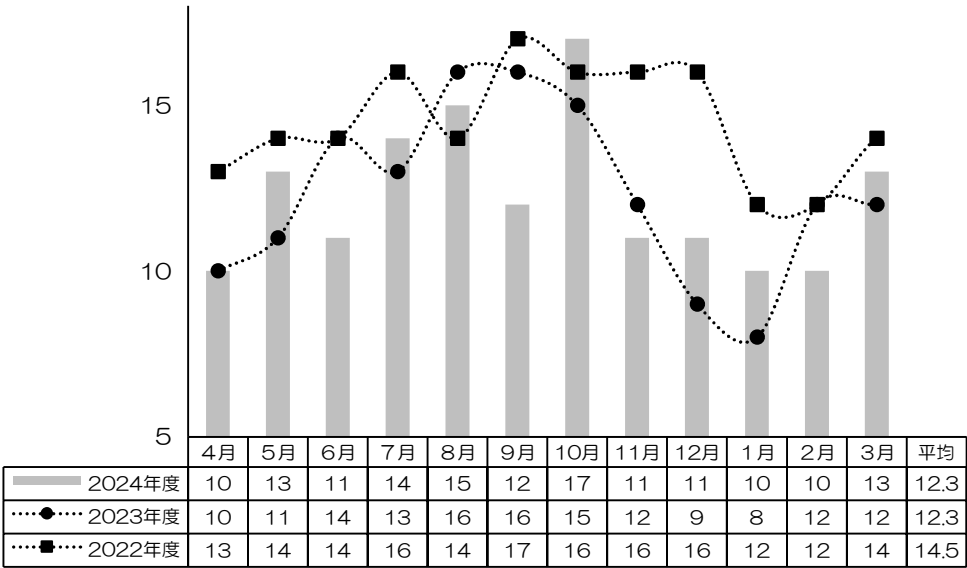
※ 割合(%) = 年度延べ利用人数「2305人」に対する比率

曜日毎での利用状況はあまり差が無くなってきているが、土曜日施設送迎の現状もあり金曜日に入所し月曜日に退所を希望されるご利用者は前年度同様に多い。

4. 他事業所との関わり

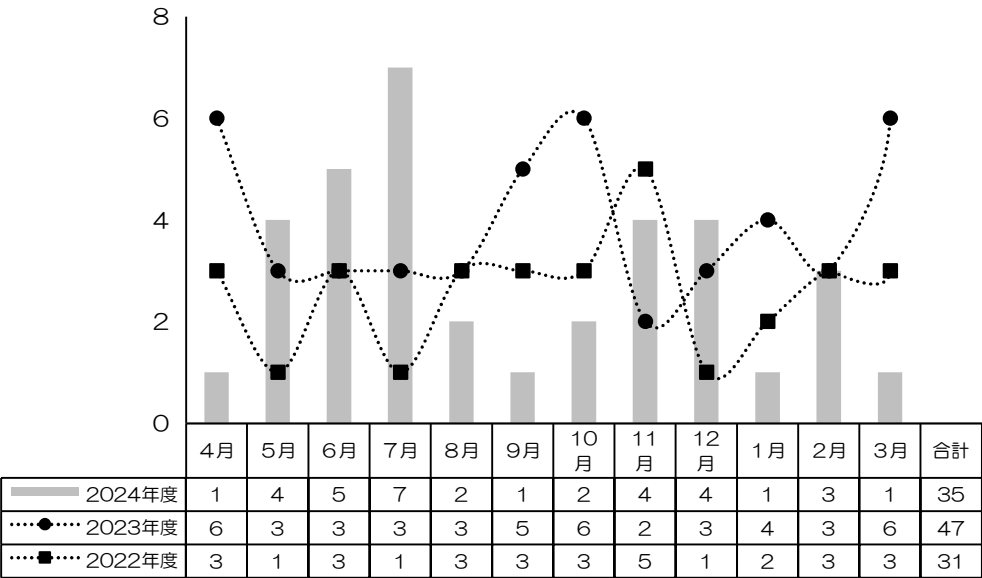
a. 利用事業所件数（居宅モモ・ナナ除く）

単位：件



b. サービス担当者会議出席件数（居宅モモ・ナナ含む）

単位：件



5. 苦情

2024年度・・・0件

6. 事故

年度を通して事故は13件。

救急搬送に繋がる事故はなし。

件数は前年度より大幅に減少したが、自力移動時での転倒の件数は前年度と同様に最多数となっている。

職員の不注意による事故も数件あり、派遣職員が多く数か月で職員が入れ替わってしまうため特に注意が必要なご利用者に関しては周知の徹底が必要。

7. 情報整理

過去1年以上利用がない方々の契約書及びその他資料を区分け保管。

※再利用時には介護保険制度改定等により「再契約」「再面接」とした。

Care House

ケアハウスモモ

2024年度は3名の退所（法人内特別養護老人ホーム入所：2名・死亡退所：1名）があったが、翌月には新規入居者が決まり、年間を通して満床（16床）を維持することができた。

法人内での協力体制により、ケアハウスでの自立生活が困難となった入居者が、スムーズに新たな施設へ移行することができた。

12月中旬から下旬にかけて新型コロナウイルス感染症を発症した方が2名いたが、居室隔離対応で他入居者には蔓延せずに終息した。

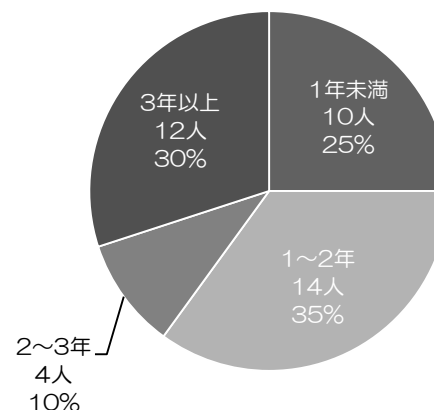
日々、声掛けや様子確認を行ない、体調の変化が見られた際には早急に受診等につなげ、感染症予防に努めていきたい。

事故は12件あり、転倒が9件と多く、要因は体力低下や持病によるふらつき、不注意によるものがあった。

救急搬送4件・入院2名で、入院者のうち1名は治療のため2025年3月末現在も入院中であるが、1名は治療後にケアハウスでの生活に戻る事ができた。

2025年度も介護サービスの活用や事故予防のための体づくり等の情報を提供し、自立生活を継続していけるような環境を一緒に作っていききたい。

1. 入居待機状況



待機者数：40名
男性：15名
女性：25名

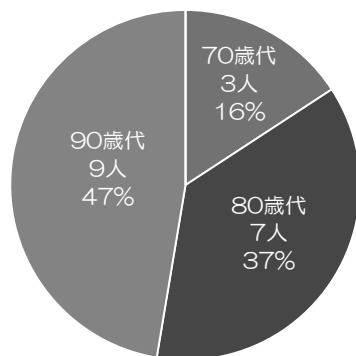
地域別待機者数
市内：25名
県内：8名
県外：7名

問合わせや見学希望者も毎月数件はあり、入居申込に繋がっている。待機者の内、個室希望者は34名（12名）・二人部屋希望者が6名（0名）となり、平均待機年数は3年5ヶ月という状況である。
※（ ）内は全件数のうち2024年度内の申込み

2. 入居者の状況

a. 年齢構成

(年度内退去者含む延べ19名)



平均年齢：87.8 歳
男：85.2 歳
女：89.0 歳
最高年齢：94 歳
最小年齢：71 歳

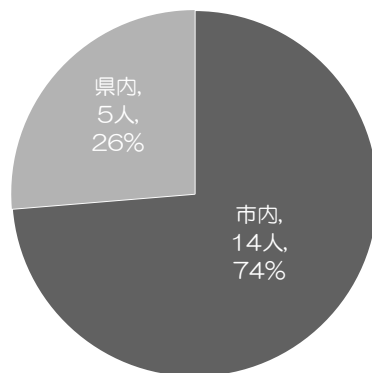
平均在籍年数は5年1ヶ月で、最長は23年9ヶ月である。

b. 入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3
退居	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	3

c. 入居前居住地

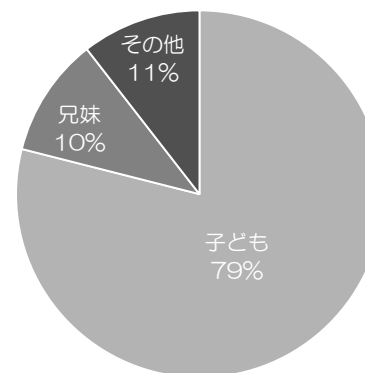
(年度内退去者含む延べ19名)



相模原市：14 名
県内：5 名
県外：0 名

d. 身元引受人

(年度内退去者含む延べ19名)



配偶者：0 名
子ども：15 名
兄弟姉妹：2 名
その他：2 名

e. 家族・知人の来訪回数

単位：人

	19回以下	20～49回	50～59回	60～69回	70～79回	80回以上
2024 年度	18	1	0	0	0	0
2023 年度	12	4	1	1	3	0
2022 年度	7	3	0	0	2	4

2024 年度 延来訪回数 629 回 平均来訪回数 33.1 回
2023 年度 延来訪回数 440 回 平均来訪回数 20.9 回
2022 年度 延来訪回数 504 回 平均来訪回数 31.5 回

f. 外泊・入院の状況

単位：実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外泊	3	3	1	2	1	4	2	1	3	5	2	2	29
入院	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5

3. 介護保険サービスの利用状況

(2025.03.31 在籍：16名)

a. 入居者の介護度

単位：人

	自立	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5
2024 年度	5	1	3	3	2	2	0	0
2023 年度	7	3	2	2	2	0	0	0
2022 年度	6	0	5	3	1	1	0	0

b. 介護保険サービス利用状況

単位：人

サービス	利用人数	サービス	利用人数
通所介護	6	訪問看護	1
通所リハ	4		3
訪問介護	7	短期入所	4

●介護サービスの利用について

デイサービスは以前より利用されている方も継続されており、新規利用者も同法人内の併設のデイサービス利用を契約された。

入浴が主な目的であり、参加を楽しみにされている方が多く、意欲的で殆ど休むことはない。

介護認定後に法人内の特別養護老人ホーム入所予定者が1名おり、法人内併設のショートステイを利用しながら待機中である。

退所者の中にも法人内のショートステイから法人内の特別養護老人ホームに入所された方が2名いる。

医療的なサービスでは、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・訪問薬局等の利用も継続されている。

新しく介護サービスを利用開始される方が増え、手続き等の対応に家族も迅速に協力頂けた。

4. 行事催行状況

a. 定例行事

行事名	実施回数	参加者数	内 容
ラジオ体操	毎 日	希望者	DVDを見ながら10分間の体操
誕 生 会	月1回	全 員	誕生祝
例 会	月1回	全 員	例会時に「館の夢」作成・配布
かわり湯	年数回	全 員	季節感を演出する
定期健康診断	年 1 回	希望者	入居者の健康診断

b. 計画行事

月	内 容
4月	お花見ドライブ・買い物レク（市役所近辺・パン屋寄り道）おやつレク（ドーナツ） 作 業：居室ワックス掛け・窓ガラス清掃・フィルター清掃・衛生害虫防除
5月	五月人形飾り・健康診断・誕生日会・しょうぶ湯・健康診断・おやつレク（羊羹） 作 業：消防設備点検 その他：待機者調査
6月	避難訓練・誕生日会・七夕飾りつけ 作 業：ナースコール取り付け
7月	ナナ祭り・誕生日会・おやつレク（かき氷） 作 業：窓ガラス清掃・フィルター清掃・害虫防除
8月	おやつレク（ほっぺちゃん） 作 業：バルコニー清掃
9月	お神輿見学・おやつレク（練り切り）・敬老会（風月堂お菓子プレゼント）
10月	誕生日会・おやつレク（もみじ饅頭・ふんわりプチケーキ） 作 業：窓ガラス清掃・フィルター清掃・害虫防除
11月	おやつレク（プリン） 作 業：消防設備点検
12月	クリスマス飾りつけ・クリスマス会（おでん鍋パーティー）・誕生日会・柚子湯・消防避難訓練
1月	正月飾り・誕生日会・おやつレク（懐中しるこ） 作 業：窓ガラス清掃・フィルター清掃
2月	誕生日会・ひな人形飾り付け・おやつレク（鬼の練り切り） 作 業：カーテン取り換え
3月	誕生日会・おやつレク（ひな人形練り切り）

5. 苦 情

2024年度・・・0件



フレイグラントオリーブナナ

2024年度は一時的に在室が30名まで増えた月もあったが、入居9名・退居9名で、最終的には29名の入居者数となり満室（32室）には至らなかった。

退去理由としては、

ADL低下による有料老人ホーム入所	： 5名
入院から法人内特養養護老人ホーム入所	： 1名
ホスピスへ移動	： 1名
死 去	： 1名

となる。

1. 入居待機状況

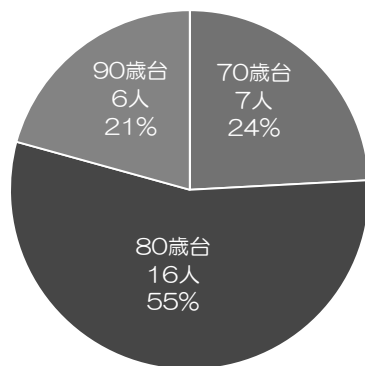
「サービス付き高齢者向け住宅」の全般的な傾向として、待機者は出ないと言われているが、それ以前に満室になっていない。

よって、2024年度末時点での待機者は「ゼロ」のままである。

2. 入居者の状況

(2025.03.31 在籍：29 名)

a. 年齢構成

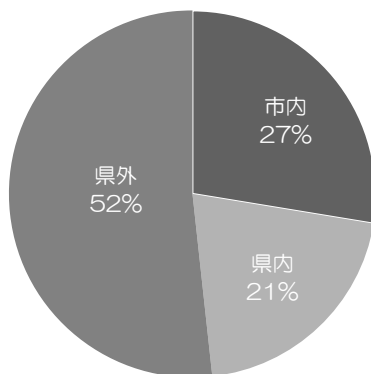


平均年齢：84.5 歳
 男：84.2 歳
 女：84.7 歳
 最高年齢： 97 歳
 最小年齢： 74 歳

b. 入退居状況

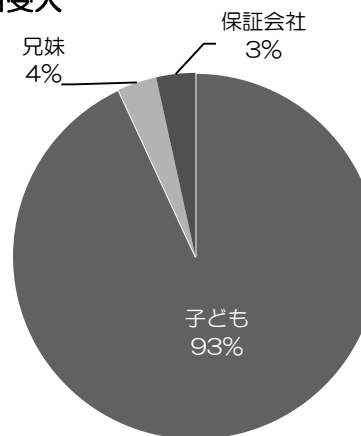
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	0	0	0	1	1	3	1	0	1	0	0	2	9
退居	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	2	1	8

c. 入居前居住地



相模原市： 8 名
 県 内： 6 名
 県 外： 15 名

d. 身元引受人



子 ど も：27 名
 兄弟姉妹： 1 名
 甥姪： 0 名
 保証会社： 1 名

e. 家族・知人の来訪回数

単位：人

	19回以下	20～49回	50～59回	60～69回	70～79回	100回以上
2024 年度						
2023 年度						
2022 年度						

*実数としての管理は行なっておらず、把握は今後の課題である。

f. 外泊・入院の状況

単位：実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外泊													
入院	1	0	1	2	3	3	3	3	1	2	1	1	21

*外泊は実数としての管理は行なっておらず、把握は今後の課題である。

3. 介護保険サービスの利用状況

a. 入居者の介護度

単位：人

	自立	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5
2024 年度	12	5	4	3	3	0	2	0
2023 年度	10	5	7	2	2	2	0	0
2022 年度	6	7	9	3	2	1	0	0

b. 介護保険サービス利用状況

単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
通所介護	15	15	14	13	13	14	14	14	13	11	10	11	157
訪問介護	6	5	5	5	4	4	4	5	5	4	3	3	53
短期入所	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
福祉用具	14	14	14	13	13	12	11	11	10	11	9	10	142
その他	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	9

●介護サービスの利用について

自立～要支援の方が多く訪問介護利用者は3名。

デイサービス利用者は11名に留まっている。

4. 行事催行状況

a. 定例行事

行事名	実施回数	参加者数	内 容
カラオケ喫茶	週一回	希望者	3 時間開催・外部参加有り
ヤクルト販売	隔週一回	希望者	ヤクルトによる訪問即売会
百歳体操	週一回	希望者	45 分程度の着席で行う体操

b. 計画行事

月	日	行 事	人数	内 容
4 月	14 (日)	茶話会／運営懇談会	15	予定や近況報告と意見収集
5 月	1 (水)	菖蒲足湯	2	ピノの庭で足湯、園児と交流
	10 (金)	総合避難訓練	30	施設職員・入居者と、保育園ナナ職員での訓練
6 月	2 (日)	マジックショー	15	鎌倉学園マジック同好会によるマジックショー
7 月	7 (日)	七夕・ナナの日	25	物販 (パン)、演奏会、健康セミナー、骨強度測定を地域住民参加型で1日を通して開催
8 月	18 (日)	茶話会／運営懇談会	00	コロナ罹患発生により延期
9 月	29 (日)	茶話会／運営懇談会	20	予定や近況報告と意見収集、決算報告
10 月	11 (金)	避難経路ツアー	11	入居者が自室からの避難経路を確認する
	24 (木)	保育園の芋ほり	4	子どもたちの芋ほり見学
11 月	7 (木)	総合避難訓練	20	施設職員と、保育園ナナ職員での訓練
	17 (日)	音楽イベント	23	バンド演奏会
12 月	20 (金)	ゆず足湯	4	ピノの庭で足湯、園児と交流
	21 (土)	クリスマス会	19	茶話会&フルーツ演奏会
1 月	26 (日)	音楽イベント	16	二胡演奏会
2 月	—	—	—	—
3 月	2 (日)	茶話会／運営懇談会	18	予定や近況報告と意見収集
	9 (日)	セミナー&見学会	6	認知症サポーター講習会と希望者に見学会

参加人数が増えコミュニティホームピノのデイルームで開催する機会が増えている。

5. 苦 情

2024年度・・・0件

D Service ay

デイサービスセンターモモ

2024年度も人員不足が継続的な状況の為、4月より土曜日営業を終了し営業日を週5日間（月曜日から金曜日・含：祝日）へ、1日あたりの利用定員を30人から20人へと変更した。

月間平均最低値は2025年3月の10.6人（稼働率 50.0%）、最高値は2024年4月の16.3人（稼働率 81.5%）であった。

4月に登録者数48人でスタートし、年度内の打ち切り者は28人。

2025年3月の登録者数は35人という結果であった。

1日平均参加人数については年度通目標である18人（稼働率 90.0%）を超えることが出来ず、13.1人（稼働率 65.3%）となった。

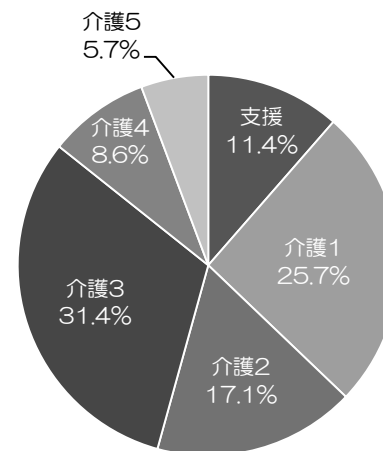
それに伴い、1日あたりの登録人数を20～25人程度で維持する為、引き続き新規利用者の獲得や既存利用者の増回により、1日平均参加人数18人（稼働率 90.0%）以上の達成ができるように努めていく。

職員の些細なヒューマンエラーが目につくようになってきていることも課題であり、大きな事故に発展する前に職員一丸となって気を引き締め、効率的な運営に繋げていく。

1. 利用者の現況

ADLの低下や認知症のBPSD症状が強く現れている利用者が増加しており、それに適した対応や環境整備を行なっていく必要がある。

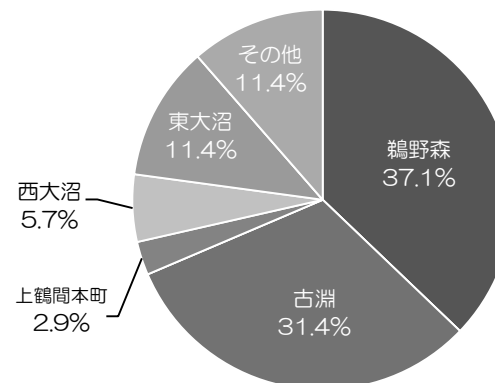
a. 介護度



要支援： 4人
介護1： 9人
介護2： 6人
介護3： 11人
介護4： 3人
介護5： 2人

契約数：35人
2025.03 末の登録者

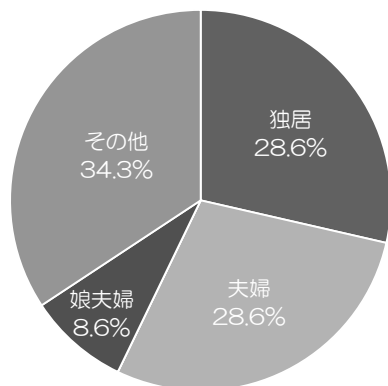
b. 地域別利用者



鵜野森：13人
若松：0人
古淵：11人
文京：0人
上鶴間本町：1人
西大沼：2人
東大沼：4人
その他：4人

事業所周辺地域に居住する利用者が多く、無理のない送迎が行なえている。送迎範囲外や車椅子の利用者が増えているが、2便送迎や他部署車両（軽自動車福祉車両）借用での個別送迎などにて対応している。

c. 利用者世帯状況



独 居：10人
夫 婦：10人
息子夫婦：0人
娘 夫 婦：3人
そ の 他：12人

家族と同居している方も多いが、2023年度と変わらず独居の割合も多い為、緊急時の対応には未だ問題がある。

d. ADL

単位：人

年度	トイレ		移 動			
	自立	介助	自立歩行	杖歩行	車椅子	介助
2024 年度	21	14	11	4	12	8
2023 年度	33	20	10	30	11	2
2022 年度	27	42	16	21	17	15
2021 年度	34	25	16	7	18	18
2020 年度	36	22	13	13	14	18

2023年度と比較しトイレの介助は減少傾向にあるが、これは定員縮小に比例した結果と推察される。

一方で、定員縮小と反比例し、移動方法では車イスの使用が増えつつある。バギー・歩行器の使用者は横ばいである。

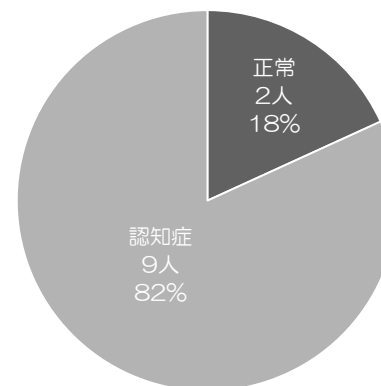
e. 認知症

単位：人

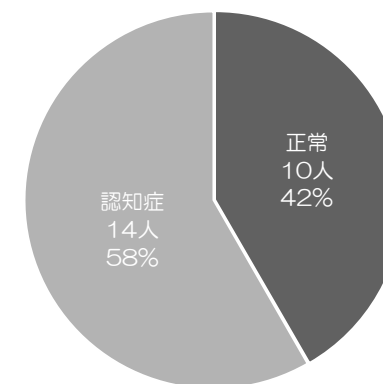
年度	認知症	正常範囲	合計
2024 年度	23	12	35
2023 年度	30	23	53
2022 年度	33	36	69
2021 年度	26	33	59
2020 年度	25	33	58

認知症者は予備軍も含め増加してきているため、個性や尊厳など大切にしながら安全に過ごしていけるような環境作りも課題である。

認知症（男性）



認知症（女性）



f. 疾患状況

毎年上位である高血圧症に次いで、脳血管疾患も増加傾向にある。

高齢化による認知機能の低下・老々介護による在宅での薬の飲み忘れ等、自己管理不足や家族による内服コントロール不良も多く、フォローアップが課題となっている。

疾患の早期発見に努め、利用者家族やケアマネジャー等へ迅速に情報伝達を行なうことによって、診断や治療へ結びつけることが必要である。

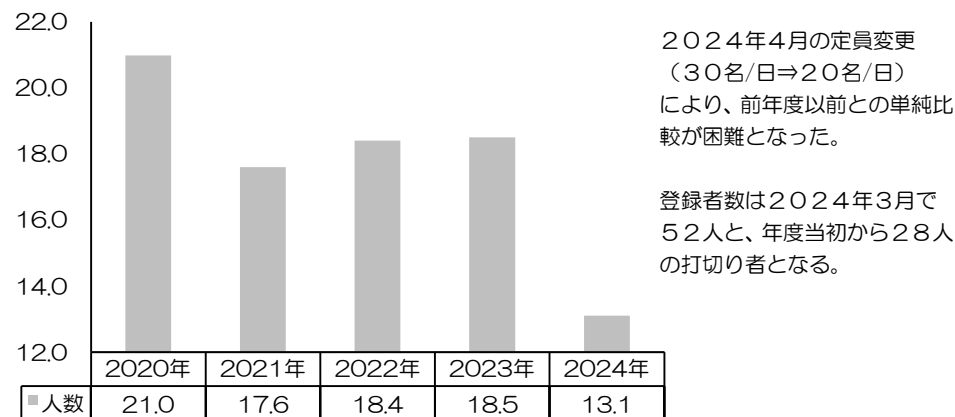
しかし「自力での受診不可」や「受診に連れていくことが困難」なケースも見られているため、在宅生活困難者に対しての働き掛けが必要とされる。

今後の課題として、既存利用者のADL低下に伴い新たに疾患が増えた場合、ケアマネジャーや家族との連携不足で情報を把握できていない事態が起こる可能性が挙げられる。

契約時の情報だけでなく、利用者に関わる新しい情報（新たな疾患・服用中の薬の変更等）を収集し、お便り等で呼び掛け、疾患や薬に関わる情報をその利用者をサポートする全ての関係者で共有していく。

2. サービス利用状況

a. 1日平均利用者数



単位：人

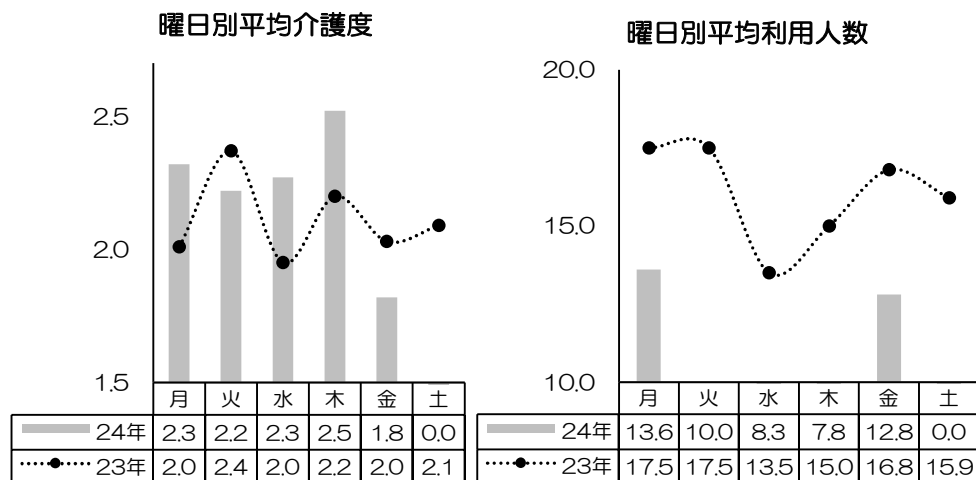
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
登録者数	690	671	745	682	487
実利用者数	6003	5432	5656	5702	3348
入浴利用者数	4336	4023	3941	4100	2313
サービス実施日数	308	309	308	308	256
1日平均利用者数	16.4	17.6	18.4	18.5	13.1

b. 月間サービス利用実績

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数	48	45	43	41	42	43
実利用数	359	346	298	307	293	296
実施日数	25	27	26	26	27	26
1日平均	16.3	15.0	14.9	13.3	13.3	14.1
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
43	40	39	34	34	35	487
291	244	238	230	223	223	3348
26	26	24	24	25	26	308
12.7	11.6	11.9	11.5	11.2	10.6	13.1

c. 週間サービス利用実績



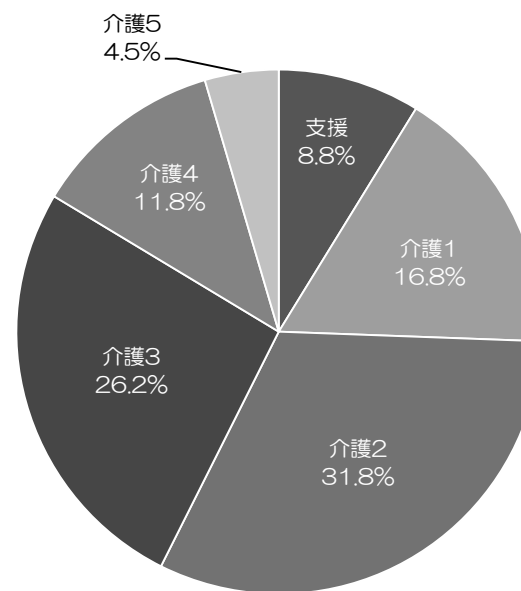
	月	火	水	木	金	土	全体
平均人数	13.6	10.0	8.3	7.8	12.8	0	8.8
登録者数	16	17	9	10	19	0	71
平均介護度	2.32	2.22	2.27	2.52	1.82	0	2.21

d. 介護度別サービス利用実績

単位：人

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
支援	354	302	571	480	294
介護1	1773	1613	1567	1456	562
介護2	2035	1679	1514	1635	1066
介護3	713	746	753	1259	878
介護4	927	861	784	622	396
介護5	201	231	467	250	152

2024年度利用割合



3. 送迎状況

単位：人

通所形態	月	火	水	木	金	土	合 計
送迎車両	10	8	5	8	8	0	39
家族送迎	1	0	0	0	0	0	1
同一敷地	1	0	2	0	1	0	4
合 計	12	8	7	8	9	0	44

利用者には負担がなく家族にはその要望（到着時間など）に可能な限り対応できる送迎の実施に努めた。

事業所保有車両2台での送迎を基本としつつ、臨時参加や欠席による利用者の増減に応じて2便対応や1台対応を実施。

状況次第ではコミュニティセンターピノ車両やモモ他部署車両を借りるなどの協力を得ながら送迎を行なっている。

安全面では速度はもちろん運転手と職員で危険地点の情報を共有し、意見交換を行ないながらより良いルートを常に模索している。

今後も職員で協力し合い、利用者に快適で安全な送迎を提供していく。

4. 行事・プログラム

月	内容
4月	レクリエーション（キックボウリング）・外気浴（花見）／塗り絵など・カレンダー作業（鯉のぼり）・春の書道・レクリエーション（スリッパ飛ばしゲーム）・誕生日会
5月	作業（傘の吊り飾り作り）／塗り絵・レクリエーション（玉当てゲーム）・作業プログラム／個人（紫陽花の壁飾り）・レクリエーション（かえるびよんびよんゲーム）・誕生日会
6月	七夕飾り製作（壁面製作・吊るし飾り製作）・レクリエーション（缶落としゲーム）・カレンダー作業（夏野菜）・誕生日会
7月	七夕レクリエーション（テーブルボウリング）・夏の書道・レクリエーション（魚釣り・スリッパ飛ばしゲーム）・塗り絵・レクリエーション（バターゴルフ・輪投げ・カップ倒し・テーブルゴルフゲーム）・誕生日会
8月	夏祭りレクリエーション・カレンダー作業（ハロウィンと猫）・作業プログラム／秋（ぶどうと柿の壁面飾り）・レクリエーション（宝箱釣りゲーム）・誕生日会
9月	秋の書道・レクリエーション（缶落としゲーム）・敬老の日週間／ビンゴ大会・レクリエーション（ギリギリまでねえ！ゲーム）・誕生日会
10月	運動会・カレンダー作業（サンタ&ポインセチア）・秋のレクリエーション（キックボウリングゲーム） 作業プログラム秋（紅葉の壁飾り）・レクリエーション（玉入れゲーム）・誕生日会
11月	塗り絵・レクリエーション（紙ひこうきで棒倒しゲーム）・作業プログラム／個人（ペーパーフラワー作り）・レクリエーション（お手玉積み・キャップを通せゲーム）・散歩・誕生日会
12月	カレンダー作業（節分）・お楽しみ週間／お食事会（ビンゴ大会）・お正月飾り製作（ミニ羽子板作り）・レクリエーション（クリスマス玉投げゲーム）・誕生日会
1月	初詣レクリエーション／絵馬作り・書き初め・レクリエーション（缶落とし・スリッパ飛ばしゲーム）・塗り絵・誕生日会
2月	節分レクリエーション（鬼退治ゲーム）・カレンダー作業（お花見団子）・レクリエーション（玉入れ・玉転がしゲーム）・作業プログラム／春（花紙でリース作り）・誕生日会
3月	ひな祭りレクリエーション・塗り絵・レクリエーション（テーブルボウリング・缶落とし・イチゴ積み・ボウリングゲーム）・作業プログラム／個人（チューリップの飾り作り）・誕生日会

2024年度は個々のADLに合わせたプログラムを色々で行ない、特に作業系のプログラムは2023年度よりも実践出来た。

運動系・脳活性化を促すレクリエーションもしっかりと提供していた。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から外出訓練は中止し、施設内でのプログラムを主に実施した。

今後も増加が予想される認知症利用者への対応を更に追求すると共に、個々のニーズに幅広く対応し、充実した時間を提供できるようにしていく。

同時に、デイサービスの特色である広いフロアを活かしつつ、活動的に過ごして頂きながらも迅速なケアと援助の提供に努めていく。

5. 事 故

2024年度の事故件数 5件

事故の内容は、

車両事故	0件
施設外徘徊	1件
自力移動時すり落ち	2件
自力移動時その他	1件
その為（ハイエースハンドルレール破損）	1件

となっている。

職員の意識を高め利用者の行動などを予測する事で防げた事故もあり、今後も利用者ひとり一人に真摯に向き合い、日々の状態を密に観察することでリスクを把握しながら、安心且つ安全な環境を提供していく必要がある。

事故内容やインシデントに対してはカンファレンス等で検証し、対応統一を図ることで年間を通して「事故0件」を目指す。

2025年度も職員一丸となり気を引き締め、スキル向上とあわせて同様の事故は再発防止に努めていく。



コミュニティセンターピノ

2024年4月の1日平均利用者数は7.2人で、稼働率は40.0%となっていた。

周辺事業所への営業の成果、居宅サービスセンターモモ・ケアステーションナとの連携により徐々に登録者数が増え、2024年7月の1日平均利用者数は9.4人で、稼働率は52.2%となった。

しかし、その数値をピークに打ち切り者が続出し、2025年3月には1日平均利用者数は7.7人で、稼働率は42.8%となった。

定員18人の事業所としては稼働率が低い状況ではあるが、「地域密着型通所介護」としての再開（事業転換）に意味はあった。

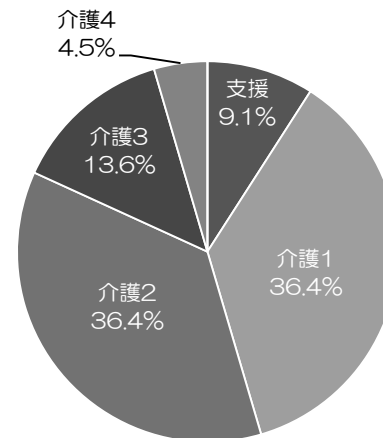
引き続き新規登録人数を増やし、臨時参加などを柔軟に受け入れる対応を心掛ける。

また、趣味活動（個別プログラム）に特化したコミュニティセンターピノならではのサービスを構築し、安定した運営を実施する。

新規登録人数確保の手段として、デイサービスセンターモモ・居宅サービスセンターモモ・ケアステーションナとの法人内連携の強化は必須事項である。

1. 利用者の現況

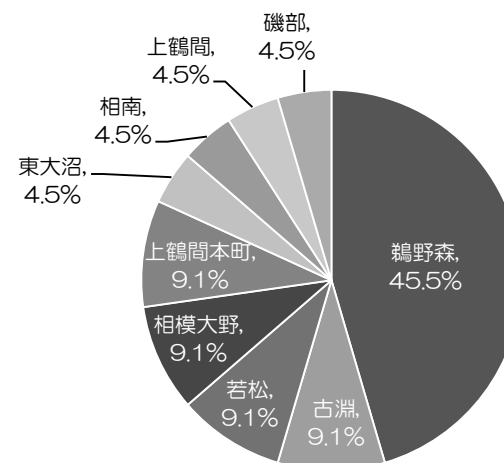
a. 介護度



要支援：2人
介護1：8人
介護2：8人
介護3：3人
介護4：1人
介護5：0人

契約数：22人
2025.03 末の登録者

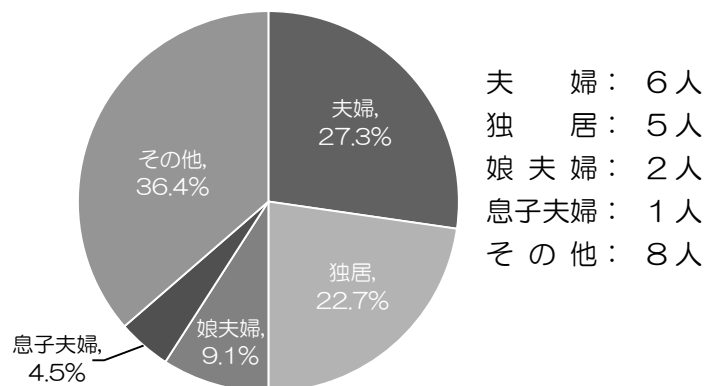
b. 地域別利用者



鵜野森：10人
古淵：2人
若松：2人
相模大野：2人
上鶴間本町：2人
東大沼：1人
相南：1人
上鶴間：1人
磯部：1人

広範囲かつ柔軟な送迎を実施している。

c. 利用者世帯状況



d. ADL

単位：人

年度	トイレ		移 動			
	自立	介助	独立歩行	杖歩行	車椅子	介助
2024 年度	15	7	13	5	2	2
2023 年度	14	8	15	4	3	0
2022 年度	2	1	1	1	1	0
2021 年度	6	5	5	2	3	1
2020 年度	8	6	7	1	5	1

ADLが自立であっても当日の状態によっては介助が必要になり、行動の見守りや声掛けなど何らかの関わりが必要である。

認知症疾患が要因で季節や精神的不安定によりADLに変化があるため、朝の送迎時の行動から来所に至るまで、活動時間中の行動や言動を注視し、対応にあたらなくてはならない。

e. 疾患状況

認知症の診断が出ている利用者が多いため、引き続き認知症の進行予防にも力を入れていかなければならない。

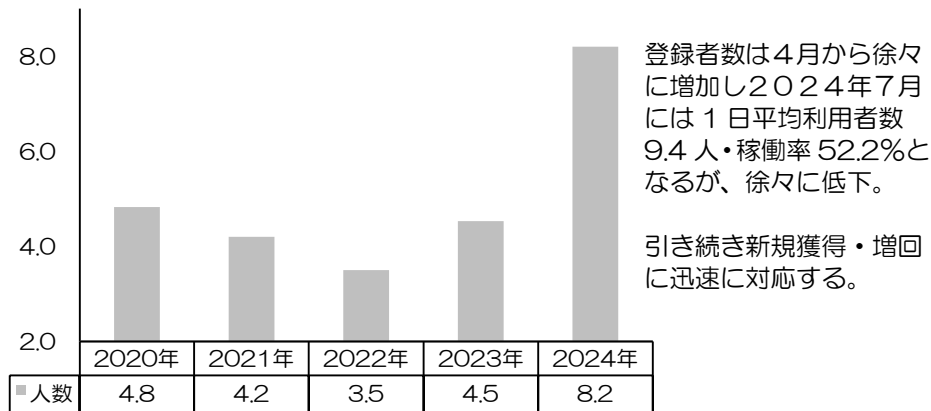
在宅生活を維持する上で重要な服薬管理が困難な場合が多く、指示通りに内服管理ができないことで認知症の周辺症状が進行してしまう。

その他の疾患に関しても医療による成果が得られていない現状がある。

疾患に関する最新の情報を入手・把握し、利用者が安心して穏やかに過ごせる環境を整える必要があり、家族・ケアマネジャー・医療機関と連携する事で、在宅生活継続の援助をしていかなければならない。

2. サービス利用状況

a. 1 日平均利用者数



単位：人

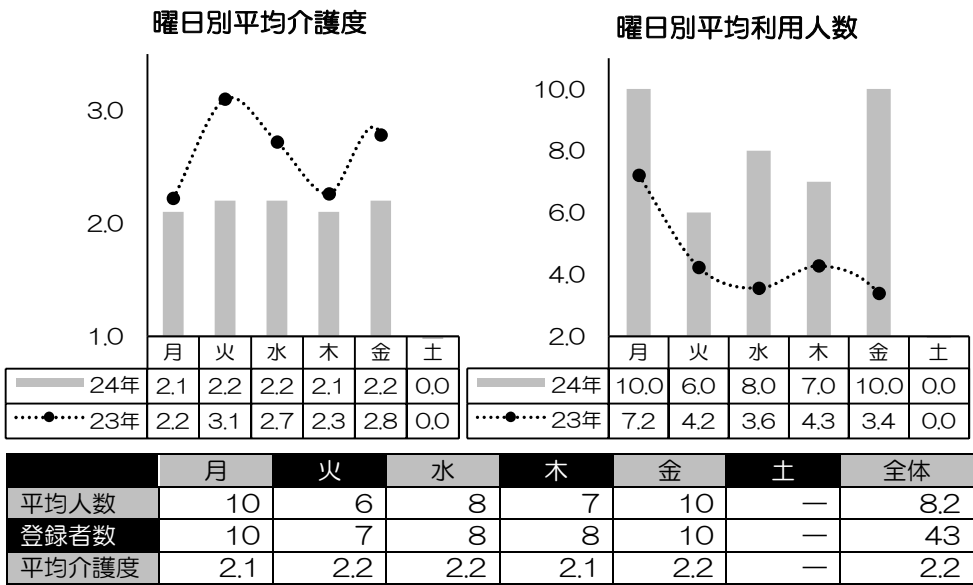
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
登録者数	159	157	50	180	306
実利用者数	1241	1039	460	1162	2104
入浴利用者数	1056	755	355	984	1835
サービス実施日数	257	247	131	256	256
1日平均利用者数	4.8	4.2	3.5	4.5	8.2

b. 月間サービス利用実績

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数	22	27	27	31	28	27
実利用数	159	168	176	216	169	178
実施日数	22	23	20	23	22	21
1日平均	7.2	7.3	8.8	9.4	7.7	8.5
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	26	25	22	23	22	306
205	186	172	163	150	162	2104
23	21	20	20	20	21	256
8.9	8.9	8.6	8.2	7.5	7.7	8.2

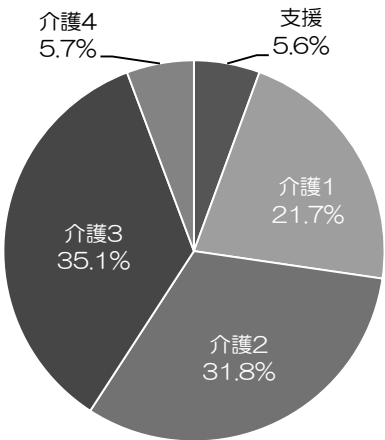
c. 週間サービス利用実績



d. 介護度別サービス利用実績

単位：人

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
支援	0	0	0	68	118
介護1	257	278	121	154	457
介護2	288	235	87	394	670
介護3	340	197	100	368	739
介護4	103	156	62	145	120
介護5	253	173	90	33	0



3. 送迎状況

単位：人

通所形態	月	火	水	木	金	土	合 計
送迎車両	10	7	8	8	10	—	43
家族送迎	0	0	0	0	0	—	0
同一敷地	0	0	0	0	0	—	0
合 計	10	7	8	8	10	—	43

送迎は安全かつ合理的に行なう工夫が必要で、サービスの質を高める上で重要である。

家族と関わりを持つ事で情報を得る機会となり、健康管理にも重要なサービスとして位置付けられる。

4. 行事・プログラム

月	内 容
4月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
5月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
6月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
7月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
8月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
9月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
10月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
11月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
12月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
1月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
2月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会
3月	趣味活動（個別プログラム）・集団プログラム・誕生日会

今後も、少人数かつ個人のニーズに合わせた個別プログラムを提供していく方針である。

同じ趣味を持つ他利用者との繋がりも出来、サロン形式が実現できている。

日々の状態変化を観察し、話を聞き入れながら共感し合い、個々に合った対応方法を考え、職員間でその情報を共有することを継続していく。

5. 事 故

2024年度の事故件数 1件

インシデントは0件となっている。

事故は入浴介助中に起こった事故（職員の介護技術の問題）である。

職員は介護技術の向上を念頭に置きつつ、営業時はデイサービスの活動において起こりうる様々なリスクを職員間で共有し、安心かつ安全な居場所を利用者に提供することができるように心掛ける。

2025年度も「事故件数0件」を目指す。



栄養と調理

<モモ>

2023年11月より給食委託会社を変更。

経緯として、10月迄で今までの委託会社が委託会社側の都合で撤退。

従来の施設内調理での継続は人員の確保や費用対効果の面から限界があると判断し、セントラルキッチンで調理・トレイメイクされたものを冷蔵で配送（施設内に設置した再加熱カートに保管）し、提供時間に合わせて加熱・配膳・提供する施設外調理の給食会社との提携への変更を試みる事とした。

栄養ケアマネジメントにおいて計画書を作成。

日頃から利用者の情報収集に努め、スクリーニングおよびアセスメントを行ない、問題点に関して他職種で検討・モニタリングしている。

入所者の入れ替わりはあるが、2023年度と比較すると中リスク者の割合は50%から67%と増加傾向にあった。

高リスク者の割合は変わらないものの低リスク者が減少していることが要因と思われる。

ただ、あくまでのその年の入居者に対しての割合であり、マネジメントにおいては個々の血液検査やADL変化等の動向をよく観察し、目の前の高齢者に何ができるかを考えていく。

また、全身状態の低下や嚥下機能の低下が急激に見られるケース（看取り対象者）が増えてきている為、急激な体重減少や誤嚥性肺炎などのリスクを踏まえ長期的にみた体重の推移・日頃の状態観察を行ない、食べやすい食事や栄養補助食品の提供と共に経過を観察していく。

口腔ケアに関しては連携している歯科医師の助言をもとに口腔ケアの方法や適切な道具の選定などにつき介護士・看護師と連携して関わっていく。

<ピノ>

栄養ケアマネジメントにおいて計画書を作成。

モモ同様日頃から利用者の情報収集に努め、スクリーニングおよびアセスメントを行ない、問題点に関して他職種で検討・モニタリングしている。

血液検査やADL変化等の動向をよく観察し、目の前の高齢者に何ができるかを考えていく。

個々の体格に応じた食事量の調整は主食で行ない、嚥下状態に合わせた食形態にすることで安全で安心な食事提供に努めている。

意思疎通が難しく認知症の進行に伴い経口摂取を拒否される方が多くみられ、胃瘻ないし療養型施設への転園へとつながっているが、積極的な医療措置が行なえない以上、経口摂取して頂くことが基本でありそれらが難しくなっていく方のケアが課題であり、介護士・看護師とも相談して、適切に栄養摂取ができる様マネジメントしていく。

看取り介護も開始され、最期を無理強いせず尊厳のある生活を営むことができるよう、家族や他職種と相談しながら栄養補助食品や水分補給ゼリー等、その方に合わせたものを提供している。

口腔ケアに関しては連携している歯科医師の助言をもとに口腔ケアの方法や適切な道具の選定などにつき介護士・看護師と連携して関わっていく。

<ナナ>

入居者は増えたがレストラン利用数は比例せず。

最も利用の多い夕食でも利用率は入居者全体の50%、朝食・昼食では25%で、2023年度とほぼ同様に推移した。

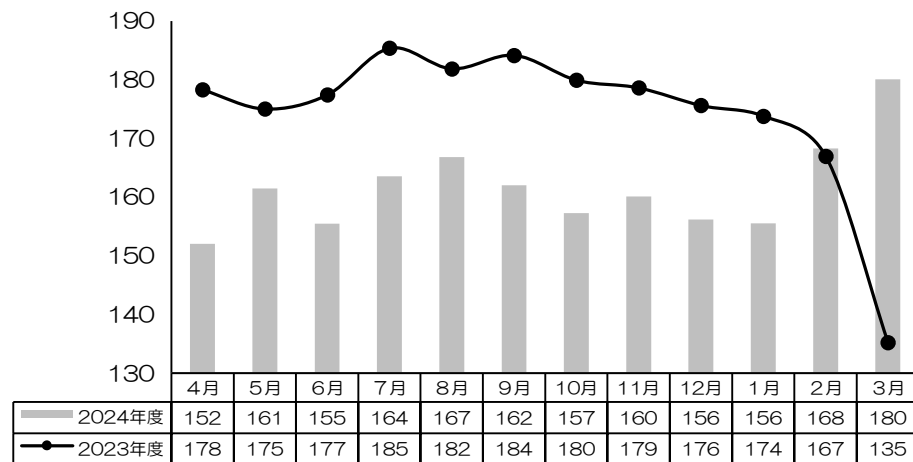
年数の経過と共にADL低下により援助が必要な方が増えているが、新規入居者は自炊される方も多く半々の比率である。

入居者間コミュニケーションの充実や個別対応の見直しを図り、レストランでの喫食者増加に繋げていけるように努力する。

1. 食数

①特養・ショートモモ：月別1日平均食数

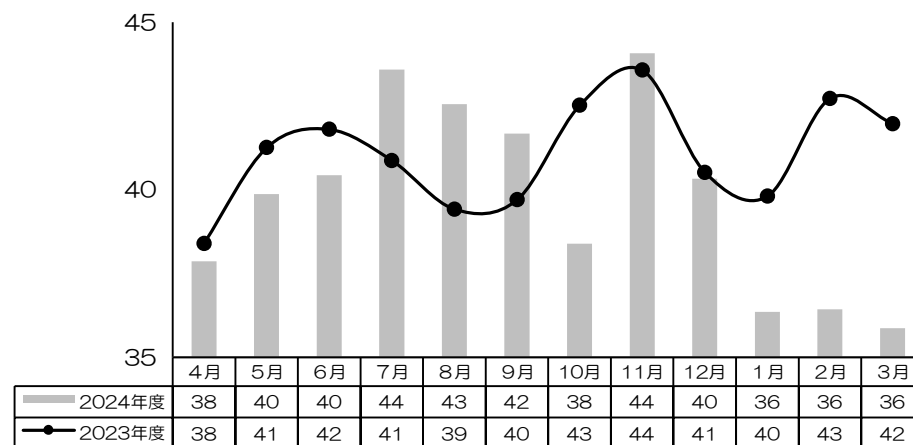
単位：食



ショートステイ稼働率の低下に加え、特養退所者数が新規入所者数を上回る月が多々あった為、2023年度に比べ減少傾向となった。

②ケアハウス：月別1日平均食数

単位：食

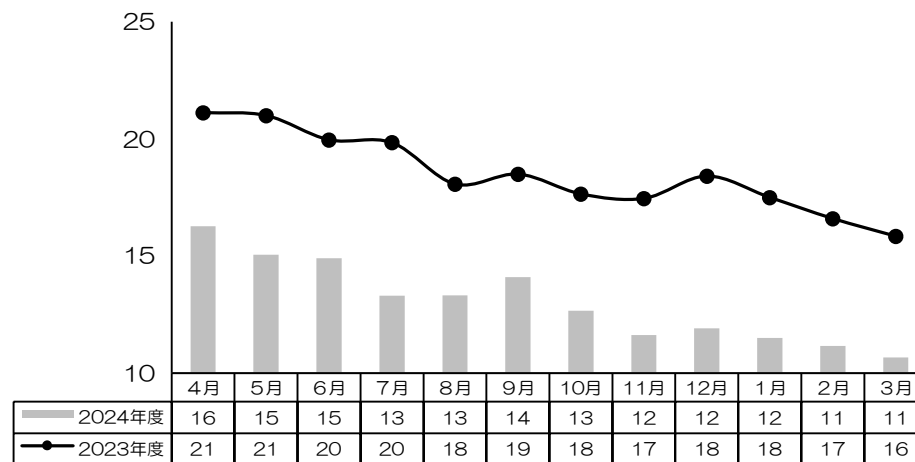


昼食においては外出やデイ利用にて欠食者が多い傾向は変わらず。

1～3月においてはADL低下による退所者が複数名出た為、著しい減少の形でグラフに表れている。

③デイサービス：月別平均食数

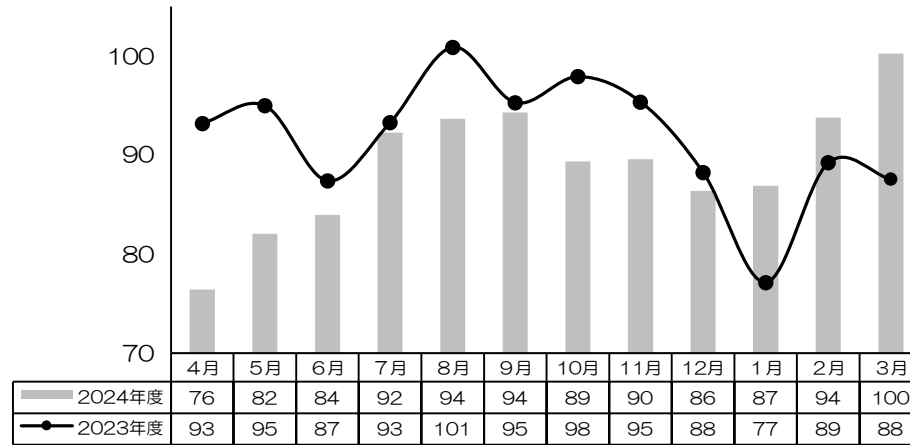
単位：食



中止になる利用者は少なかったが新規利用者も少なく、人数の増加とはならず。また、後半においてはショートステイ利用による欠席も目立った。

④コミュニティホーム・ショートピノ：月別1日平均食数

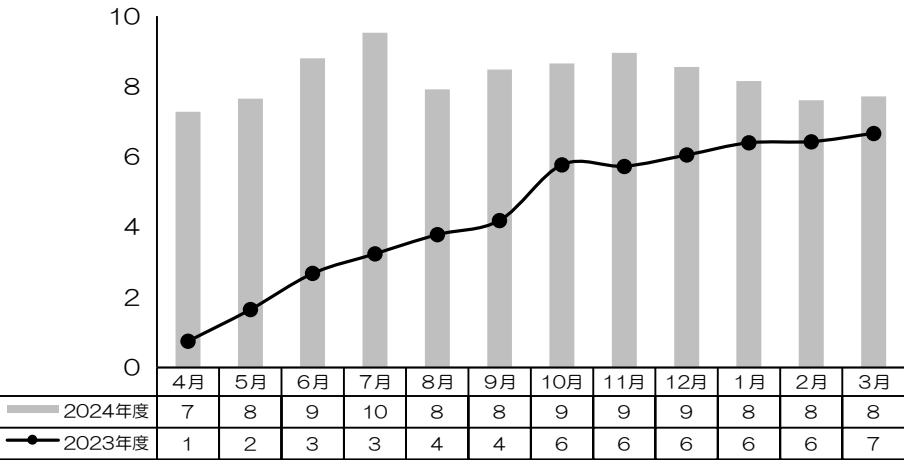
単位：食



4月はショートステイの利用減少と特養入院者の増加が重なり、12～1月は感染症の影響で減少がみられているが、その他は月間80%以上の食数となっている。

⑤コミュニティセンター：月別平均食数

単位：食



減少はないものの、新規利用者がなかなか増えず、伸び悩んでいる。

⑥その他

2023年度に半固形食（胃瘻含む）の方の対応が目立ち、特に後半からは新規入居者の増加とともに通常食の提供数が伸びている。

半固形食・胃瘻対象者は食数としては通常食と別にカウントしており、2025年3月31日現在でもモモ2名・ピノ1名が対象となっている。

2. 栄養ケアマネジメント

日々変化する個々の栄養状態に合わせ他職種間で随時情報を共有し、食事量調整、内容や栄養補助食品の検討を行ないマネジメントに繋げている。

①モモ

a) BMI 分布

	2024年度	2023年度
18.5 未満	18 名 (32.1%)	15 名 (28.8%)
18.5 以上 25 未満	36 名 (64.3%)	36 名 (66.7%)
25 以上	2 名 (3.6%)	3 名 (5.5%)

全体的に見ると入居者の入れ替わりによる多少の変動はあるが、総数に差があり、比率としては概ね2023年度と変わらない数値と言える。

b) 血清アルブミン値

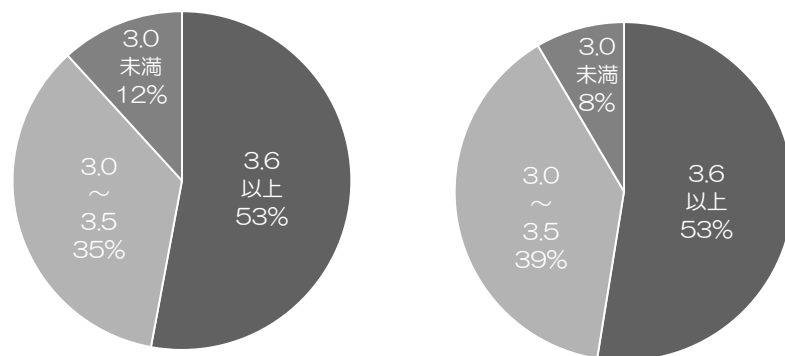
3.0未満の割合が若干増えているものの、対象者の総数が減っている事もあり、2023年度とほぼ変わらない水準といえる結果である。

割合はあくまで指標とし、個々に向き合ったケアが必要である。

往診時でもアルブミン値のチェックを行ない、低い人には栄養状態が改善できるか否かを多職種で検討し、改善を目指していく。

日常的な状態観察や嚥下状態確認を行ないADLの維持に努める。

血清アルブミン値比較



2024年5月

2023年5月

c) 食事内容調整

内容は2023年度と変わらず、嚥下状態や入退院による変更および看取り対応への移行に対する変更が多く、中には義歯の不具合によるものも見られた。

変更した給食会社の食事は病院基準になっており、個々へ合わせた調整は以前より細かくできるようになっている。

変更に至っては看護師・介護士・ケアマネジャーからも情報提供を受け、小さな気づきから多職種で検討を行ない、安全な食事内容を提供し誤嚥事故を防いでいる。

吸引回数が多くなると食事が難しくなり、栄養補助食品のみの対応になるケースも多い。

看取り期の食事の在り方について、試行錯誤しながら行なっている。

d) 栄養ケア計画作成

2025年3月では低リスク者23.3%・中リスク者67.8%・高リスク者8.9%となっており、それぞれアルブミン値の関与が大きい。

リスク判定だけにとどまらず、個々調整を行なっていく。

②ピノ

a) BMI 分布

	2024年度	2023年度
18.5 未満	12 名 (44.4%)	8 名 (36.3%)
18.5 以上 25 未満	14 名 (51.9%)	14 名 (63.7%)
25 以上	1 名 (3.7%)	0 名 (0.0%)

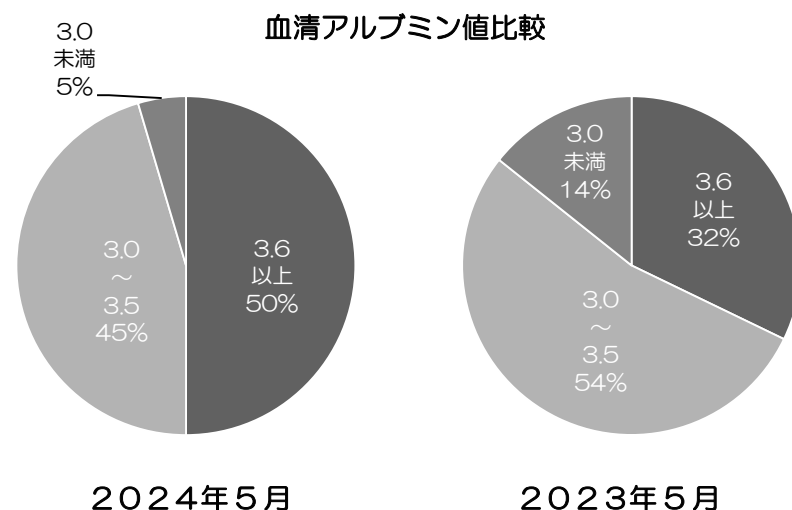
年度後半に新規入居者や退院により在園者が多かったことから18.5未満がやや増加している。

日々体調の変動がある為、あくまで指標として捉え個別に経過を追っていく必要がある。

b) 血清アルブミン値

入居者の入れ替わりに伴い3.6 g/dl 以上の割合は半分にまで増加し、3.5以下及び3.0 g/dl 未満の割合は大幅に減少となった。

血液検査を行なった際には適宜アルブミン値を確認し、急激に悪化した対象者には食事内容の検討や栄養補助食品の付加を検討していく。



c) 食事内容調整

調整の内容は、嚥下状態によるものと入退院による変更および看取り対応への移行に対する変更が多くを占める。

変更に至っては看護師・介護士・ケアマネジャーからも情報提供を受け、小さな気づきから多職種で検討を行ない、安全な食事内容を提供し誤嚥事故を防いでいる。

d) 栄養ケア計画作成

2025年3月では低リスク者25.0%・中リスク者67.9%・高リスク者7.1%となっており、それぞれアルブミン値の関与が大きい。

リスク判定だけにとどまらず、個々調整を行なっていく。

3. 経口摂取困難者（看取り期）の食事形態

嚥下状態（飲み込み）の低下・声かけ時の反応低下・1日の覚醒サイクル不安定・吸引等医療措置の増加・体力低下による食事負担軽減の必要性等を観察し、必要に応じて半固形栄養食を1食～3食の間で使用していく。

水分摂取では、とろみ使用もゼリー摂取も困難で、食事量も低下している看取り期の利用者に都度適した水分補助食品を検討・提供し、無理のない水分摂取・栄養補給に努めている。

とろみ・水分ゼリーのどちらが本人にとって摂取しやすいのか、適宜検討を行ない誤嚥性肺炎のリスクを低下させることが重要であり、血液検査の結果を受け適切な栄養負荷が行なえる栄養食を選ぶ必要もある。

加齢に伴う口腔機能や摂取・嚥下機能の低下が顕著であるため、現在の食事形態維持の為に嚥下体操や口腔ケアを重視していく必要がある。

定期的に歯科衛生士による口腔ケアチェックを行なっていく、口腔内の清潔保持に努めていく。

4. 療養食加算算定

開始までの運用方法検討・献立準備を行ない、2021年9月より療養食算定を開始したが、2025年3月末現在で該当者はいない。

ピノは食事提供が介護士によるユニットでの弁当提供の為、対応できない部分が多く今後の運用については検討を要する。

モモの委託業者は病院主体の食事提供を行っており、管内調理でなくとも療養食に対応（提供継続）する事ができる。

5. 選択食

<モモ>

2024年11月より変更となった、セントラルキッチン方式（委託会社の提供）の献立に選択食がない為、実施が難しく現在は提供を見送っている。

<ピノ>

現在冷凍弁当を使用しており、1日1種類の提供しかいないため実施が難しく現在は提供を見送っている。

6. 家族食事会

<モモ>

感染症対策から面会を制限しており、実施を見送っていた。

2025年度より面会制限を解除していく方針ではあるが、家族と一緒に食事を食べる事が出来る入居者がほとんどおらず、今後も状況は変わらないと判断。家族食事会は中止し、別の方法にて家族との交流が行なえるように検討する。

7. 家族同席の食事（通常）

<モモ>

感染症対策から面会を制限しており、実施を見送っていた。

2025年度より面会制限を解除していく方針ではあるが、入所者のADL（嚥下・食形態・体調等の）変化も考慮すると、家族同席の食事は中止とし、家族に対して施設提供食についての情報は常に発信できるようにする。

8. フロアでの調理・おやつ作り

<モモ>

全体のADL低下に伴い、自分で出来る入居者や主体的に楽しむことができる利用者が減少している他、調理を伴うレクリエーションを望む声もない為、一旦中止とする。

今後はおやつ（食品）にこだわらず、直接手を出せずとも見て楽しめる飲食系レクリエーションを主体に取り組んでいく。

<ピノ>

全体のADL低下に伴い、自分で出来る入居者や主体的に楽しむことができる利用者が減少している他、調理を伴うレクリエーションを望む声もない為、一旦中止とする。

今後はおやつ（食品）にこだわらず、直接手を出せずとも見て楽しめる飲食系レクリエーションを主体に取り組んでいく。

9. 行事食

<モモ>

給食委託業者側にて正月祝い膳や敬老祝い膳等の季節の行事食は通常の献立に組み入れてもらい、各部署共通にて実施した。

部署毎の行事食については給食委託業者側と協議しながら行ない、委託業者と施設側とで協力しながらの提供となった。

セントラルキッチン方式への変更に伴い、今後は行事についてはおやつに季節感のあるものを取り入れることで実施していく。

<ピノ>

主体となる食事以外は様々な購入先を模索し、季節感のある行事食ができるように工夫した。

その他ユニット毎で計画・提供を行ない、ケーキや弁当等を外部購入して提供するようにしていく。

2024年度 行事食実施献立

月	日	対象部署	イベント名	献立
4月	8日	特・デ・ケ	お花見御膳	桜ちらし・マスの旨塩焼き・がんもの含め煮・菜の花のおひたし・清汁・桜ロールケーキ
	26日	ケア	ケア例会	季節のデザート
	17～22日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	26日	特	誕生会	白桃ムース
5月	5日	特・ケ	こどもの日	オムライス・野菜とベーコンの炒め物・スパゲティサラダ・コンソメスープ・メロンムース
	14日	特	母の日	鶏照り丼・ほうれん草の胡麻和え・清汁・練切
	15～20日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	24日	特	誕生会	マンゴーケーキ
	24日	ケア	ケア例会	ねりきり（鯉のぼり）
	18～21日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	26日	特	誕生会	ねりきり（あじさい）
6月	26日	ケア	ケア例会	ねりきり（雨傘）
	6日	特・デ・ケ	七夕	七夕ちらし・冬瓜の煮物・わかめと胡瓜の酢の物・清汁・くずもち風デザート
	15～19日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
7月	24日	特	誕生会	サワーチェリー
	24日	特・デ・ケ	土用の丑の日	あなごのうな玉風丼・大根葉油揚げ・清汁・水ようかん
	24日	ケア	ケア例会	季節のデザート
	19～23日	デイ	誕生会	ケーキ（曜日替わり）
	28日	特	誕生会	オレンジ
8月	28日	ケア	ケア例会	季節のデザート
	16日	特・ケ	敬老の日膳	赤飯・天ぷら盛り合わせ・茸のさっと煮・清汁・フルールカクテル
	16～20日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
9月	17日	特・デ・ケ	お月見	月見そば・里芋の煮物・りんごゼリー
	25日	特	誕生会	ねりきり（月のうさぎ）
	25日	ケア	ケア例会	ねりきり（月のうさぎ）

月	日	対象部署	イベント名	献立
10月	14～18日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	23日	特	誕生会	カボチャタルト
	23日	ケア	ケア例会	季節のデザート
	31日	特・デ・ケ	ハロウィン	御飯・海老フライ盛り合わせ・キャベツのマリネ・パンプキンスープ・ロールケーキ
11月	18～22日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	23日	特・ケ・デ	勤労感謝の日	つけ麺・大豆五目煮・白菜の生姜和え・プリン
	27日	ケア	ケア例会	季節のデザート
12月	9日	デイ	お楽しみ週	つけうどん（鶏）・南瓜のそぼろあん・白菜の胡麻和え・ヨーグルト・清汁（おやつ：和菓子）
	10日	デイ	お楽しみ週	御飯・かれのい南蛮漬け・冬瓜と油揚げの煮物・青梗菜の胡麻風味和え・清汁（おやつ：和菓子）
	11日	デイ	お楽しみ週	御飯・筑前煮・干草蒸・小松菜の辛し和え・清汁（おやつ：和菓子）
	12日	デイ	お楽しみ週	御飯・酢鶏・大根煮物・小松菜湯葉生姜風味・清汁（おやつ：和菓子）
	13日	デイ	お楽しみ週	御飯・鰯西京焼・白菜と魚肉ソーセージの中華煮・春雨と錦糸卵の和え物・ヨーグルト（おやつ：和菓子）
	16～20日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	21日	特・ケ・デ	冬至	御飯・赤魚の西京焼き・豆腐チャンプルー・ほうれん草の柚子ポン酢
	25日	特・ケ・デ	クリスマス膳	ピラフ・クリスマスランチ・えびとブロッコリーのサラダ・コーンポタージュ・クリスマスデザート
	23日	ケア	クリスマス会・忘年会	おでん・クリスマスデザート
	31日	特・ケ	大晦日	年越しつけ蕎麦・じゃが芋とえびの含め煮・カリフラワーサラダ・フルーツミックス

月	日	対象部署	イベント名	献立
1月	1日	特・ケ	元旦	赤飯・ぶりの照り焼き・一口がんもの煮物・ほうれん草柚子風味・清汁（手毬麩）・水羊羹（芋）（おやつ：紅白饅頭）
	6～10日	デイ	新春祝い	おやつ：季節の練り切り
	20～24日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	22日	ケア	ケア例会	季節のデザート
2月	2日	特・ケ	節分	彩り御飯・ほっけの照り焼き・大豆サラダ・沢煮椀・節分デザート（おやつ：練り切り（赤鬼））
	14日	特・デ・ケ	バレンタイン	おやつ：ハートチョコプリン
	17～21日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	26日	ケア	ケア例会	季節のデザート
3月	3日	特・ケ	ひな祭り	ちらし蒸し寿司・炊き合せ・若布とカニカマ酢の物・清汁（花麩・菜花）・桃の花ゼリー（おやつ：練り切り（ひな人形））
	14日	特・デ・ケ	ホワイトデー	おやつ：ハートチョコプリン
	17～21日	デイ	誕生週	ケーキ（曜日替わり）
	27日	ケア	ケア例会	季節のデザート

特＝特別養護老人ホームモモ（含：ショートステイ）

ケ＝ケアハウスモモ

デ＝デイサービスセンターモモ

居宅サービスセンターモモ

2024年度介護保険改正の大きな変更点として、介護支援専門員1人当たりの取扱件数が改められ、今までの「40未満」から「45未満」に変更になり、予防利用者も要支援者の数が「2分の1」から「3分の1」を乗じて件数に加わる事となった。

他居宅事業所のケアマネジャー退職による数名同時の引継ぎ依頼や、各地域包括支援センターからも安定して新規の依頼があり、着々と利用者人数を増やしている。(2023年度：133名・2024年度：150名)

利用者人数が増える事に伴い同法人のサービスへ繋げていく事が責務として考えてはいたが、公平中立の観点からなかなか上手くいかない面も出てきている為、各部署と連携して互いの実績向上に繋げる事が難しかった。

特定事業所加算を算定して3年目となり、算定要件のひとつである介護支援専門員実務研修の実習生の受け入れを、2024年度は1名行なっている。

その他にも、地域包括支援センター・他居宅事業所と連携して事例検討会・勉強会の企画立案等の実施要件を満たす必要があり、研修参加や情報収集等に努めると共に事業所管理者・特定事業所加算取得に必要な主任介護支援専門員の更新研修も実施した。

今後は地域包括ケアシステムの構築に向けて各地域包括支援センターと連携を図り、団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」「8050問題」それに付随する「シャドーワーク問題」等の各問題を解決しながら、出来る範囲で多くの利用者に対応出来るように努めていく。

1. 利用者の推移

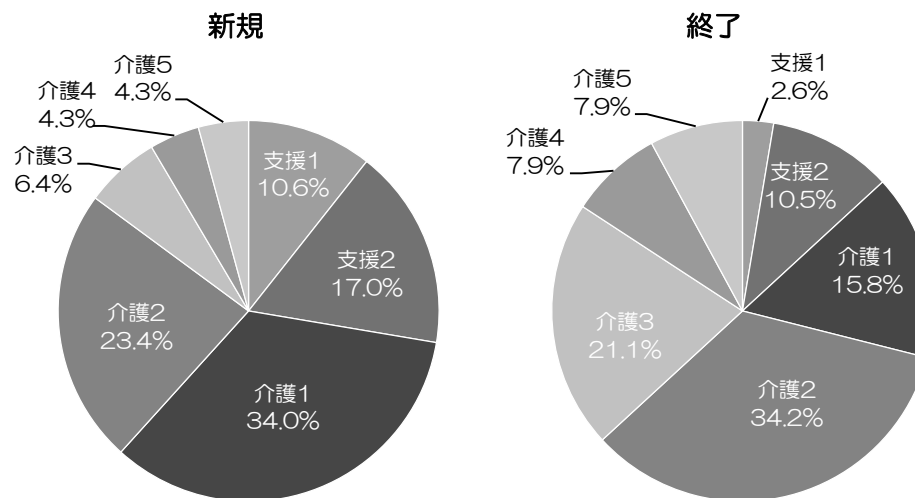
a. 月毎の新規契約・支援終了者

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規契約 47名	4 (2)	5 (2)	1 (0)	3 (5)	3 (2)	2 (5)	6 (5)	8 (6)	2 (4)	3 (6)	2 (2)	8 (2)
支援終了 38名	2 (6)	5 (1)	1 (3)	0 (3)	2 (1)	2 (8)	3 (4)	6 (2)	3 (3)	6 (4)	2 (0)	6 (3)

※ () 内は前年度数値

b. 介護度別構成



単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
新規	0 (0)	4 (5)	8 (3)	15 (13)	14 (12)	2 (3)	2 (2)	2 (3)	1.46 (1.72)
終了	0 (0)	1 (2)	4 (3)	6 (10)	13 (8)	8 (6)	3 (5)	3 (4)	2.24 (2.23)

※ () 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

c. 新規依頼経路

単位：人

経 路	男性	女性	合計
直近地域包括	5	2	7
その他地域包括	9	10	19
市 担 当 課	0	0	0
病院 MSW 等	0	4	4
他 居 宅	7	6	13
他 事 業 所	1	0	1
配偶者等を担当	3	1	4
知 人 紹 介	0	0	0
自 己 検 索	0	0	0
そ の 他	1	2	3
合 計	26	21	47

地域包括：これまで直近地域包括の割合が多い傾向にあったが、その他包括の1カ所（大沼）からの依頼が増加傾向にある。

d. 支援終了理由

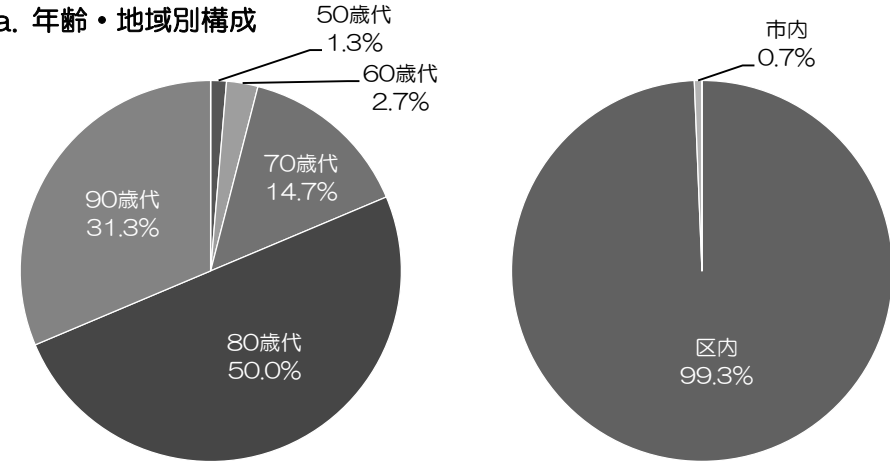
単位：人

理 由	男性	女性	合計
死 亡	7	2	9
認定「自立」	0	0	0
認定「要支援」	0	0	0
施 設 入 所	3	11	14
利 用 者 解 約	2	1	3
事 業 所 解 約	0	0	0
そ の 他	6	6	12
合 計	18	20	38

2. 現員者の状況

※2025.03.31 登録者：150 名に対する値

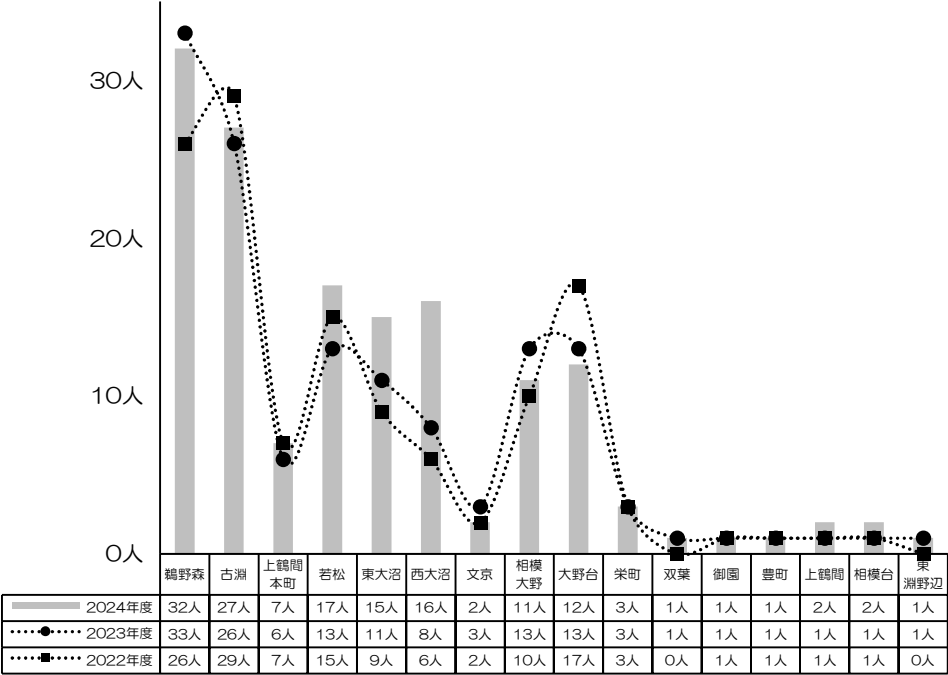
a. 年齢・地域別構成



	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	99歳 6ヶ月 (98歳 7ヶ月)	58歳 11ヶ月 (57歳 11ヶ月)	84.70歳 (83.57歳)
女性	98歳 3ヶ月 (97歳 3ヶ月)	55歳 3ヶ月 (54歳 3ヶ月)	85.75歳 (84.72歳)
全体	99歳 7ヶ月 (98歳 7ヶ月)	55歳 3ヶ月 (54歳 3ヶ月)	85.33歳 (84.30歳)

※（ ）内は前年度数値

●登録住所

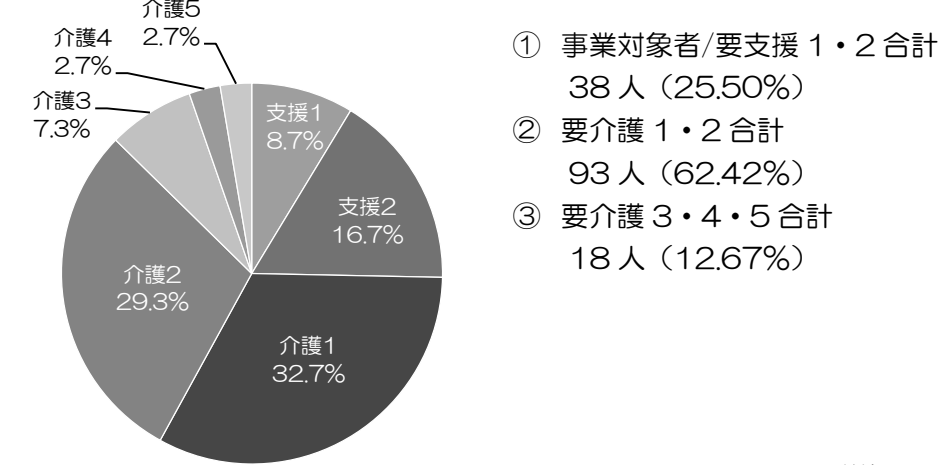


2024年度は「南区」の方が大半、「中央区」1名が対象となった。

鶴野森 = 21.33%
古淵 = 18.00%
上鶴間本町 = 4.67%

上記3地区（法人事業展開エリア）で44.00%の割合を占めている。

b. 介護度別構成



- ① 事業対象者/要支援1・2合計 38人 (25.50%)
- ② 要介護1・2合計 93人 (62.42%)
- ③ 要介護3・4・5合計 18人 (12.67%)

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	(0)	6 (4)	8 (7)	17 (15)	19 (16)	5 (6)	2 (1)	1 (0)	1.48 (1.43)
女性	(0)	7 (6)	17 (17)	32 (27)	25 (22)	6 (8)	0 (3)	3 (2)	1.32 (1.42)
合計	(0)	13 (10)	25 (24)	49 (42)	44 (38)	11 (14)	2 (4)	4 (2)	1.40 (1.43)

※（ ）内は前年度数値 / 平均：要支援1＝0.25・要支援2＝0.50 換算で算出

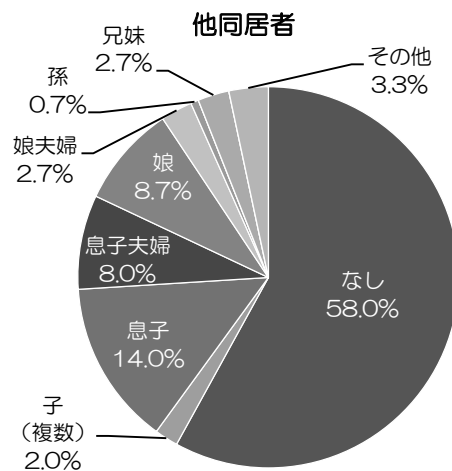
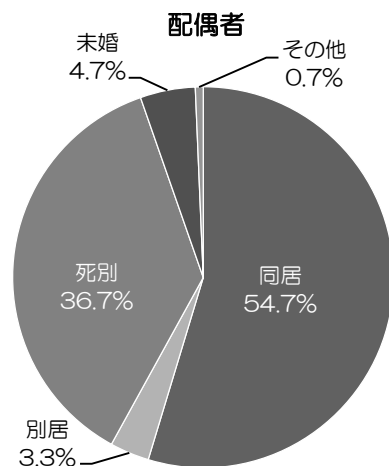
c. 介護保険負担限度額認定

単位：人

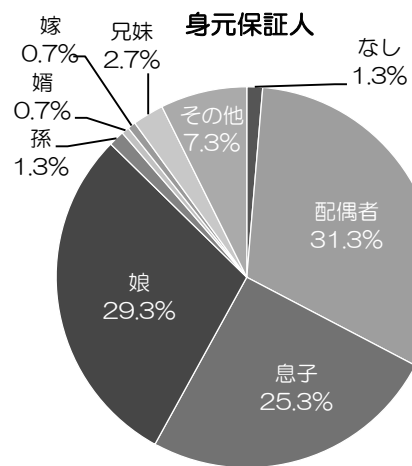
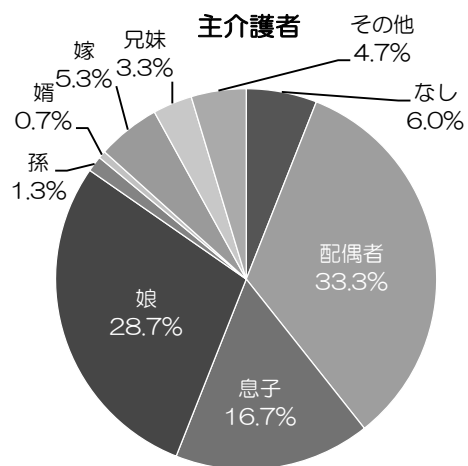
第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階 (含：未申請)	合計
0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (4)	148 (129)	149 (133)

※（ ）内は前年度数値

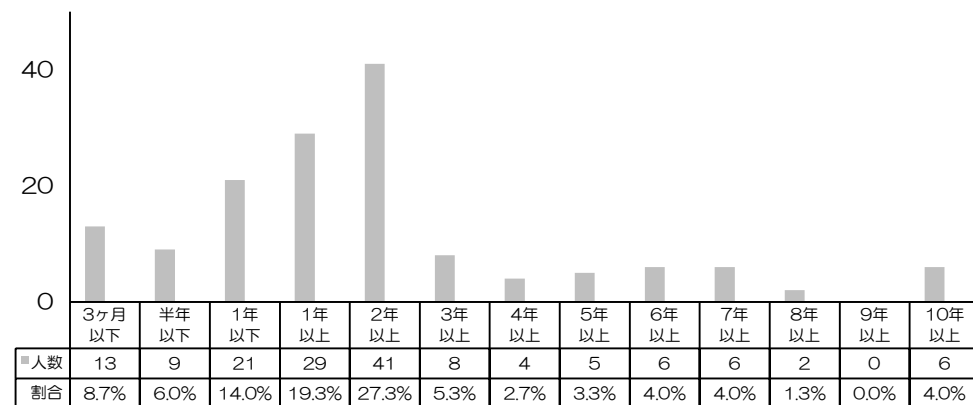
d. 世帯構成



e. 本人支援状況



f. 利用期間



g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	不明	合計
男性	8	18	8	12	4	0	0	1	0	51
女性	17	14	20	14	11	1	2	0	0	79
合計	25	32	28	26	15	1	2	1	0	130

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

h. 日常生活動作状況

単位：人

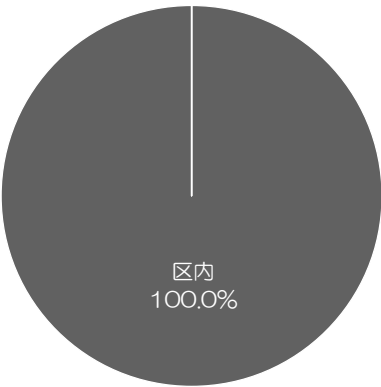
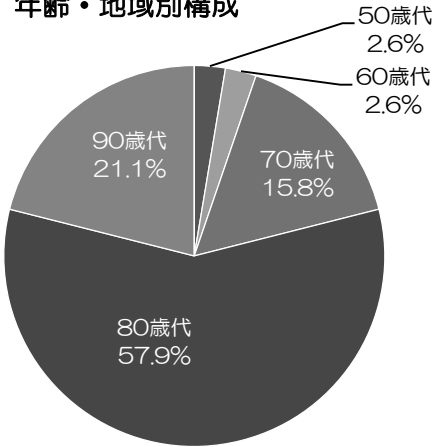
基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	7	4	13	12	9	4	2	0	0	0	51
女性	1	4	25	24	16	3	6	0	0	0	79
合計	8	8	37	36	25	7	8	0	0	0	130

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

3. 終了者の状況

※2024 年度終了者：38 名に対する値

a. 年齢・地域別構成



●年齢構成 単位：人（延べ） / （ ）内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	1 (0)	0 (0)	5 (1)	12 (12)	0 (6)	0 (0)	18 (19)
女性	0 (0)	1 (1)	1 (0)	10 (11)	8 (7)	0 (0)	20 (19)
全体	1 (0)	1 (1)	6 (1)	22 (23)	8 (13)	0 (0)	38 (38)
二 号	0 (0)	0 (0)					0 (0)

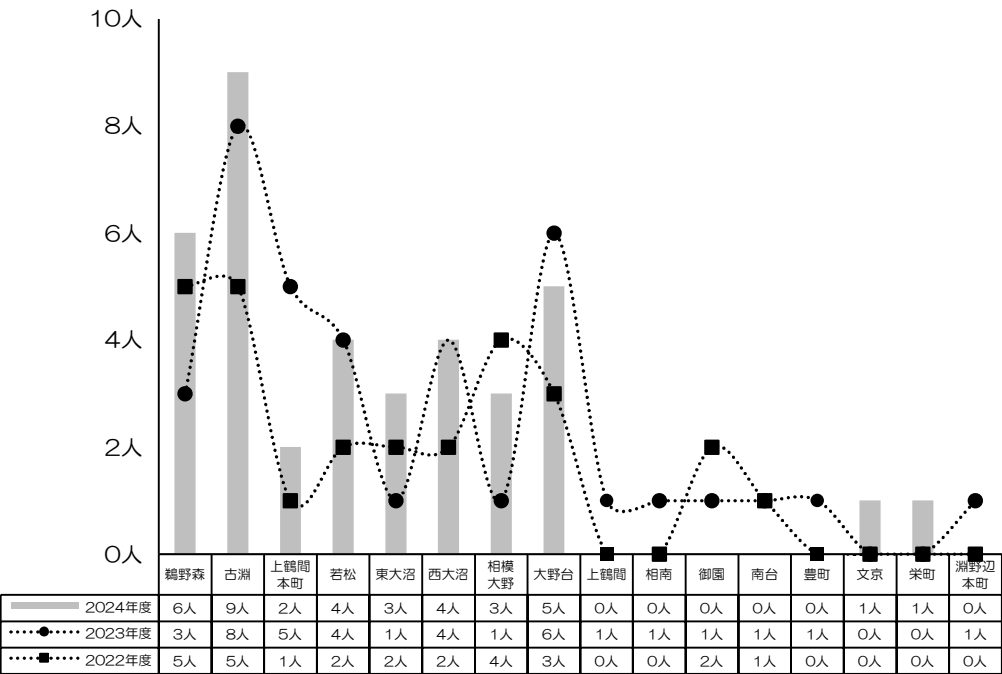
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原市南区	18 (19)	20 (19)	38 (38)
区外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
市外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
県外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	18 (19)	20 (19)	38 (38)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	89歳 7ヶ月 (98歳 8ヶ月)	58歳 7ヶ月 (74歳 11ヶ月)	80.89歳 (86.74歳)
女性	97歳 8ヶ月 (99歳 5ヶ月)	60歳 11ヶ月 (64歳 2ヶ月)	86.15歳 (86.68歳)
全体	97歳 8ヶ月 (99歳 5ヶ月)	60歳 11ヶ月 (64歳 2ヶ月)	83.66歳 (86.71歳)

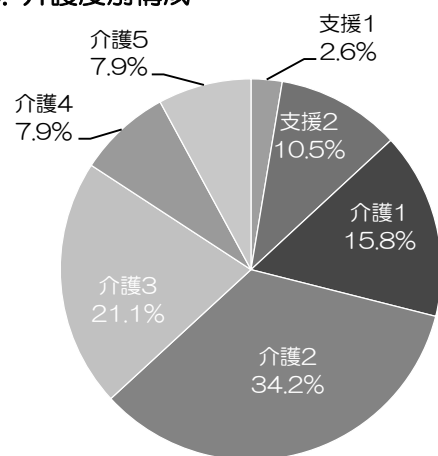
※解約日当日の年齢 / （ ）内は前年度数値

●登録住所



終了者は「南区在住」のみの方で38名。

b. 介護度別構成



① 事業対象者/要支援 1・2 合計

5 人 (13.16%)

② 要介護 1・2 合計

19 人 (50.00%)

③ 要介護 3・4・5 合計

14 人 (36.84%)

大半が死亡・施設入所で、はっきりとした支援終了理由が多く、例年同様の内容が続いている。

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0 (0)	1 (1)	3 (0)	2 (4)	6 (7)	3 (4)	1 (2)	2 (1)	2.15 (2.28)
女性	0 (0)	0 (1)	1 (3)	4 (6)	7 (1)	5 (2)	2 (3)	1 (3)	2.33 (2.18)
合計	0 (0)	1 (2)	4 (3)	6 (10)	13 (8)	8 (6)	3 (5)	3 (4)	2.24 (2.79)

※ () 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

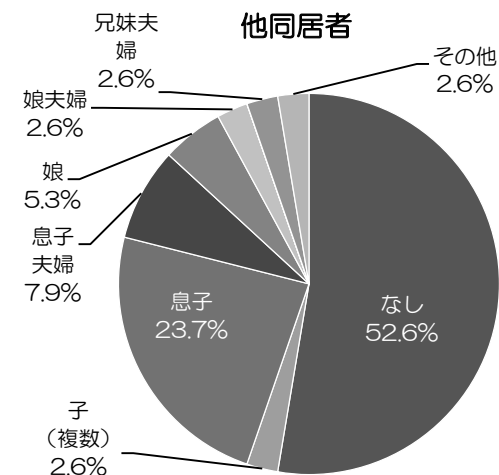
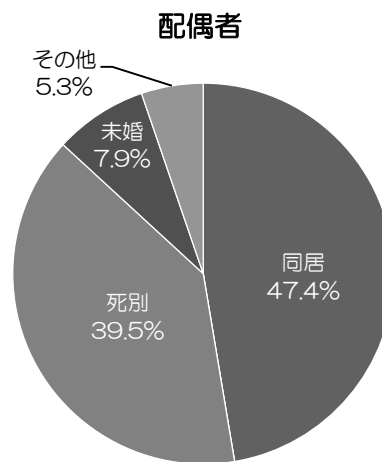
c. 介護保険負担限度額認定

単位：人

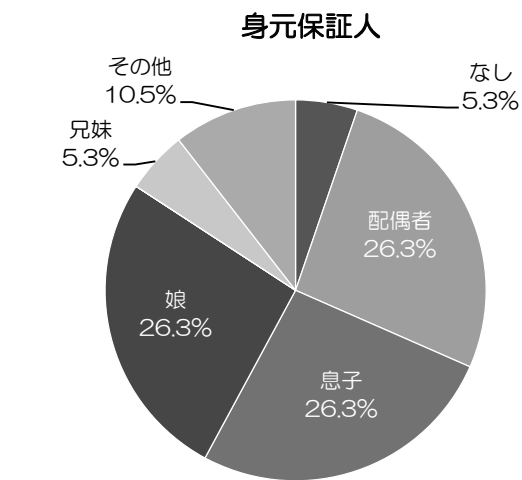
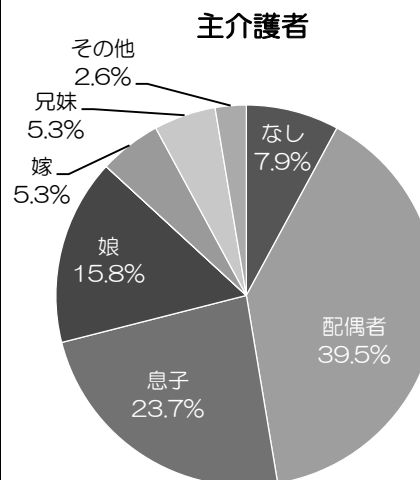
第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階 (含：未申請)	合計
0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	35 (38)	38 (38)

※ () 内は前年度数値

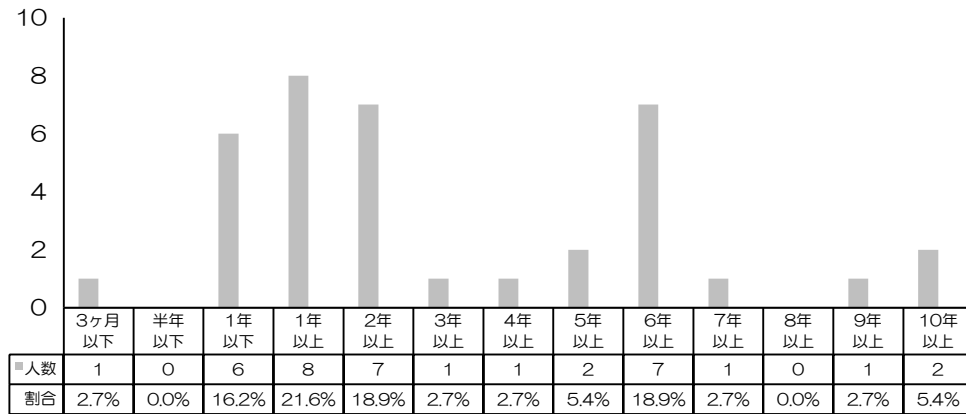
d. 世帯構成



e. 本人支援状況



f. 利用期間



g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	不明	合計
男性	3	7	3	0	0	1	2	0	2	18
女性	4	2	3	3	5	0	0	0	3	20
合計	7	9	6	3	5	1	2	0	5	38

※認定調査票・主事意見書未取得者を除く

h. 日常生活動作状況

単位：人

基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	1	1	3	2	3	2	4	0	0	2	18
女性	2	1	3	7	3	1	0	0	0	3	20
合計	3	2	5	9	6	3	4	0	0	5	38

※認定調査票・主事意見書未取得者を除く

4. 介護サービス展開状況 ※2024年度利用者延べ187名に対する値

a. ケアプラン（居宅サービス計画書）作成

単位：件

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	8	6	4	4	7	4	11	6	8	3	3	7	71
B	6	4	3	5	7	2	6	4	7	3	7	7	61
C	9	5	7	5	12	5	12	6	5	7	12	12	97
合計	23	15	14	14	26	11	29	16	20	13	22	26	229

b. サービス担当者会議

単位：回

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	4	5	3	3	4	3	7	4	7	3	2	5	50
B	3	3	1	3	4	1	5	3	4	3	2	5	37
C	8	6	6	7	10	6	13	6	5	8	11	11	97
合計	15	14	10	13	18	10	25	13	16	14	15	21	184

c. 関連事業所

単位：事業所（数）

	通所介護	福祉用具	訪問介護	短期入居	訪問看護	通所リハ	訪問入浴
事業所	100	81	38	24	22	5	2

d. 個人別契約事業所

単位：人

	利用なし	1事業所	2事業所	3事業所	4事業所	5事業所超
事業	0	0	0	0	0	0
支援1	2	8	3	0	0	0
支援2	1	13	8	2	1	0
介護1	1	22	15	5	4	2
介護2	1	11	17	11	4	0
介護3	1	3	0	4	1	2
介護4	0	1	0	0	2	0
介護5	0	1	1	0	1	1
合 計	6	59	30	22	13	5

e. 複数サービス利用

単位：人

	利用なし	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類超
事業	0	0	0	0	0	0
支援1	2	8	3	0	0	0
支援2	1	13	8	3	0	0
介護1	1	24	16	2	5	1
介護2	1	14	18	7	4	0
介護3	1	3	1	3	2	1
介護4	0	1	0	0	2	0
介護5	0	1	1	1	0	1
合 計	6	64	47	16	13	3

f. 自法人併設サービス利用（契約数）

単位：人

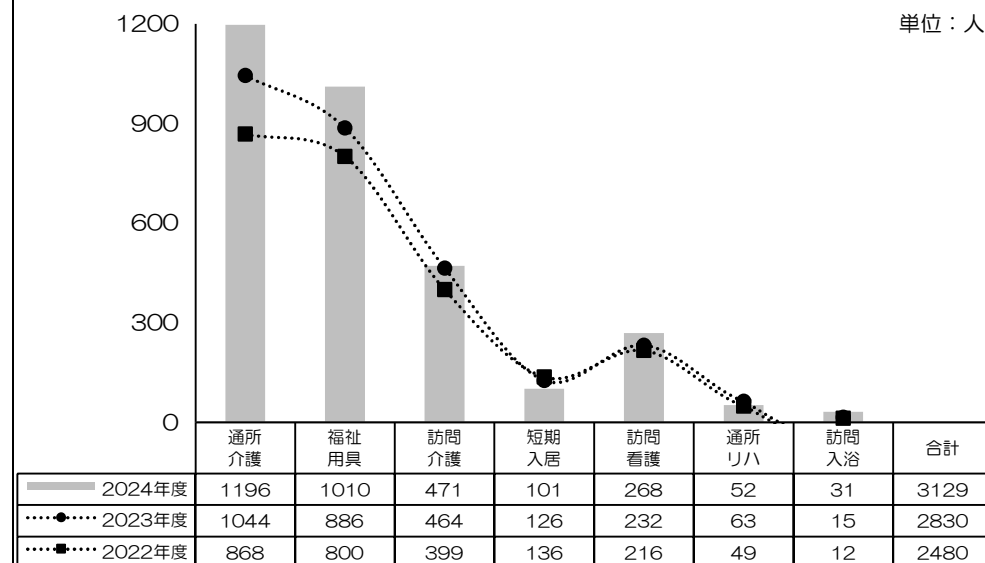
種 別	MOMO						PINO			
	特養		SS	DS	ケア		特養		SS	DS
	申	入			申	入	申	入		
2024年度	4	0	3	13	0	8	2	0	7	9
2023年度	4	0	5	19	1	7	1	0	3	6
2022年度	4	2	5	19	0	7	1	0	3	1

※申＝入居申込のみ

※入＝入居（特養の場合はそれを理由に契約終了となった者）

g. 種類別サービス利用件数

単位：人



h. 月別サービス利用

単位：人

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	91	93	97	99	100	102	101	107	103	100	99	104	1196
福祉用具	77	80	83	83	86	84	85	93	90	87	81	81	1010
訪問介護	34	34	36	38	40	40	40	42	43	40	42	42	471
短期入居	12	10	7	6	7	4	5	10	10	9	12	9	101
訪問看護	21	20	23	22	24	25	24	24	23	23	20	19	268
通所リハ	5	4	4	3	3	3	6	6	6	4	4	4	52
訪問入浴	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	31
住宅改修	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	5

i. 介護度別サービス利用

単位：人（延べ）

種 類	事業 対象	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
通所介護	0	67	199	440	361	97	16	16	1196
福祉用具	0	19	207	175	402	129	32	46	1010
訪問介護	0	29	46	124	189	45	11	27	471
短期入居	0	0	1	8	38	22	17	15	101
訪問看護	0	24	12	31	109	62	12	18	268
通所リハ	0	0	15	12	21	4	0	0	52
訪問入浴	0	0	0	0	0	9	10	12	31
住宅改修	0	0	0	4	0	0	0	1	5

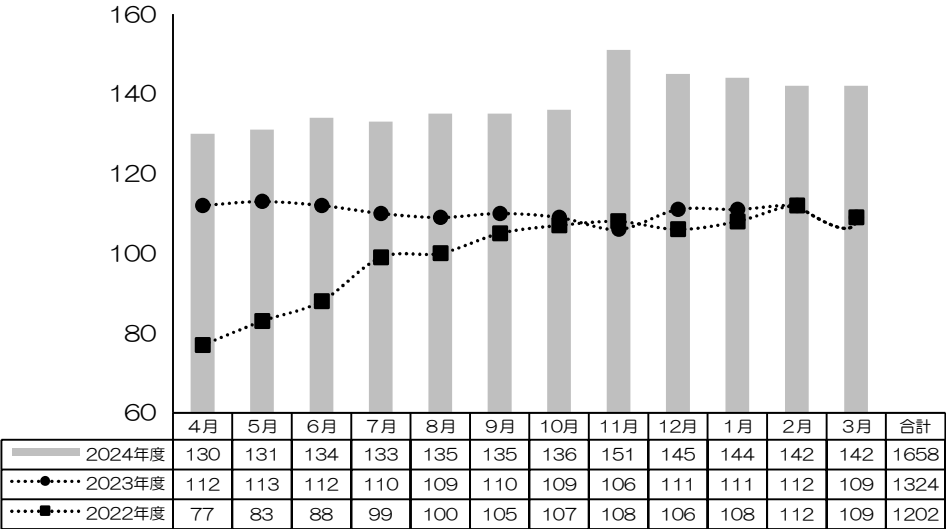
j. 福祉用具品目別利用傾向

単位：人（延べ）

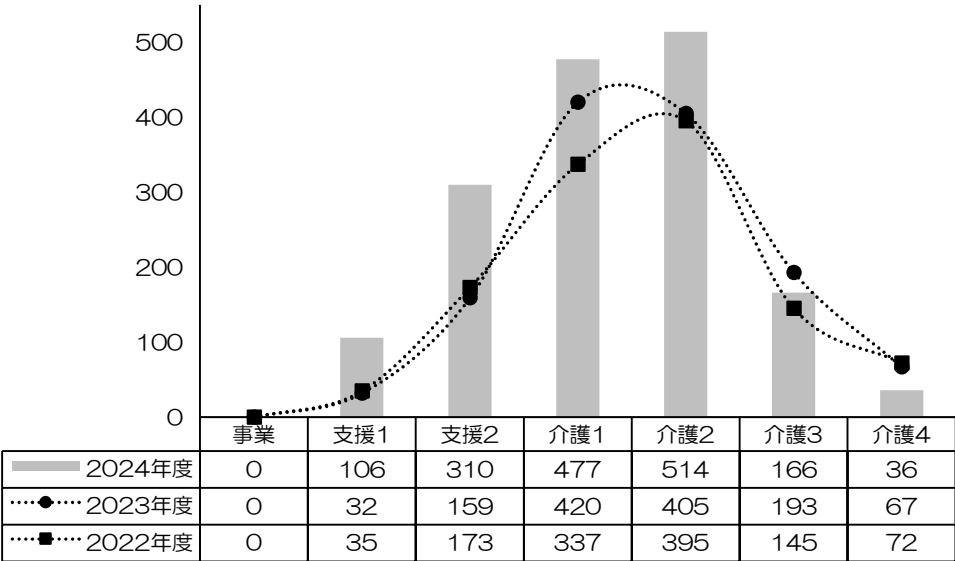
品 目	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
車いす	11	16	41	123	23	16	37	267
車いす附属品	11	0	0	21	0	10	10	52
特殊寝台	0	31	5	264	59	25	34	418
特殊寝台附属品	0	31	5	266	57	23	46	428
床ずれ防止用具	0	0	0	3	14	1	13	31
体位変換器	0	0	0	0	0	0	13	13
手すり	0	101	60	215	70	10	6	462
スロープ	0	12	6	4	6	0	13	41
歩行器	7	124	43	208	63	15	0	460
歩行補助つえ	0	72	126	43	24	4	0	269
徘徊感知機器	0	0	0	2	1	1	0	4
移動用リフト	0	11	0	12	0	0	0	23
自動排泄処理装置	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	29	398	286	1161	317	105	172	2468

k. 給付管理実績

月別



介護度別



自法人併設サービス別（利用実績単位数）

施設/月	4月	5月	6月	7月	第 一 期
DSモモ	113269	98764	80285	84321	376939
SSモモ	41638	28981	6600	27631	104850
DSピノ	50977	55516	55653	68085	230231
SSピノ	68724	45331	35545	7321	156921
合 計	274608	228592	178083	187358	868641
施設/月	8月	9月	10月	11月	第 二 期
DSモモ	90115	79906	79453	58837	308311
SSモモ	23271	9960	9518	7318	50067
DSピノ	60159	61434	65554	65517	252664
SSピノ	16186	13950	32569	31353	94058
合 計	189731	165250	187094	163025	705100
施設/月	12月	1月	2月	3月	第 三 期
DSモモ	56749	64813	72312	73264	267138
SSモモ	14144	0	22005	11410	47559
DSピノ	51656	31926	30131	42785	156498
SSピノ	32216	70479	77149	94285	274129
合 計	157765	167218	201597	221744	745324

施 設	年度合計	年度月平均
DSモモ	952,088 単位 (×10.54 円)	79,340 単位 (×10.54 円)
SSモモ	202,476 単位 (×10.66 円)	16,873 単位 (×10.66 円)
DSピノ	642,393 単位 (×10.54 円)	53,532 単位 (×10.54 円)
SSピノ	525,108 単位 (×10.66 円)	43,759 単位 (×10.66 円)
合 計	2,322,065 単位	193,504 単位

- ショートステイの利用が全体的に低下している関係で、2023年度に比べると実績数が減っている。

1. 緊急一時サービス利用

単位：人

	男性	女性	合計
2024年度	0	0	0
2023年度	0	0	0
2022年度	0	0	0

※月毎の申請件数は後述「9. 代行申請」項参照

m. 住宅改修実施

単位：人

	男性	女性	合計
2024年度	2	2	4
2023年度	3	0	3
2022年度	4	3	7

5. 苦情

2024年度の苦情は0件

6. 相談

新規受け入れ相談は、予防以外はほぼ受諾。

その他に大きな相談/支援実施は無し。

7. 実習生受け入れ

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2022年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※特定事業所加算算定（2023年度開始）の要件である「介護支援専門員新任研修」実習生

8. 認定調査

a. 実施数

単位：人

	男性	女性	合計	前年比
2024年度	26	46	72	133.3%
2023年度	27	27	54	54.7%
2022年度	32	62	94	626.6%

b. 依頼保険者

単位：人

	県外	市外	市内	合計
2024年度	0	0	72	72
2023年度	0	0	54	54
2022年度	0	0	94	94

c. 月毎の実施状況

単位：人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在 宅	6	8	5	10	3	5	8	4	5	8	5	5
施 設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	6	8	5	10	3	5	8	4	5	8	5	5
内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	1	4	2	5	0	3	1	4	2	5	5	5
相模原市	5	4	3	5	3	2	7	0	3	3	0	0
市外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

d. 実施者プロフィール

単位：人

介護度	性別	年 齢（ ●●歳代 ）							割合 (%)
		50	60	70	80	90	100	合計	
支援1	男性	0	0	0	2	0	0	2	13.9
	女性	0	0	1	7	0	0	8	
	合計	0	0	1	9	0	0	10	
支援2	男性	0	0	3	0	0	0	3	12.5
	女性	0	0	0	5	1	0	6	
	合計	0	0	3	5	1	0	9	
介護1	男性	0	0	2	4	2	0	8	22.2
	女性	0	0	0	7	1	0	8	
	合計	0	0	2	11	3	0	16	
介護2	男性	0	0	0	4	0	0	4	12.5
	女性	0	0	0	3	2	0	5	
	合計	0	0	0	7	2	0	9	
介護3	男性	0	0	0	1	2	0	3	16.7
	女性	0	0	1	5	3	0	9	
	合計	0	0	1	6	5	0	12	
介護4	男性	0	0	0	2	1	0	4	11.1
	女性	0	0	1	1	3	0	4	
	合計	0	0	1	3	4	0	8	
介護5	男性	0	0	6	1	1	0	2	11.1
	女性	0	0	3	3	1	1	6	
	合計	0	0	9	4	2	1	8	
合計	男性	0	0	6	14	6	0	26	
	女性	0	3	3	31	11	1	46	
	合計	0	3	9	45	17	1	72	
割 合 (%)		0.0	0.0	12.5	62.5	23.6	1.4		

9. 代行申請

a. 介護保険認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
更新	4	5	2	5	1	3	1	6	2	5	5	5
区変	0	0	2	1	1	1	0	3	1	0	3	3
転入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	5	4	6	2	4	1	9	3	6	8	8
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内訳												
自己担当	4	5	4	6	2	4	1	9	3	6	8	8
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：26名・女性：36名・合計：62名

b. 負担限度額認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再申	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内訳												
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

以下は相模原市独自事業

c. 緊急一時入所利用

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2～4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

d. 紙おむつ支給

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名

e. 高齢者等移送サービス

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名



ケアステーションナナ

2018年9月に訪問介護から居宅介護支援へと事業転換し、管理者兼ケアマネジャー1人体制でのスタートから6年半が経過した。

定員を安定させる為、周辺の高齢者支援センターへの挨拶回りから新規依頼の獲得に繋がり、2024年度は上鶴間高齢者支援センターからの新規依頼が頻繁に寄せられた。

介護予防（要支援）委託事業の受諾契約も積極的に受け入れをしており、周辺の高齢者支援センターから徐々に介護予防（要支援）利用者の依頼が増えてきている。

2024年9月にも4地域包括合同の研修会に参加する等、各地域包括との連携が取れるようになってきている。

稼働率は概ね90%超となっており、今後は実績維持・向上のために各高齢者支援センターとの連携と受託範囲の拡大を図っていくが、フレイグランドオリーブナナの入居者を優先的に受託・担当していく方針は継続していく。

1. 利用者の推移

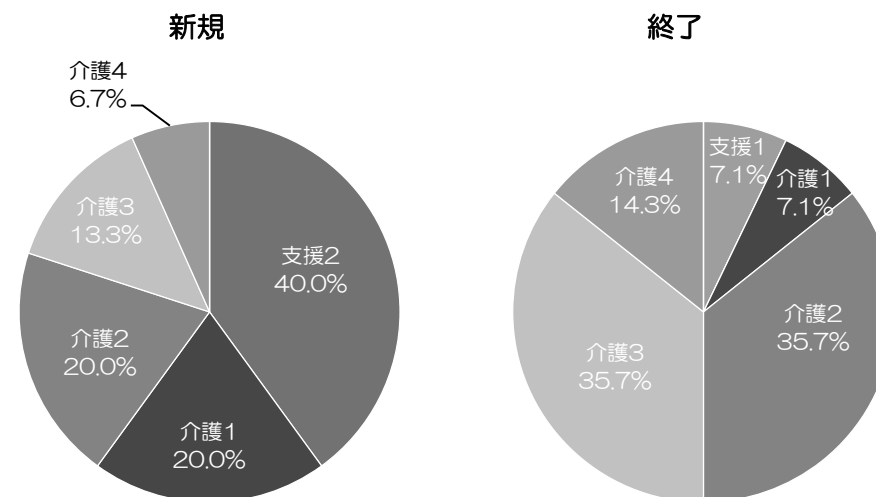
a. 月毎の新規契約・支援終了者

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規契約 15名	1 (2)	0 (1)	2 (0)	2 (1)	1 (3)	1 (2)	3 (2)	1 (0)	1 (1)	3 (1)	1 (1)	0 (1)
支援終了 14名	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (2)	2 (1)	3 (1)	2 (2)	2 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (1)

※（ ）内は前年度数値

b. 介護度別構成



単位：人

介護度	事業 対象	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	平均
新 規	0 (2)	0 (2)	6 (3)	3 (4)	3 (2)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	1.47 (1.16)
終 了	0 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	5 (1)	5 (3)	2 (3)	0 (2)	2.45 (2.95)

※（ ）内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

c. 新規依頼経路

単位：人

経 路	男性	女性	合計
直近地域包括	2	3	5
その他地域包括	4	6	10
市 担 当 課	0	0	0
病院 MSW 等	0	0	0
他 居 宅	0	0	0
他 事 業 所	0	0	0
配偶者等を担当	0	0	0
知 人 紹 介	0	0	0
自 己 検 索	0	0	0
そ の 他	0	0	0
合 計	7	8	15

地域包括：直近地域包括が多いがその他包括からの依頼も多かった。

d. 支援終了理由

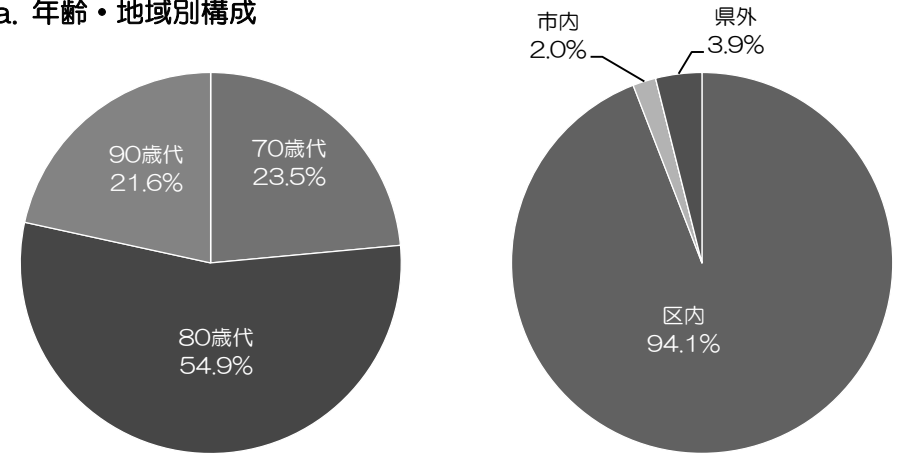
単位：人

理 由	男性	女性	合計
死 亡	2	1	3
認定「自立」	0	0	0
認定「要支援」	0	0	0
施 設 入 所	5	5	10
利 用 者 解 約	0	0	0
事 業 所 解 約	0	0	0
そ の 他	1	0	1
合 計	8	6	14

2. 現員者の状況

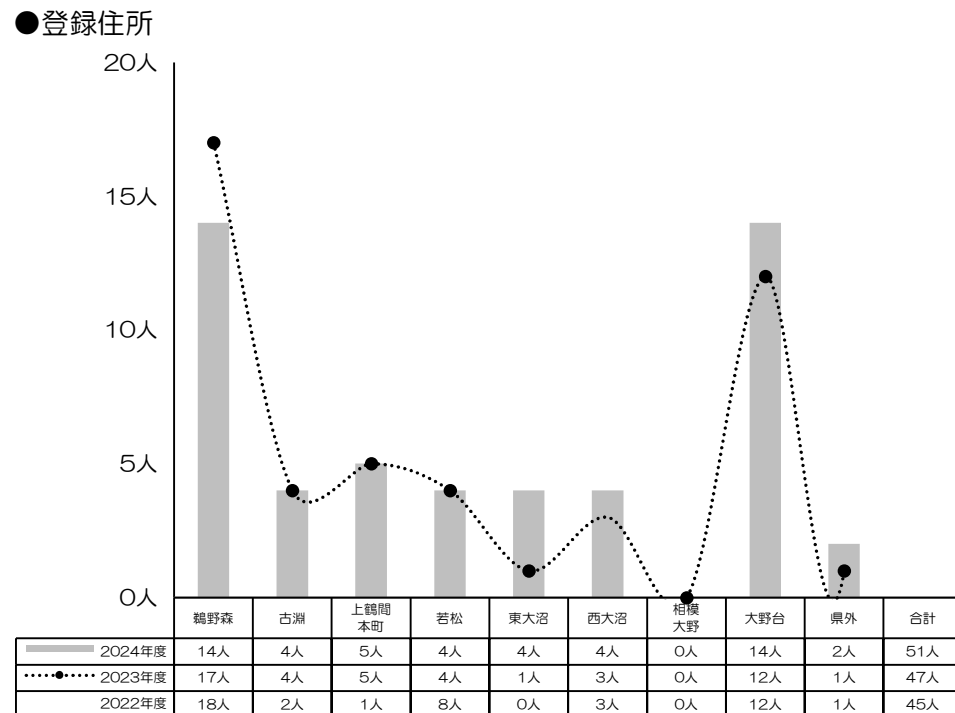
a. 年齢・地域別構成

※2025.03.31 登録者：51 名に対する値



	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	93 歳 0 ヶ月 (91 歳 5 ヶ月)	70 歳 3 ヶ月 (69 歳 1 ヶ月)	82 歳 6 ヶ月 (81 歳 6 ヶ月)
女性	97 歳 6 ヶ月 (96 歳 5 ヶ月)	75 歳 10 ヶ月 (74 歳 10 ヶ月)	85 歳 2 ヶ月 (85 歳 2 ヶ月)
全体	97 歳 6 ヶ月 (96 歳 5 ヶ月)	70 歳 3 ヶ月 (69 歳 1 ヶ月)	84 歳 2 ヶ月 (83 歳 7 ヶ月)

※（ ）内は前年度数値

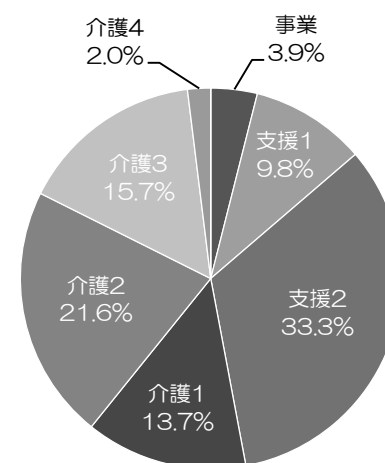


2024年度もほぼ「南区」の方が対象となった。

鶴野森 = 27.45%
古淵 = 7.84%
上鶴間本町 = 9.80%

上記3地区（法人事業展開エリア）で45.10%の割合を占めている。

b. 介護度別構成



- ① 事業対象者/要支援1・2 合計
24人 (47.00%)
- ② 要介護1・2 合計
17人 (35.30%)
- ③ 要介護3・4・5 合計
9人 (17.70%)

介護報酬増加の観点からも、上記③の割合をもう少し増加させたいが、主に担当しているサ高住ナナの入居者は軽介護度が多く、また、その受入れを避ける事が出来ない実情がある。

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	1 (1)	3 (4)	5 (2)	2 (2)	0 (3)	4 (5)	1 (0)	0 (0)	1.32 (1.48)
女性	1 (1)	2 (2)	12 (7)	5 (6)	11 (8)	4 (6)	1 (0)	0 (0)	1.34 (1.47)
合計	2 (2)	5 (6)	17 (9)	7 (8)	11 (11)	8 (11)	2 (0)	0 (0)	1.32 (1.47)

※（ ）内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

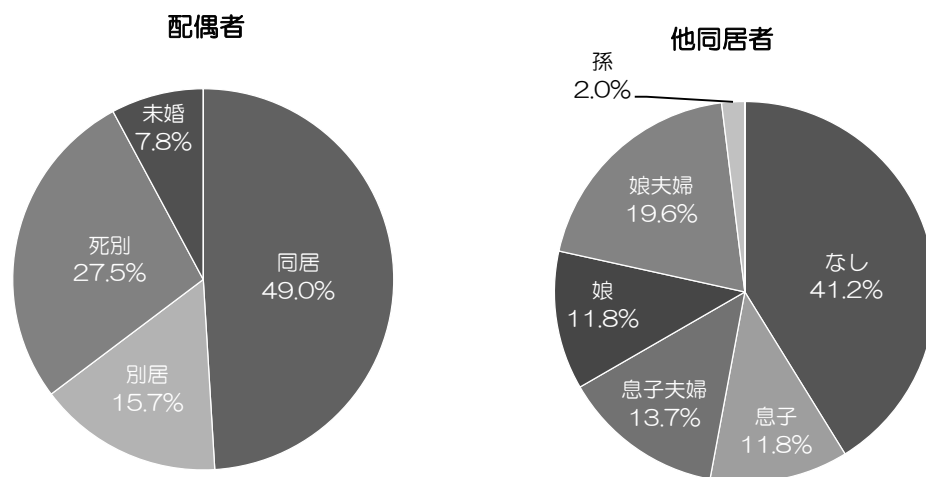
c. 介護保険負担限度額認定

単位：人

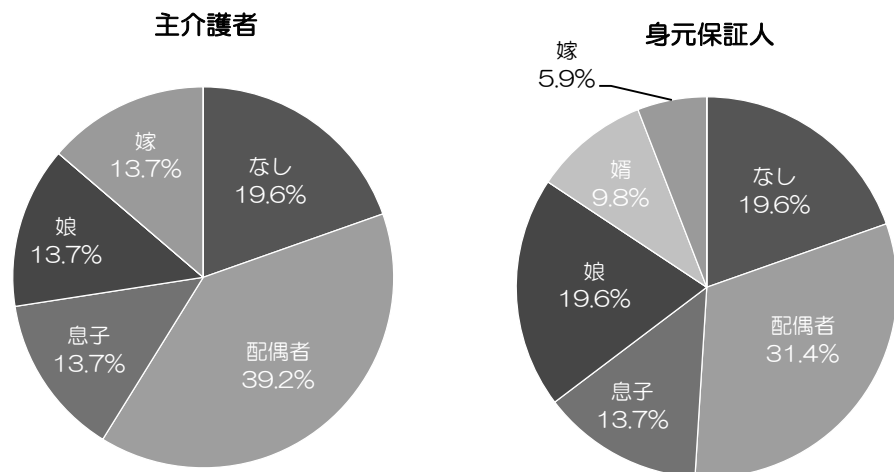
第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階 (含：未申請)	合計
1 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	47 (44)	51 (47)

※（ ）内は前年度数値

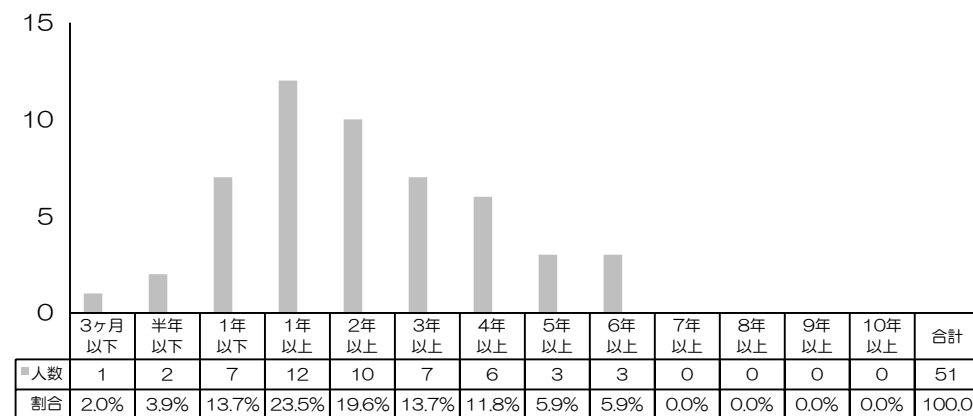
d. 世帯構成



e. 本人支援状況



f. 利用期間



※2018年度9月の事業転換から6年半が経過したところである

g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	不明	合計
男性	3	2	1	10	1	0	0	0	0	17
女性	2	14	2	14	2	0	0	0	0	34
合計	5	16	3	24	3	0	0	0	0	51

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

h. 日常生活動作状況

単位：人

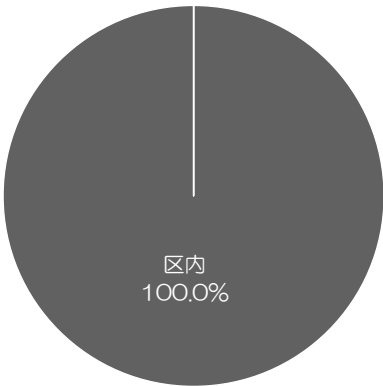
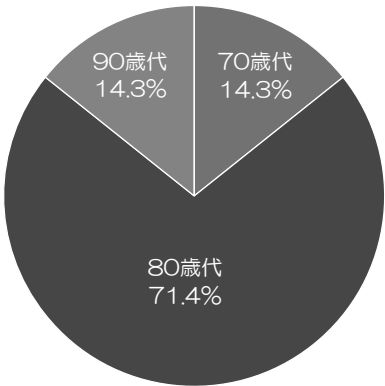
基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	3	2	1	0	10	1	0	0	0	0	17
女性	2	2	14	1	14	1	0	0	0	0	34
合計	5	4	15	1	24	2	0	0	0	0	51

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

3. 終了者の状況

※2024年度終了者：14名に対する値

a. 年齢・地域別構成



●年齢構成 単位：人（延べ） / （ ）内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (0)	2 (2)	5 (3)	1 (1)	0 (0)	8 (6)
女性	0 (0)	0 (0)	0 (2)	5 (3)	1 (1)	0 (0)	6 (6)
全体	0 (0)	0 (0)	2 (4)	10 (6)	2 (2)	0 (0)	14 (12)
二 号	0 (0)	0 (0)					0 (0)

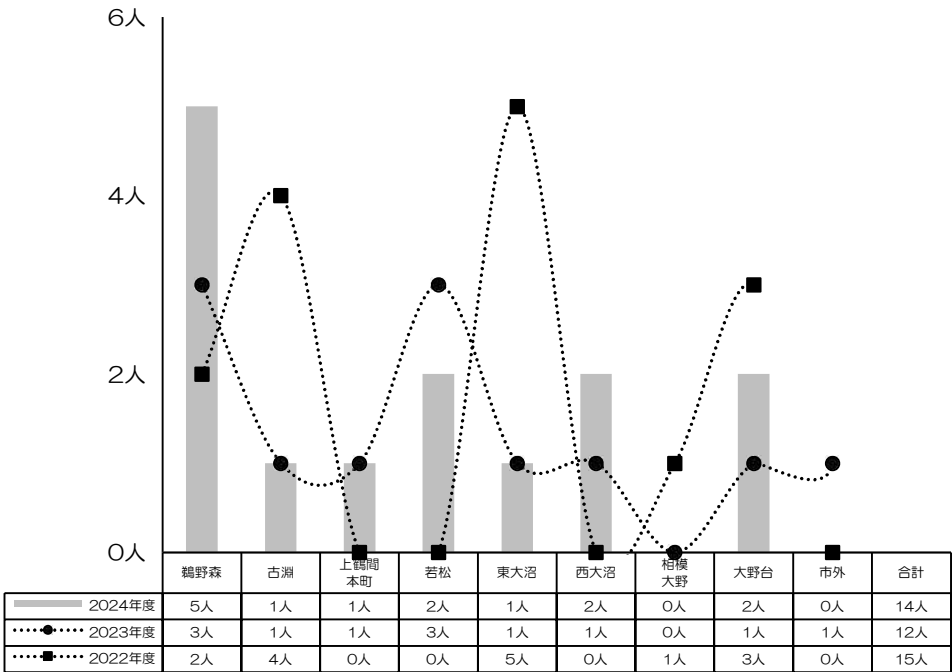
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原市南区	8 (6)	6 (5)	14 (11)
区外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
市外	0 (0)	0 (1)	0 (1)
県外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	8 (6)	6 (6)	14 (12)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	91歳 5ヶ月 (91歳 1ヶ月)	70歳 4ヶ月 (75歳 4ヶ月)	80歳 3ヶ月 (79歳 3ヶ月)
女性	97歳 3ヶ月 (95歳 3ヶ月)	75歳 6ヶ月 (74歳 6ヶ月)	85歳 4ヶ月 (80歳 4ヶ月)
全体	97歳 3ヶ月 (95歳 3ヶ月)	70歳 4ヶ月 (74歳 6ヶ月)	83歳 2ヶ月 (80歳 1ヶ月)

※解約日当日の年齢 / （ ）内は前年度数値

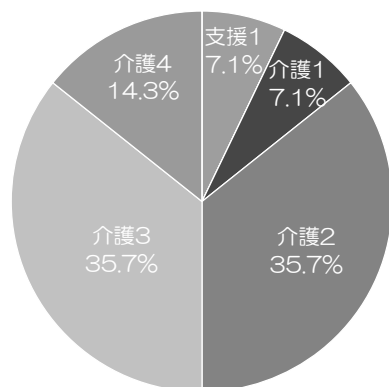
●登録住所



終了者は「南区在住」の方で14名。

開設してから7年(満6年7ヶ月)目となり終了者が増えてきており、今後も積極的に新規を獲得して、実績の低下を防ぐ必要がある。

b. 介護度別構成



- ① 要支援 1・2 合計
1人 (7.1%)
- ② 要介護 1・2 合計
6人 (42.9%)
- ③ 要介護 3・4・5 合計
7人 (50.0%)

単位：人

介護度	事業 対象	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	平均
男 性	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	3 (2)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	2.16 (2.15)
女 性	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	2 (1)	3 (1)	1 (1)	0 (1)	2.83 (3.33)
合 計	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (3)	5 (3)	5 (3)	2 (2)	0 (1)	2.45 (2.44)

※ () 内は前年度数値 / 平均：要支援 1 = 0.25・要支援 2 = 0.50 換算で算出

c. 介護保険負担限度額認定

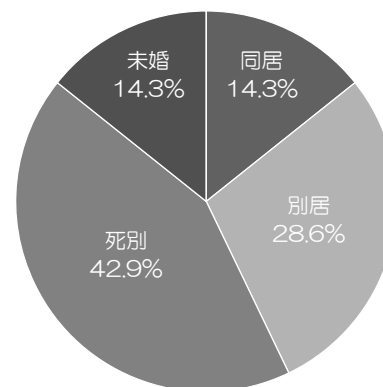
単位：人

第一段階	第二段階	第三段階①	第三段階②	第四段階 (含：未申請)	合計
0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	13 (12)	14 (12)

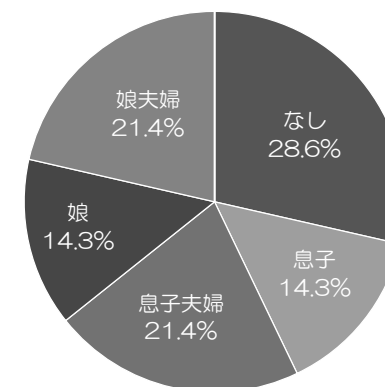
※ () 内は前年度数値

d. 世帯構成

配偶者

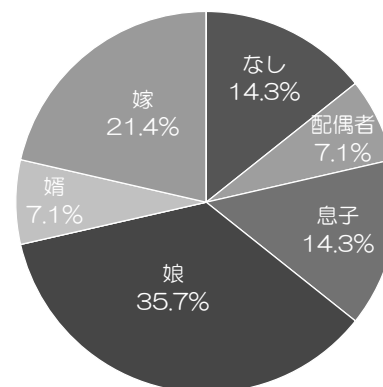


他同居者

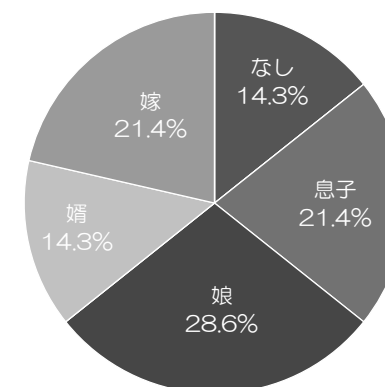


e. 本人支援状況

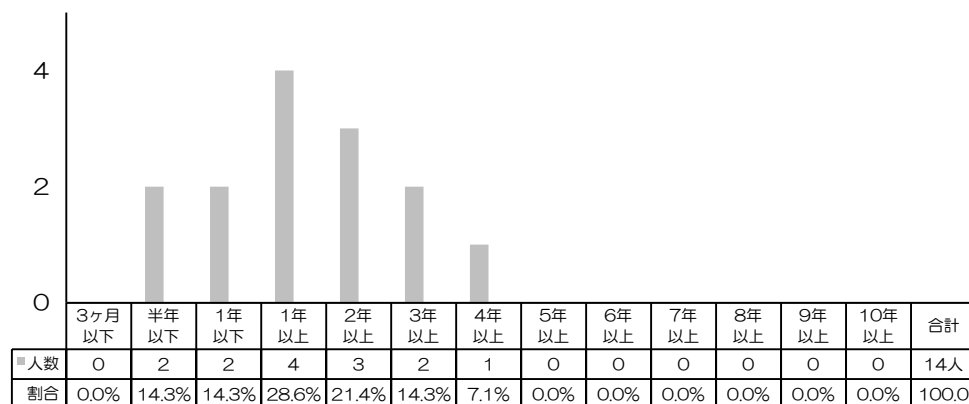
主介護者



身元保証人



f. 利用期間



※2018年度9月の事業転換から6年半が経過したところである

g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	不明	合計
男性	1	0	1	4	2	0	0	0	0	8
女性	0	0	1	1	3	1	0	0	0	6
合計	1	0	2	5	5	1	0	0	0	14

h. 日常生活動作状況

単位：人

基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	0	0	1	1	2	3	1	0	0	0	8
女性	0	0	0	1	1	3	1	0	0	0	6
合計	0	0	1	2	3	6	2	0	0	0	14

4. 介護サービス展開状況 ※2024年度利用者延べ：54名に対する値

a. ケアプラン（居宅サービス計画書）作成

単位：件

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	3	4	4	5	5	5	5	5	5	4	5	4	54
B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	3	4	4	5	5	5	5	5	5	4	5	4	54

b. サービス担当者会議

単位：回

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	3	4	4	5	5	5	5	5	5	4	5	4	54
B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	3	4	4	5	5	5	5	5	5	4	5	4	59

c. 関連事業所

単位：事業所（数）

	通所介護	福祉用具	訪問介護	短期入居	訪問看護	通所リハ	訪問入浴
事業所	20	8	8	4	4	1	0

d. 個人別契約事業所

単位：人

	利用なし	1事業所	2事業所	3事業所	4事業所	5事業所超
事業	0	2	0	0	0	0
支援1	0	3	2	0	0	0
支援2	0	5	10	2	0	0
介護1	0	1	4	2	0	0
介護2	0	0	5	6	0	0
介護3	0	1	3	3	1	0
介護4	0	0	1	0	0	0
介護5	0	0	0	0	0	0
合 計	0	12	25	13	1	0

e. 複数サービス利用

単位：人

	利用なし	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類超
事業	0	2	0	0	0	0
支援1	0	3	2	0	0	0
支援2	0	5	10	2	0	0
介護1	0	1	4	2	0	0
介護2	0	0	5	6	0	0
介護3	0	1	3	3	1	0
介護4	0	0	1	0	0	0
介護5	0	0	0	0	0	0
合 計	0	12	25	13	1	0

f. 自法人併設サービス利用（契約数）

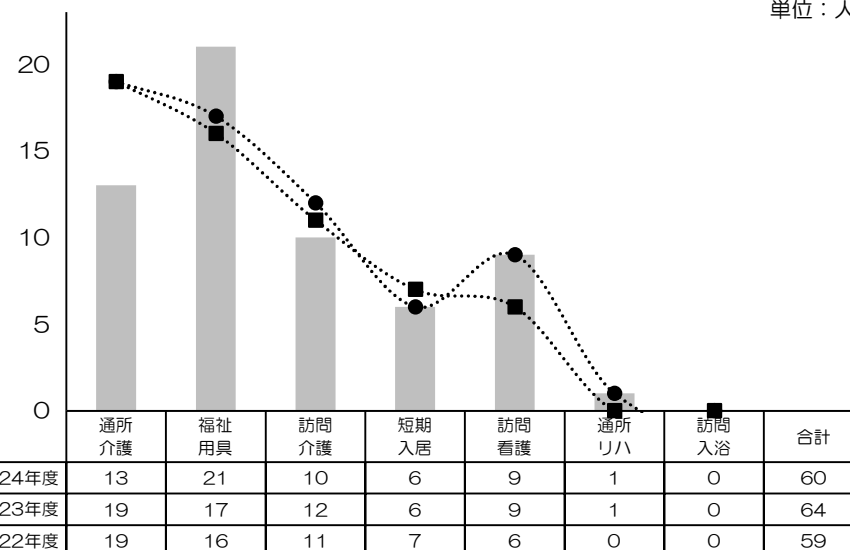
単位：人

施 設	MOMO						PINO			
	特養		SS	DS	ケア		特養		SS	DS
	申	入			申	入	申	入		
2024年度	2	1	1	2	0	0	2	1	3	3
2023年度	1	0	0	2	0	0	1	0	3	7
2022年度	1	1	0	3	0	0	2	2	4	0

※申＝入居申込のみ ※入＝入居（特養の場合はそれを理由に契約終了となった者）

g. 種類別サービス利用件数

単位：人



h. 月別サービス利用

単位：人

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	13	14	12	14	15	15	14	14	13	13	10	10	157
福祉用具	22	23	24	23	21	20	22	23	22	21	18	14	253
訪問介護	13	13	12	11	12	9	11	10	11	10	8	6	126
短期入居	2	2	2	2	2	2	3	3	4	3	3	3	29
訪問看護	2	2	2	2	4	5	7	7	6	7	7	7	58
通所リハ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

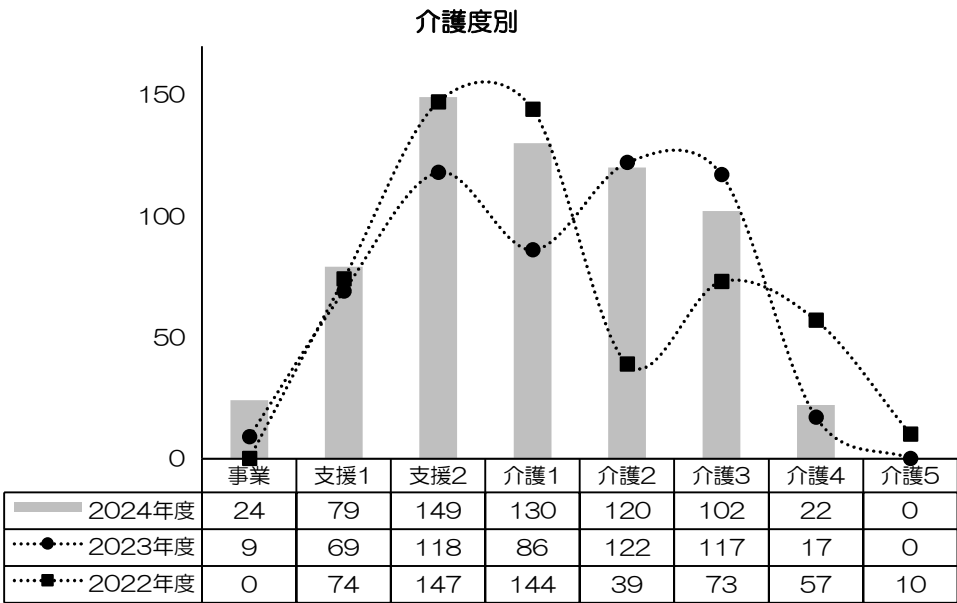
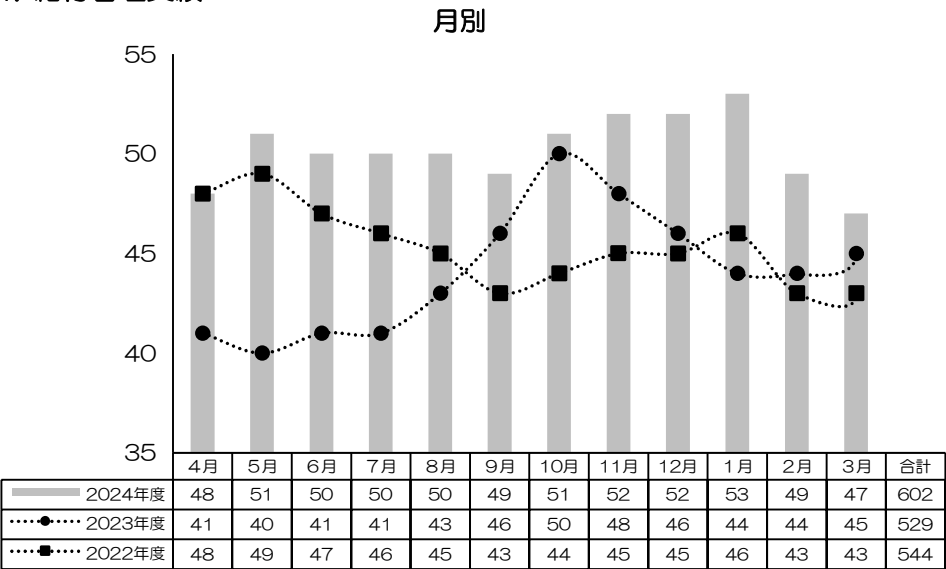
i. 介護度別サービス利用

単位：人（延べ）									
種 類	総合事業	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
通所介護	2	4	10	6	6	6	1	0	35
福祉用具	0	3	6	6	7	7	0	0	29
訪問介護	0	1	3	4	4	4	1	0	17
短期入居	0	0	0	0	2	2	0	0	4
訪問看護	0	0	2	2	1	2	0	0	7
通所リハ	0	0	0	0	1	0	0	0	1
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0

j. 福祉用具品目別利用傾向

単位：人（延べ）								
品 目	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
車いす	0	0	0	1	2	0	0	3
車いす附属品	0	0	0	1	2	0	0	3
特殊寝台	0	0	0	4	4	0	0	8
特殊寝台附属品	0	0	0	4	4	0	0	8
床ずれ防止用具	0	0	0	1	1	0	0	2
体位変換器	0	0	0	0	0	0	0	0
手すり	2	1	2	2	4	0	0	11
スロープ	0	0	0	1	1	0	0	2
歩行器	0	1	2	1	1	0	0	4
歩行補助つえ	1	1	2	1	1	0	0	6
徘徊感知機器	0	0	0	0	0	0	0	0
移動用リフト	0	0	0	0	0	0	0	0
自動排泄処理装置	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	3	3	6	16	19	0	0	47

k. 給付管理実績



自法人併設サービス別（利用実績単位数）

施設/月	4月	5月	6月	7月	第 一 期
DSモモ	20746	21639	18884	16518	77787
SSモモ	0	0	0	0	0
DSピノ	55441	67200	59514	59146	241301
SSピノ	15896	13950	14274	37218	81338
合 計	92083	102789	92672	112882	400426
施設/月	8月	9月	10月	11月	第 二 期
DSモモ	16095	16725	25666	29595	88081
SSモモ	0	0	0	0	0
DSピノ	40062	45897	49244	42250	177453
SSピノ	101501	62567	13676	69038	246782
合 計	141563	125189	88586	140883	512316
施設/月	12月	1月	2月	3月	第 三 期
DSモモ	22444	17047	7520	2994	50005
SSモモ	0	0	0	28785	28785
DSピノ	45259	47490	29138	31357	153244
SSピノ	18411	8248	8248	25541	60448
合 計	86114	72785	44906	88677	292482

施 設	年度合計	年度月平均
DSモモ	215873 単位 (×10.54 円)	17989 単位 (×10.54 円)
SSモモ	28785 単位 (×10.66 円)	2398 単位 (×10.66 円)
DSピノ	571998 単位 (×10.54 円)	47666 単位 (×10.54 円)
SSピノ	388568 単位 (×10.66 円)	32380 単位 (×10.66 円)
合 計	1205224 単位	100433 単位

●コミュニティセンターピノとショートステイピノの実績は安定傾向が見られている。

1. 緊急一時サービス利用

単位：人

	男性	女性	合計
2024年度	0	0	0
2023年度	0	0	0
2022年度	0	0	0

※月毎の申請件数は後述「8. 代行申請」項参照

m. 住宅改修実施

単位：人

	男性	女性	合計
2024年度	0	0	0
2023年度	0	0	0
2022年度	0	0	0

5. 苦情

2024年度の苦情は0件

6. 相談

新規担当希望は基本的に全て受諾。（入院中の死亡やキャンセルはあり）
その他に大きな相談/支援実施は特になし。

7. 認定調査

a. 実施数

単位：人

	男性	女性	合計	前年比
2024年度	6	4	10	71.4%
2023年度	3	11	14	56.0%
2022年度	6	19	25	—

b. 依頼保険者

単位：人

	県外	市外	市内	合計
2024年度	3	0	7	10
2023年度	2	1	11	14
2022年度	1	0	24	25

c. 月毎の実施状況

単位：人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在 宅	1	0	0	1	3	1	0	1	0	1	1	1
施 設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	0	0	1	3	1	0	1	0	1	1	1
内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	1	0	0	0	2	1	0	1	0	0	1	1
相模原市	1	0	0	0	2	1	0	1	0	0	1	1
市外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外依頼	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0

※2022年度より自法人及び自己担当の調査を開始

d. 実施者プロフィール

単位：人

介護度	性別	年 齢（ ●●歳代 ）							割合 (%)
		50	60	70	80	90	100	合計	
支援1	男性	0	0	1	0	1	0	2	30.0
	女性	0	0	0	1	0	0	1	
	合計	0	0	1	1	1	0	3	
支援2	男性	0	0	0	0	0	0	0	10.0
	女性	0	0	0	1	0	0	1	
	合計	0	0	0	1	0	0	1	
介護1	男性	0	0	1	0	0	0	1	20.0
	女性	0	0	0	1	0	0	1	
	合計	0	0	1	1	0	0	2	
介護2	男性	0	0	0	1	0	0	1	10.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	1	0	0	1	
介護3	男性	0	0	0	1	0	0	1	30.0
	女性	0	0	0	1	0	1	2	
	合計	0	0	0	2	0	1	3	
介護4	男性	0	0	0	0	0	0	0	00.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	
介護5	男性	0	0	0	0	0	0	0	00.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	
合計	男性	0	0	2	2	1	0	5	
	女性	0	0	0	4	0	1	5	
	合計	0	0	2	6	1	1	10	
割 合 (%)		0.0	0.0	20.0	60.0	10.0	10.0		

8. 代行申請

a. 介護保険認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
更新	1	1	2	0	1	1	0	1	2	0	2	0
区変	1	0	1	2	0	2	0	1	0	0	3	4
転入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	1	3	2	1	3	0	2	2	0	5	4
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内訳												
自己担当	2	1	2	2	1	3	0	2	2	0	5	4
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：10名・女性：15名・合計：25名

b. 負担限度額認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再申	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内訳												
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

以下は相模原市独自事業

c. 緊急一時入所利用

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2～4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

d. 紙おむつ支給

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名

e. 高齢者等移送サービス

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名

C ommittees

委員会活動

2024年度は、高齢者福祉施設全拠点（モモ・ピノ・ナナ）において感染症発症事例が生じ、開催予定の一部中止を余儀なくされる結果となり、年間計画に基づく有意義な会議・委員会の開催には至らなかった。

社外研修については、世間の新型コロナウイルス感染症への対策も進み、年度を通してオンライン開催などへ参加することができたが、現地集合型の外部研修については、引き続き参加を見送る結果となる場面が多かった。

1. 高齢管理者会議

開 催：毎月第3金曜日（休日の場合変更調整）

内 容：意見交換および各部署課題に対する検討等

構成員：施設長・副施設長・特養課長・居宅課長・各介護リーダー職・
看護師・相談員・介護支援専門員・栄養士

年度を通して安定した介護職員の確保が難しく、特に老人ホームの管理職がその穴埋めにシフトに入る頻度が高く、ほぼ未開催となってしまった。
介護職員のみならず、看護師も含む現場の人材確保が今後も急務である。

2. 事故防止対策委員会

2024年度は事故総数172件で、前年比82.7%と減少。

※行政機関への事故報告については相模原市指針に則り対応した

事故再発防止対策を密に行ない、心身状態から発生するインシデントの分析を確実に把握し、事故防止に役立てていく。

2025年度も事故防止の基本であるリスクマネジメントを念頭に置いての見守り・巡回の徹底・職員の意識改革を通して、未然に防ぐことの出来る事故の発生減少に努める。

①特別養護老人ホームモモ

事故総数：103件（前年比 95.4%：減少）

インシデント：143件（前年比 264.8%：増加）

自力移動時の事故が全体の9割程を占めており、夕方と朝方に多発している傾向にある。

夕方に関しては認知症による不穏症状の出やすい時間帯であり、朝方は職員数が少ない事もあり起床後から朝食時までの時間帯で事故が多発している状況である。

特定の独歩可能な徘徊者の自力移動時の事故が非常に多く、事故防止の為には一層のリスクマネジメントを要する。

移乗介助時の事故や誤薬等の介助時による事故も数件見られており、防ぐ事が可能な事故と考えられる為、日頃より介助方法の見直しや服薬介助に関する数名でのチェックの徹底等が必要である。

②デイサービスセンターモモ

事故総数：5件（前年比 62.5%：減少）

インシデント：29件（前年比 82.9%：減少）

事故総数も減少しており前年度4件発生の車両事故も0件である。施設外徘徊1件は施設敷地内駐車場にて無事に発見できたが、以前よりリスクは把握できており、未然防止対策の徹底が必要である。

③ケアハウスモモ

事故総数：13件（前年比 130.0%：増加）

転倒事故が6件・転落事故3件と自力移動時の事故が大半を占めている。

内2件が転倒骨折事故であり、大きな事故へ繋がってしまっている入居者の日頃のADL把握を行ない、多方面へのリスクマネジメントに努める必要がある。

④コミュニティホームピノ

事故総数：50件（前年比 63.7%：減少）

インシデント：6件（前年比 75.0%：減少）

転倒による骨折の入院は3件で、昨年より2件増加してしまった。

同じ方が転倒を繰り返す事も相変わらず多く、3名が4回、1名は3回転倒しており、認知症の進行もあり、自身の歩行能力が低下している事に対する認識が薄く、歩こうとして立ち上がった際に転倒している。

できるだけ行動を把握し事故防止に努めてはいるが、転倒回避に間に合わない状況もある為、有効な予防策の立案が継続した課題である。

インシデント提出数は変わらず少なく、職員がその事象をインシデントとして捉える事ができているかという意識の問題と、ケアを良くしていこうという気持ちの有無が大きく関わっている。

⑤コミュニティセンターピノ

事故総数：1件

インシデント：0件

件数が少ない大きな要因は、稼働率の低さにある。

事故1件の内容は入浴介助中の事故であり、防げた事故でもある。

介護技術の向上を念頭に置きつつ、プログラム中の事故などにも十分配慮していく必要がある。

●事故の内容・傾向

a. 特別養護老人ホームモモ（短期入所含む）

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動介助時								1						
自力移動時	6	1	5	5	5	5	6	3	4	7	10		2	2
排泄介助時														
自力排泄時														2
食事介助時														
自力摂取時									1					
入浴介助時														
自力入浴時														
誤 薬														
原 因 不 明														
そ の 他							1							1
合 計	6	1	5	5	5	5	7	4	4	8	10		2	5

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'24年	'23年	'22年
移動介助時										2	3	3	4
自力移動時	3	2	1	2	1	2	3	5	2	8	90	89	57
排泄介助時								1			1	1	2
自力排泄時							1				3	0	0
食事介助時											0	1	1
自力摂取時											1	0	0
入浴介助時											0	0	1
自力入浴時											0	0	0
誤 薬									1	1	2	9	3
原 因 不 明											0	0	0
そ の 他									1		3	5	7
合 計	3	2	1	2	1	2	4	6	4	11	103	108	75

インシデント集計（短期入所含む）

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動関連		1				4	1	2	3	3	3	3	4	3
移乗関連	1	2	1	1		1		3				1	1	
排泄関連	1				1				1			3	1	
食事関連	3		1	1	4		1	3	2	2	5	3		
入浴関連														
その他	1	1	1	1	1	2	2	1	3		3	2	2	1
環境不備							1				1			
薬関連				1	1					1	2			
合 計	6	4	3	4	7	7	5	9	9	6	14	12	8	4

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'24年	'23年	'22年
移動関連	3		2	1	3	2	5	4	3		50	24	26
移乗関連	1		1								13	2	4
排泄関連			1	1	2		2	1	1		15	8	4
食事関連								2	1		28	3	6
入浴関連											0	0	0
その他					1	1	1		3	1	28	8	32
環境不備			1								3	4	13
薬関連										1	6	5	13
合 計	4	0	5	2	6	3	8	5	9	3	143	54	90

b. コミュニティホームピノ（短期入所含む）

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動介助時					1			1			1			
自力移動時	1			1			4	5	1	4	4	2	1	1
排泄介助時												1		
自力排泄時														
食事介助時														
自力摂取時														
入浴介助時						1								
自力入浴時														
誤 薬	1													
原因不明		1		1	1	1								
そ の 他	1	3									1	1	1	
合 計	3	4	0	2	2	2	4	6	1	4	6	4	2	1

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'24年	'23年	'22年
移動介助時								2	1		6	3	1
自力移動時	2	1	2				2	3	3		37	50	32
排泄介助時			1								2	2	4
自力排泄時											0	0	2
食事介助時											0	0	0
自力摂取時											0	0	0
入浴介助時											1	5	2
自力入浴時											0	0	0
誤 薬											1	2	1
原因不明	1										5	4	15
そ の 他									1	2	10	15	35
合 計	3	1	3	0	0	0	2	5	5	2	62	81	94

インシデント集計（短期入所含む）

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動関連			1					1						
移乗関連														
排泄関連														
食事関連														
入浴関連														
その他	1					1								
環境不備														
薬関連														
合 計	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'24年	'23年	'22年
移動関連											2	5	5
移乗関連											0	0	1
排泄関連											0	0	0
食事関連											0	1	1
入浴関連											0	0	0
その他									1		3	1	2
環境不備											0	0	1
薬関連									1		1	1	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6	8	10

●事故の内容・傾向

c. デイサービスセンターモモ

単位：回

時 間		9	10	11	12	13	14	15	16	'24 年	'23 年	'22 年
施設内	転 倒			1			2			3	3	1
	その他	1							1	2	1	8
送迎時	転 倒										0	1
	その他										4	4
合 計		1		1			2		1	5	8	14

※事故内訳（施設外徘徊 1 件・施設内転倒 3 件・送迎時車輛事故 0 件・その他 1 件）

※転倒に関しては、すり落ち・転落含む。

d. コミュニティセンターピノ

単位：回

時 間		9	10	11	12	13	14	15	16	'24 年	'23 年	'22 年
施設内	転 倒									0	1	0
	その他			1						1	0	0
送迎時	転 倒									0	0	0
	その他									0	0	0
合 計		0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0

入浴介助中の、事故 1 件。インシデント 0 件。

e. ケアハウスモモ

事故総数は 13 件であった。

【 場 所 】

施 設 内：7 件

施 設 外：6 件

【 内 訳 】

転 倒 ： 6 件（救急搬送 1 件含）
 居室内にて転倒 4 件。（内 1 件：大腿骨頸部骨折入院）
 自転車にて移動中転倒し肋骨骨折。
 食堂にて自力移動時の転倒。

転 落 ： 3 件（救急搬送 1 件含）
 外出先にて段差より転落し救急搬送。
 居室内にてベッドから転落。
 外出先にて階段より転落。

そ の 他 ： 4 件（救急搬送 1 件含）
 蛇口の締め忘れにより漏水。
 外出先にて出血を伴う外傷。
 無断外泊。
 外出先にて死亡。

3. 拘束検討委員会

特別養護老人ホームモモ

毎月の委員会にて身体拘束対応者の検討・見直しを行なった他、必要な可能性のある入居者を話し合うなど検討の場としている。

2024年度は身体拘束実施者はおらず、0名となっている。

コミュニティホームピノ

2024年4月に車椅子からずり落ちてしまった入居者の家族から強い要望があり、1名が車椅子乗車中に安全ベルトを使用している。

拘束実施の背景には「事故の再発予防を防ぎたい」という家族の強い希望がある。

今後も事故のリスクを前提に、本人への対策と共に拘束ゼロに向けた家族への説明（理解）が重要となる。

4. 感染症対策委員会

年2回の全体研修を行ない、全職員を対象として感染症対策を検討・共有している。

3か月毎に委員会を開催し、6月には新型コロナウイルス感染症が施設内で発生した為、臨時でも委員会を開催している。

感染症の一般的基礎知識や高齢者施設におけるリスクを検討し、各部署へ発信することにも努めた。

○検討 / 研修会

2024年 4月 「感染対策委員会」

2024年 6月 「臨時委員会」

2024年 7月 全体研修「感染症/食中毒について」

2024年 7月 「感染対策委員会」

2024年 10月 「感染対策委員会」

2025年 1月 全体研修「感染症対策について」

2025年 1月 「感染対策委員会」

5. 褥瘡対策委員会

3か月に1回の委員会で、利用者の褥瘡予防対策や排泄形態・体位交換・栄養・処療法等をあらゆる角度から検討し、発症者の経過や対策を検討することを実施した。

○褥瘡発症者

特別養護老人ホームモモ

A. 日常的な処置が必要なレベル：0名

病院受診が必要なレベルではないが、日常的に、処置を行っている。

B. 表皮剥離レベル・軽度の褥瘡：11名

病院受診が必要なレベルではないが、注意が必要。

そのままでは、褥瘡になる危険性がある。体位交換や処置を行っている。改善と、発生を繰り返している状態。

C. 観察・注意が必要なレベル：10名

褥瘡まではいかないが、そのままでは褥瘡になってしまう危険性のある状態や、表皮剥離レベル。

コミュニティホームピノ

A. 日常的な処置が必要なレベル：2名

病院受診が必要なレベルではないが、軟膏による処置を実施。

B. 軽度の褥瘡：3名

C. 観察・注意が必要なレベル：9名

褥瘡まではいかないが、そのままでは褥瘡になってしまう危険性のある状態や、表皮剥離レベル。

体位変換適宜実行。

6. 食中毒対策委員会

栄養士が中心となり、関係職において下記の内容について予防策の周知、徹底を図った。（給食会議代替の場合もあり）

○検討 / 講習会

- 2024年 5月 「最近の食中毒発生状況」
「施設での食中毒対策」
- 2024年 8月 「最近の食中毒発生事例」
「施設での食中毒対策」
- 2024年 11月 「最近の食中毒発生事例」
「施設での食中毒対策」
- 2025年 2月 「最近の食中毒発生事例」
「施設での食中毒対策」

7. 看取り実施委員会

特別養護老人ホームモモ・コミュニティホームピノの入居者のうち、終末期 22 名（モモ 21 名・ピノ 1 名）に対して看取りを行なった。

協力医療機関や葬儀社など、関係機関との事前連絡や相談を行なうことにより、円滑な看取りを提供する事が出来ている。

しかし、看取り介護計画書の作成をはじめとした諸条件は満たせず、加算取得は未達成となってしまった。

入居者の状態低下がみられている事で、今後も看取り対象者の増加が予想できる為、その都度、各関係機関との連携・相談を行なっていき、引き続き円滑な看取りが継続されるように努めていく。

8. 運営推進会議（地域密着型施設）

新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、出席予定者の招集開催を見送り、議事録に「施設の現況報告」のみ記述し送付にて代替えとした。

開催目的 : 地域との連携を確保し、地域に開かれた運営をする。

対象施設 : 地域密着型施設（ピノ拠点）

※通所介護は対象外だが施設周知も兼ねて職員は出席予定

開催頻度 : 2 ヶ月に 1 回以上

出席予定者：利用者および利用者家族代表

地域住民の代表者（自治会長・長寿会長）

地域包括支援センター職員

施設職員

（施設長・副施設長・施設ケアマネジャー

・生活相談員・地域密着型通所介護管理者）

○議事録送付実績

- 2024年 5月
- 2024年 7月
- 2024年 9月
- 2024年 11月
- 2025年 1月
- 2025年 3月

●苦情相談件数集計

各部署の苦情件数を一覧化

※件数＝報告書作成数

施設	部 署	件数	概 要
モ モ	特 養	0	
	S S	0	
	ケ ア	0	
	D S	0	
	栄養室	0	
	事務室	0	
	居 宅	0	
ピ ノ	特 養	0	
	S S	0	
	D S	0	
	栄養室	0	
	事務室	0	
ナ ナ	サ 高	0	
	居 宅	0	
	栄養室	0	

●実習生受入れおよび研修実施状況

a. 実習生受入れ（モモ）

日 程	研修内容	団 体 名	実習者数
新型コロナウイルス感染症の蔓延防止を目的とし 2024年度通して実習生の受入れは中止する			

b. 社外研修（モモ）

日 程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
4月10日	裁判判例に学ぶ介護施設事故の分析と紛争に発展させない予防策	ケアテックスオンライン	Zoom	1
5月23日	その時どうする！？介護・福祉の事故・トラブル対応と予防策	ケアテックスオンライン	Zoom	1
7月 4日	養護・ケアハウス部会情報交換	相模原市高齢者福祉施設協議会	みたけ	2
8月23日	栄養士会研修	相模原市高齢者福祉施設特養部会栄養士会	相模原市市民会館	1
9月26日	令和6年度介護報酬改定について	町田市ケアマネ連絡会	Zoom	1
10月30日	介護現場における高齢者虐待の実態と防止策	ケアテックスオンライン	Zoom	1
10月16日	養護・ケアハウス部会情報交換	相模原市高齢者福祉施設協議会	ケアハウスモモ	2
11月 6日	2024年介護報酬改定の再確認と対策	ケアテックスオンライン	Zoom	1
11月28日	適切なケアマネジメント手法について	町田市ケアマネ連絡会	Zoom	1
12月 1日	介護の日フェア in さがみはら	相模原市高齢者福祉施設協議会	ポーン相模大野コニコムプラザ相模原	1
12月21日	接遇目線で考える組織のマナーアップと働きやすい環境	ケアテックスオンライン	Zoom	1
1月23日	特定給食施設等管理者及び担当者講習会	相模原市保健所健康増進課	Zoom	1
2月17日	養護・ケアハウス部会情報交換	相模原市高齢者福祉施設協議会	ケアハウスはあとびあ	2
2月26日	ICT 機器活用のポイントは「使いこなし」！職員や利用者に還元されるICTの導入とは	ケアテックスオンライン	Zoom	1

b. 社外研修（ピノ）

日 程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
新型コロナウイルス感染症蔓延予防の観点から 2024年度通して外部研修参加は中止する				

b. 社外研修（ナナ）

日 程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
6月25日	感染症の基礎知識	相模原市保健所	ウェルネスさがみはら	1
7月10日	食品衛生責任者講習	相模原市保健所	Web 視聴	1
9月 2日	短期集中予防サービス について	南十字星（4包括合同 研修会）	南保健福祉センター機 能訓練室	1

c.社内研修（全体）

日 程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
4月17日	第145回蒼生塾 「虐待について」	（福）蒼生会 講師 特養課長	ディサービスセンタ ーモモ活動室	9
5月17日	第146回蒼生塾 「事故対策・身体拘束に ついて」	（福）蒼生会 講師 事故対策委員長		10
6月28日	第147回蒼生塾 「2023 年度事業報 告/全体会議」	（福）蒼生会 講師 管理職/各担当		10
7月19日	第148回蒼生塾 「食中毒・感染症対策に ついて」	（福）蒼生会 講師 栄養士		11
9月20日	第149回蒼生塾 「虐待について」	（福）蒼生会 講師 居宅課長		8
10月18日	第150回蒼生塾 BCP（業務継続計画） について	（福）蒼生会 講師 副施設長		10
11月15日	第151回蒼生塾 褥瘡について	（福）蒼生会 講師 デイモモ管理者		8
12月27日	第152回蒼生塾 事故対策・身体拘束につ いて	（福）蒼生会 講師 事故対策委員長		9
1月24日	第153回蒼生塾 感染症対策について	（福）蒼生会 講師 特養課長		7
2月21日	第154回蒼生塾 BCP（業務継続計画） について	（福）蒼生会 講師 施設長		12
3月28日	第155回蒼生塾 「2025 年度事業計 画/全体会議」	（福）蒼生会 講師 管理職/各担当		12

d.海外研修

日 程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
実績なし				

P_{ublic} Relations

パブリック・リレーション

高齢者福祉施設においては、新型コロナウイルス感染症発症時の対応（隔離期間が2類時同様・行政報告の在り方など）に大きな変化はなく「世間一般との温度差」を感じるばかりであり、カシオペア祭のみならず、ボランティアの受入れも含めた外部との関わりの殆どを見送らねばならぬ状況が続いた年度であった。

その対応により新型コロナウイルス感染症ゼロで年度を終える事ができるかと思われたが、規模・期間の差こそあれ感染症が生じてしまい、外部交流活動の再開を目指そうとしていた状況に水を差される事となった。

しかし、外部交流活動の再開については、今後も感染症対策とのバランスを取りながら積極的に取り組んでいく必要がある。

1. 近隣小中学校の総合学習、PTA イベントなどへの協力 中止

2. 介護・看護実習など受け入れ 中止

3. 他施設との交流

交流施設：「モモ/ピノ合同」「東橋本ひまわりホーム」「中の郷」

- ① 風船バレー交流試合：中止
- ② 施設対抗運動会：中止

4. 地域との交流

- ① 鶴野森日枝神社大祭「神酒所」会場貸出
2024年9月8日（日）※特別養護老人ホームモモ駐車場
- ② 近隣自治会の盆踊り大会などへの参加 ※ケアハウス入居者
中止

備考：「カシオペア祭」「神輿見学」実績は法人本部事業報告に記述

Appendix

付 録

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2024年度稼働状況(前年度比較)

特別養護老人ホームモモ (含:空床利用) ※コロナ発生 2024 年 3月 3 日(日) ~ 3月25 日(月)	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日
	定員	62人/日	1860人	1922人	1860人	1922人	1922人	1860人	1922人	1860人	1922人	1922人	1798人	1922人	22692人
	2023実績	在籍	1778人	1869人	1839人	1899人	1907人	1838人	1876人	1836人	1848人	1774人	1586人	1653人	21703人
		入院	1人	8人	2人	9人	37人	17人	29人	68人	49人	55人	38人	58人	371人
		入院率	0.06%	0.43%	0.11%	0.47%	1.94%	0.92%	1.55%	3.70%	2.65%	3.10%	2.40%	3.51%	1.71%
		在園	1777人	1861人	1837人	1890人	1870人	1821人	1847人	1768人	1799人	1719人	1548人	1595人	21332人
		稼働率	95.5%	96.8%	98.8%	98.3%	97.3%	97.9%	96.1%	95.1%	93.6%	89.4%	86.1%	83.0%	94.0%
		空床	83人	61人	23人	32人	52人	39人	75人	92人	123人	203人	250人	327人	1360人
		空床利用	77人	46人	5人	7人	0人	0人	0人	0人	0人	17人	29人	31人	212人
		在園	1854人	1907人	1842人	1897人	1870人	1821人	1847人	1768人	1799人	1736人	1577人	1626人	21544人
		稼働率	99.7%	99.2%	99.0%	98.7%	97.3%	97.9%	96.1%	95.1%	93.6%	90.3%	87.7%	84.6%	94.9%
		完全空床	6人	15人	18人	25人	52人	39人	75人	92人	123人	186人	221人	296人	1148人
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
	定員	62人/日	1860人	1922人	1860人	1922人	1922人	1860人	1922人	1860人	1922人	1922人	1736人	1922人	22630人
	2024実績	在籍	1606人	1749人	1698人	1809人	1821人	1593人	1602人	1578人	1641人	1581人	1455人	1668人	19801人
		入院	31人	30人	13人	33人	31人	49人	31人	10人	68人	53人	16人	4人	369人
		入院率	1.93%	1.72%	0.77%	1.82%	1.70%	3.08%	1.94%	0.63%	4.14%	3.35%	1.10%	0.24%	1.86%
		在園	1575人	1719人	1685人	1776人	1790人	1544人	1571人	1568人	1573人	1528人	1439人	1664人	19432人
		稼働率	84.7%	89.4%	90.6%	92.4%	93.1%	83.0%	81.7%	84.3%	81.8%	79.5%	82.9%	86.6%	85.9%
		空床	285人	203人	175人	146人	132人	316人	351人	292人	349人	394人	297人	258人	3198人
		空床利用	42人	50人	24人	21人	8人	0人	0人	0人	19人	0人	36人	45人	245人
		在園	1617人	1769人	1709人	1797人	1798人	1544人	1571人	1568人	1592人	1528人	1475人	1709人	19677人
		稼働率	86.9%	92.0%	91.9%	93.5%	93.5%	83.0%	81.7%	84.3%	82.8%	79.5%	85.0%	88.9%	87.0%
		完全空床	243人	153人	151人	125人	124人	316人	351人	292人	330人	394人	261人	213人	2953人
	前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		稼働日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	-1日	±0日	-1日
		延べ定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	-62人	±0人	-62人
		在籍	-172人	-120人	-141人	-90人	-86人	-245人	-274人	-258人	-207人	-193人	-131人	+15人	-1,902人
		入院	+30人	+22人	+11人	+24人	-6人	+32人	+2人	-58人	+19人	-2人	-22人	-54人	-2人
		入院率	+1.87%	+1.29%	+0.66%	+1.35%	-0.24%	+2.15%	+0.39%	-3.07%	+1.49%	+0.25%	-1.30%	-3.27%	+0.15%
		在園	-202人	-142人	-152人	-114人	-80人	-277人	-276人	-200人	-226人	-191人	-109人	+69人	-1,900人
		稼働率	-10.9%	-7.39%	-8.17%	-5.93%	-4.16%	-14.89%	-14.36%	-10.75%	-11.76%	-9.94%	-3.20%	+3.59%	-8.14%
		空床	+202人	+142人	+152人	+114人	+80人	+277人	+276人	+200人	+226人	+191人	+47人	-69人	+1,838人
		空床利用	-35人	+4人	+19人	+14人	+8人	±0人	±0人	±0人	+19人	-17人	+7人	+14人	+33人
		在園	-237人	-138人	-133人	-100人	-72人	-277人	-276人	-200人	-207人	-208人	-102人	+83人	-1,867人
		稼働率	-12.7%	-7.2%	-7.2%	-5.2%	-3.7%	-14.9%	-14.4%	-10.8%	-10.8%	-10.8%	-2.7%	+4.3%	-8.0%
		完全空床	+237人	+138人	+133人	+100人	+72人	+277人	+276人	+200人	+207人	+208人	+40人	-83人	+1,805人

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設

2024年度稼働状況(前年度比較)

コミュニティホームピノ (含:空床利用) ※コロナ発生 2024年 1月 2日(火) ～ 1月21日(日)	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日
	定員	29人/日	870人	899人	870人	899人	899人	870人	899人	870人	899人	899人	841人	899人	10614人
	2023実績	在籍	851人	873人	810人	837人	867人	853人	868人	833人	847人	809人	741人	743人	9932人
		入院	15人	34人	61人	13人	5人	32人	35人	30人	59人	93人	51人	56人	484人
		入院率	1.76%	3.89%	7.53%	1.55%	0.58%	3.75%	4.03%	3.60%	6.97%	11.50%	6.88%	7.54%	4.87%
		在園	836人	839人	749人	824人	862人	821人	833人	803人	788人	716人	690人	687人	9448人
		稼働率	96.1%	93.3%	86.1%	91.7%	95.9%	94.4%	92.7%	92.3%	87.7%	79.6%	82.0%	76.4%	89.0%
		空床	34人	60人	121人	75人	37人	49人	66人	67人	111人	183人	151人	212人	1166人
		空床利用	0人	0人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	23人	26人
		在園	836人	839人	752人	824人	862人	821人	833人	803人	788人	716人	690人	710人	9474人
		稼働率	96.1%	93.3%	86.4%	91.7%	95.9%	94.4%	92.7%	92.3%	87.7%	79.6%	82.0%	79.0%	89.3%
		完全空床	34人	60人	118人	75人	37人	49人	66人	67人	111人	183人	151人	189人	1140人
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
	定員	29人/日	870人	899人	870人	899人	899人	870人	899人	870人	899人	899人	812人	899人	10585人
	2024実績	在籍	706人	715人	694人	803人	844人	823人	836人	795人	806人	830人	774人	844人	9470人
		入院	77人	32人	18人	0人	69人	73人	40人	33人	24人	91人	58人	23人	538人
		入院率	10.91%	4.48%	2.59%	0.00%	8.18%	8.87%	4.78%	4.15%	2.98%	10.96%	7.49%	2.73%	5.68%
		在園	629人	683人	676人	803人	775人	750人	796人	762人	782人	739人	716人	821人	8932人
		稼働率	72.3%	76.0%	77.7%	89.3%	86.2%	86.2%	88.5%	87.6%	87.0%	82.2%	88.2%	91.3%	84.4%
		空床	241人	216人	194人	96人	124人	120人	103人	108人	117人	160人	96人	78人	1653人
		空床利用	30人	12人	9人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	13人	64人
		在園	659人	695人	685人	803人	775人	750人	796人	762人	782人	739人	716人	834人	8996人
		稼働率	75.7%	77.3%	78.7%	89.3%	86.2%	86.2%	88.5%	87.6%	87.0%	82.2%	88.2%	92.8%	85.0%
		完全空床	211人	204人	185人	96人	124人	120人	103人	108人	117人	160人	96人	65人	1589人
	前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		稼働日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	-1日	±0日	-1日
		延べ定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	-29人	±0人	-29人
		在籍	-145人	-158人	-116人	-34人	-23人	-30人	-32人	-38人	-41人	+21人	+33人	+101人	-462人
		入院	+62人	-2人	-43人	-13人	+64人	+41人	+5人	+3人	-35人	-2人	+7人	-33人	+54人
		入院率	+9.14%	+0.58%	-4.94%	-1.55%	+7.60%	+5.12%	+0.75%	+0.55%	-3.99%	-0.53%	+0.61%	-4.81%	+0.81%
		在園	-207人	-156人	-73人	-21人	-87人	-71人	-37人	-41人	-6人	+23人	+26人	+134人	-516人
		稼働率	-23.8%	-17.35%	-8.39%	-2.34%	-9.68%	-8.16%	-4.12%	-4.71%	-0.67%	+2.56%	+6.13%	+14.91%	-4.63%
		空床	+207人	+156人	+73人	+21人	+87人	+71人	+37人	+41人	+6人	-23人	-55人	-134人	+487人
		空床利用	+30人	+12人	+6人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	-10人	+38人
		在園	-177人	-144人	-67人	-21人	-87人	-71人	-37人	-41人	-6人	+23人	+26人	+124人	-478人
		稼働率	-20.3%	-16.0%	-7.7%	-2.3%	-9.7%	-8.2%	-4.1%	-4.7%	-0.7%	+2.6%	+6.1%	+13.8%	-4.3%
		完全空床	+177人	+144人	+67人	+21人	+87人	+71人	+37人	+41人	+6人	-23人	-55人	-124人	+449人

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2024年度稼働状況(前年度比較)

ショートステイモモ (除:空床利用) ※コロナ発生 2024 年 3月 3日(日) ～ 3月25日(月)	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日
	定員	8人/日	240人	248人	240人	248人	248人	240人	248人	240人	248人	248人	232人	248人	2928人
	2023実績	利用	75人	46人	124人	184人	171人	159人	163人	139人	128人	170人	134人	105人	1598人
		最多人数	4人	5人	7人	7人	7人	7人	7人	7人	5人	8人	6人	5人	-
		最小人数	1人	0人	2人	5人	4人	4人	3人	3人	3人	4人	3人	3人	-
		平均人数	2.5人	1.5人	4.1人	5.9人	5.5人	5.3人	5.3人	4.6人	4.1人	5.5人	4.6人	3.4人	4.4人
		稼働率	31.3%	18.5%	51.7%	74.2%	69.0%	66.3%	65.7%	57.9%	51.6%	68.5%	57.8%	42.3%	54.6%
		空床	165人	202人	116人	64人	77人	81人	85人	101人	120人	78人	98人	143人	1330人
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
	定員	8人/日	240人	248人	240人	248人	248人	240人	248人	240人	248人	248人	224人	248人	2920人
	2024実績	利用	122人	76人	79人	116人	124人	135人	121人	125人	106人	102人	138人	195人	1439人
		最多人数	6人	4人	4人	5人	5人	5人	5人	5人	4人	4人	7人	7人	-
		最小人数	2人	1人	1人	2人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	4人	4人	-
		平均人数	4.1人	2.5人	2.6人	3.7人	4人	4.5人	3.9人	4.2人	3.4人	3.3人	4.9人	6.3人	4人
		稼働率	50.8%	30.6%	32.9%	46.8%	50.0%	56.3%	48.8%	52.1%	42.7%	41.1%	61.6%	78.6%	49.3%
		空床	118人	172人	161人	132人	124人	105人	127人	115人	142人	146人	86人	53人	1481人
	前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		稼働日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	-1日	±0日	-1日
		延べ定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	-8人	±0人	-8人
		利用	+47人	+30人	-45人	-68人	-47人	-24人	-42人	-14人	-22人	-68人	+4人	+90人	-159人
		最多人数	+2人	-1人	-3人	-2人	-2人	-2人	-2人	-2人	-1人	-4人	+1人	+2人	-
		最小人数	+1人	+1人	-1人	-3人	-1人	-1人	±0人	±0人	±0人	-1人	+1人	+1人	-
		平均人数	+1.6人	+1.0人	-1.5人	-2.2人	-1.5人	-0.8人	-1.4人	-0.4人	-0.7人	-2.2人	+0.3人	+2.9人	-0.4人
		稼働率	+19.6%	+12.1%	-18.8%	-27.4%	-19.0%	-10.0%	-16.9%	-5.8%	-8.9%	-27.4%	+3.8%	+36.3%	-5.3%
		空床	-47人	-30人	+45人	+68人	+47人	+24人	+42人	+14人	+22人	+68人	-12人	-90人	+151人

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2024年度稼働状況(前年度比較)

ショートステイピノ (除:空床利用) ※コロナ発生 2024年 1月 2日(火) ～ 1月21日(日)	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日
	定員	10人/日	300人	310人	300人	310人	310人	300人	310人	300人	310人	310人	290人	310人	3660人
	2023実績	利用	145人	192人	179人	189人	232人	183人	226人	197人	172人	122人	223人	226人	2286人
		最多人数	7人	9人	10人	10人	10人	8人	10人	9人	8人	8人	10人	10人	-
		最小人数	3人	3人	3人	3人	4人	4人	5人	4人	3人	1人	5人	4人	-
		平均人数	4.8人	6.2人	6人	6.1人	7.5人	6.1人	7.3人	6.6人	5.5人	3.9人	7.7人	7.3人	6.3人
		稼働率	48.3%	61.9%	59.7%	61.0%	74.8%	61.0%	72.9%	65.7%	55.5%	39.4%	76.9%	72.9%	62.5%
		空床	155人	118人	121人	121人	78人	117人	84人	103人	138人	188人	67人	84人	1374人
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
	定員	10人/日	300人	310人	300人	310人	310人	300人	310人	300人	310人	310人	280人	310人	3650人
	2024実績	利用	127人	176人	163人	173人	203人	205人	179人	184人	154人	209人	203人	265人	2241人
		最多人数	7人	10人	8人	10人	10人	10人	9人	9人	8人	10人	10人	10人	-
		最小人数	1人	2人	2人	2人	4人	4人	1人	3人	3人	3人	5人	6人	-
		平均人数	4.2人	5.7人	5.4人	5.6人	6.5人	6.8人	5.8人	5.9人	5人	6.7人	7.3人	8.5人	6.1人
		稼働率	42.3%	56.8%	54.3%	55.8%	65.5%	68.3%	57.7%	61.3%	49.7%	67.4%	72.5%	85.5%	61.4%
		空床	173人	134人	137人	137人	107人	95人	131人	116人	156人	101人	77人	45人	1409人
	前年度 比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		稼働日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	-1日	±0日	-1日
		延べ定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	-10人	±0人	-10人
		利用	-18人	-16人	-16人	-16人	-29人	+22人	-47人	-13人	-18人	+87人	-20人	+39人	-45人
		最多人数	±0人	+1人	-2人	±0人	±0人	+2人	-1人	±0人	±0人	+2人	±0人	±0人	-
		最小人数	-2人	-1人	-1人	-1人	±0人	±0人	-4人	-1人	±0人	+2人	±0人	+2人	-
		平均人数	-0.6人	-0.5人	-0.6人	-0.5人	-1.0人	+0.7人	-1.5人	-0.7人	-0.5人	+2.8人	-0.4人	+1.2人	-0.2人
		稼働率	-6.0%	-5.2%	-5.3%	-5.2%	-9.4%	+7.3%	-15.2%	-4.3%	-5.8%	+28.1%	-4.4%	+12.6%	-1.1%
		空床	+18人	+16人	+16人	+16人	+29人	-22人	+47人	+13人	+18人	-87人	+10人	-39人	+35人

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2024年度稼働状況(前年度比較)

デイサービスセンターモモ (含:要支援)	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	25日	27日	26日	26日	27日	26日	26日	26日	24日	24日	25日	26日	308日
	定員	30人/日	750人	810人	780人	780人	810人	780人	780人	780人	720人	720人	750人	780人	9240人
	2023実績	利用	526人	569人	519人	516人	488人	462人	482人	451人	442人	420人	415人	412人	5702人
		最多人数	27人	26人	23人	25人	22人	22人	22人	22人	21人	22人	21人	19人	-
		最小人数	16人	15人	16人	16人	15人	14人	15人	14人	15人	13人	13人	13人	-
		平均人数	21人	21.1人	20人	19.9人	18.1人	17.8人	18.5人	17.3人	18.4人	17.5人	16.6人	15.8人	18.5人
		稼働率	70.1%	70.2%	66.5%	66.2%	60.2%	59.2%	61.8%	57.8%	61.4%	58.3%	55.3%	52.8%	61.7%
		欠員	224人	241人	261人	264人	322人	318人	298人	329人	278人	300人	335人	368人	3538人
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	22日	23日	20日	23日	22日	21日	23日	21日	20日	20日	20日	21日	256日
	定員	20人/日	440人	460人	400人	460人	440人	420人	460人	420人	400人	400人	400人	420人	5120人
	2024実績	利用	359人	347人	298人	307人	293人	296人	291人	244人	238人	230人	223人	223人	3349人
		最多人数	21人	19人	19人	17人	16人	17人	17人	16人	16人	15人	15人	15人	-
		最小人数	13人	9人	11人	10人	10人	11人	9人	6人	7人	7人	7人	6人	-
		平均人数	16.3人	15.1人	14.9人	13.3人	13.3人	14.1人	12.7人	11.6人	11.9人	11.5人	11.2人	10.6人	13人
		稼働率	81.6%	75.4%	74.5%	66.7%	66.6%	70.5%	63.3%	58.1%	59.5%	57.5%	55.8%	53.1%	65.4%
		欠員	81人	113人	102人	153人	147人	124人	169人	176人	162人	170人	177人	197人	1771人
	前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		稼働日数	-3日	-4日	-6日	-3日	-5日	-5日	-3日	-5日	-4日	-4日	-5日	-5日	-52日
		延べ定員	-310人	-350人	-380人	-320人	-370人	-360人	-320人	-360人	-320人	-320人	-350人	-360人	-4,120人
		利用	-167人	-222人	-221人	-209人	-195人	-166人	-191人	-207人	-204人	-190人	-192人	-189人	-2,353人
		最多人数	-6人	-7人	-4人	-8人	-6人	-5人	-5人	-6人	-5人	-7人	-6人	-4人	-
		最小人数	-3人	-6人	-5人	-6人	-5人	-3人	-6人	-8人	-8人	-6人	-6人	-7人	-
		平均人数	-4.7人	-6.0人	-5.1人	-6.6人	-4.8人	-3.7人	-5.8人	-5.7人	-6.5人	-6.0人	-5.4人	-5.2人	-5.5人
		稼働率	+11.5%	+5.2%	+8.0%	+0.6%	+6.3%	+11.2%	+1.5%	+0.3%	-1.9%	-0.8%	+0.4%	+0.3%	+3.7%
		欠員	-143人	-128人	-159人	-111人	-175人	-194人	-129人	-153人	-116人	-130人	-158人	-171人	-1,767人

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設

2024年度稼働状況(前年度比較)

コミュニティセンターピノ (含:要支援)	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	20日	23日	22日	21日	23日	21日	22日	22日	20日	20日	21日	21日	256日
	定員	18人/日	360人	414人	396人	378人	414人	378人	396人	396人	360人	360人	378人	378人	4608人
	2023実績	利用	15人	42人	69人	77人	96人	87人	126人	127人	121人	128人	136人	138人	1162人
		最多人数	2人	4人	5人	7人	7人	8人	11人	10人	10人	11人	10人	10人	-
		最小人数	0人	0人	0人	0人	2人	2人	3人	4人	4人	4人	4人	3人	-
		平均人数	0.75人	1.83人	3.14人	3.7人	4.17人	4.14人	5.73人	5.77人	6.05人	6.4人	6.48人	6.57人	4.6人
		稼働率	4.2%	10.1%	17.4%	20.4%	23.2%	23.0%	31.8%	32.1%	33.6%	35.6%	36.0%	36.5%	25.2%
		欠員	345人	372人	327人	301人	318人	291人	270人	269人	239人	232人	242人	240人	3446人
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	22日	23日	20日	23日	22日	21日	23日	21日	21日	20日	20日	21日	257日
	定員	18人/日	396人	414人	360人	414人	396人	378人	414人	378人	378人	360人	360人	378人	4626人
	2024実績	利用	159人	168人	176人	216人	169人	178人	205人	186人	172人	163人	150人	162人	2104人
		最多人数	11人	11人	12人	13人	14人	13人	12人	13人	13人	12人	10人	10人	-
		最小人数	4人	5人	3人	7人	2人	5人	7人	5人	5人	4人	4人	5人	-
		平均人数	7.2人	7.3人	8.8人	9.4人	7.7人	8.5人	8.9人	8.9人	8.6人	8.2人	7.5人	7.7人	8.2人
		稼働率	40.2%	40.6%	48.9%	52.2%	42.7%	47.1%	49.5%	49.2%	45.5%	45.3%	41.7%	42.9%	45.5%
		欠員	237人	246人	184人	198人	227人	200人	209人	192人	206人	197人	210人	216人	2522人
	前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		稼働日数	+2日	±0日	-2日	+2日	-1日	±0日	+1日	-1日	+1日	±0日	-1日	±0日	+1日
		延べ定員	+36人	±0人	-36人	+36人	-18人	±0人	+18人	-18人	+18人	±0人	-18人	±0人	+18人
		利用	+144人	+126人	+107人	+139人	+73人	+91人	+79人	+59人	+51人	+35人	+14人	+24人	+942人
		最多人数	+9人	+7人	+7人	+6人	+7人	+5人	+1人	+3人	+3人	+1人	±0人	±0人	-
		最小人数	+4人	+5人	+3人	+7人	±0人	+3人	+4人	+1人	+1人	±0人	±0人	+2人	-
		平均人数	+6.5人	+5.5人	+5.7人	+5.7人	+3.5人	+4.4人	+3.2人	+3.1人	+2.6人	+1.8人	+1.0人	+1.1人	+3.6人
		稼働率	+36.0%	+30.4%	+31.5%	+31.8%	+19.5%	+24.1%	+17.7%	+17.1%	+11.9%	+9.7%	+5.7%	+6.3%	+20.3%
		欠員	-108人	-126人	-143人	-103人	-91人	-91人	-61人	-77人	-33人	-35人	-32人	-24人	-924人

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2024年度稼働状況(前年度比較)

居宅サービスセンターモモ (要支援は0.5人換算)	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日
	定員	105人/月	105人	105人	105人	105人	105人	105人	105人	105人	105人	105人	105人	105人	1260人
	2023実績	利用	110人	108.5人	109人	105.5人	104人	105人	104.5人	102人	108人	107人	110.5人	109.5人	1283.5人
		介護	95人	95人	96人	92人	90人	91人	91人	87人	93人	91人	95人	94人	1110人
		支援	30人	27人	26人	27人	28人	28人	27人	30人	30人	32人	31人	31人	347人
		稼働率	104.8%	103.3%	103.8%	100.5%	99.0%	100.0%	99.5%	97.1%	102.9%	101.9%	105.2%	104.3%	101.9%
		欠員	-5人	-3.5人	-4人	-0.5人	1人	0人	0.5人	3人	-3人	-2人	-5.5人	-4.5人	-23.5人
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日
	定員	117人/月	117人	117人	117人	117人	117人	117人	117人	117人	117人	117人	117人	117人	1404人
	2024実績	利用	112.5人	113.5人	111.5人	115.5人	118人	116.5人	117.5人	126.5人	124人	122人	121.5人	123人	1422人
		介護	97人	97人	96人	99人	102人	99人	100人	107人	105人	104人	104人	105人	1215人
		支援	31人	33人	31人	33人	32人	35人	35人	39人	38人	36人	35人	36人	414人
		稼働率	96.2%	97.0%	95.3%	98.7%	100.9%	99.6%	100.4%	108.1%	106.0%	104.3%	103.8%	105.1%	101.3%
		欠員	4.5人	3.5人	5.5人	1.5人	-1人	0.5人	-0.5人	-9.5人	-7人	-5人	-4.5人	-6人	-18人
	前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日
		月定員	+12人	+12人	+12人	+12人	+12人	+12人	+12人	+12人	+12人	+12人	+12人	+12人	+144人
		利用	+3人	+5人	+3人	+10人	+14人	+12人	+13人	+25人	+16人	+15人	+11人	+14人	+139人
		介護	+2人	+2人	±0人	+7人	+12人	+8人	+9人	+20人	+12人	+13人	+9人	+11人	+105人
		支援	+1人	+6人	+5人	+6人	+4人	+7人	+8人	+9人	+8人	+4人	+4人	+5人	+67人
		稼働率	-8.6%	-6.3%	-8.5%	-1.8%	+1.8%	-0.4%	+0.9%	+11.0%	+3.1%	+2.4%	-1.4%	+0.8%	-0.6%
		欠員	+10人	+7人	+10人	+2人	-2.0人	+0.5人	-1.0人	-12.5人	-4.0人	-3.0人	+1.0人	-1.5人	+5.5人

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2024年度稼働状況(前年度比較)

ケアステーションナナ (要支援は0.5人換算)	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日
	定員	35人/月	35人	35人	35人	35人	35人	35人	35人	35人	35人	35人	35人	35人	420人
	2023実績	利用	34.5人	33.5人	33.5人	33.5人	35人	36.5人	40.5人	39.5人	36.5人	36人	35人	36人	430人
		介護	25人	25人	25人	25人	27人	28人	32人	31人	29人	28人	27人	28人	330人
		支援	19人	17人	17人	17人	16人	17人	17人	17人	15人	16人	16人	16人	200人
		稼働率	98.6%	95.7%	95.7%	95.7%	100.0%	104.3%	115.7%	112.9%	104.3%	102.9%	100.0%	102.9%	102.4%
		欠員	0.5人	1.5人	1.5人	1.5人	0人	-1.5人	-5.5人	-4.5人	-1.5人	-1人	0人	-1人	-10人
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日
	定員	39人/月	39人	39人	39人	39人	39人	39人	39人	39人	39人	39人	39人	39人	468人
	2024実績	利用	37.5人	42.5人	42人	43人	43人	42人	42人	43.5人	43人	40.5人	37.5人	36.5人	493人
		介護	30人	34人	33人	34人	34人	33人	33人	34人	33人	30人	27人	26人	381人
		支援	15人	17人	18人	18人	18人	18人	18人	19人	20人	21人	21人	21人	224人
		稼働率	96.2%	109.0%	107.7%	110.3%	110.3%	107.7%	107.7%	111.5%	110.3%	103.8%	96.2%	93.6%	105.3%
		欠員	1.5人	-3.5人	-3人	-4人	-4人	-3人	-3人	-4.5人	-4人	-1.5人	1.5人	2.5人	-25人
	前年度 比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日
		月定員	+4人	+4人	+4人	+4人	+4人	+4人	+4人	+4人	+4人	+4人	+4人	+4人	+48人
		利用	+3人	+9人	+9人	+10人	+8人	+6人	+2人	+4人	+7人	+5人	+3人	+1人	+63人
		介護	+5人	+9人	+8人	+9人	+7人	+5人	+1人	+3人	+4人	+2人	±0人	-2人	+51人
		支援	-4人	±0人	+1人	+1人	+2人	+1人	+1人	+2人	+5人	+5人	+5人	+5人	+24人
		稼働率	-2.4%	+13.3%	+12.0%	+14.5%	+10.3%	+3.4%	-8.0%	-1.3%	+6.0%	+1.0%	-3.8%	-9.3%	+3.0%
		欠員	+1人	-5人	-5人	-6人	-4.0人	-1.5人	+2.5人	±0.0人	-2.5人	-0.5人	+1.5人	+3.5人	-15.0人

社会福祉法人 蒼生会 高齢者福祉施設 2024年度稼働状況(前年度比較)

ケアハウスモモ	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日
	定員	16人/月	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	192人
	2023実績	在籍	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	192人
		稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		空床	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日
	定員	16人/月	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	192人
	2024実績	在籍	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	16人	192人
		稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		空床	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日
		月定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人
		在籍	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人
		稼働率	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%
		空床	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人

フレイグラントオリーブナナ ※コロナ発生 2024年 2月 3日(土) ～ 2月10日(土)	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日
	定員	32人/月	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	384人
	2023実績	在籍	27人	26人	26人	27人	27人	28人	28人	25人	29人	29人	29人	28人	329人
		稼働率	84.4%	81.3%	81.3%	84.4%	84.4%	87.5%	87.5%	78.1%	90.6%	90.6%	90.6%	87.5%	85.7%
		空床	5人	6人	6人	5人	5人	4人	4人	7人	3人	3人	3人	4人	55人
	稼働状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	12日
	定員	32人/月	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	32人	384人
	2024実績	在籍	28人	28人	27人	28人	29人	30人	29人	29人	29人	30人	28人	29人	344人
		稼働率	87.5%	87.5%	84.4%	87.5%	90.6%	93.8%	90.6%	90.6%	90.6%	93.8%	87.5%	90.6%	89.6%
		空床	4人	4人	5人	4人	3人	2人	3人	3人	3人	2人	4人	3人	40人
	前年度比較	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
		日数	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日	±0日
		月定員	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人	±0人
		在籍	+1人	+2人	+1人	+1人	+2人	+2人	+1人	+4人	±0人	+1人	-1人	+1人	+15人
		稼働率	+3.1%	+6.3%	+3.1%	+3.1%	+6.3%	+6.3%	+3.1%	+12.5%	±0.0%	+3.1%	-3.1%	+3.1%	+3.9%
		空床	-1人	-2人	-1人	-1人	-2人	-2人	-1人	-4人	±0人	-1人	+1人	-1人	-15人

